電子看板プレゼンテーションソフト Nomoad

Version1.70

取扱説明書

目次

はじめに

このたびは、電子看板プレゼンテーションソフトNomoad（ノモアド）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

電子看板プレゼンテーションソフトNomoad（以下Nomoadと表記します）は、シンプルな電子看板用のプレゼンテーションを簡単に作成・表示するためのソフトウェアです。

Nomoadには、以下のソフトウェアが付属しています。

①Nomoad　・・・　Nomoad本体です。プレゼンテーションの内容（コンテンツ）を作成するソフトウェアです。

②NomoadPR　・・・　プレゼンテーションの内容（コンテンツ）を画面（ディスプレイ）に表示するソフトウェアです。

③NomoadSchedule　・・・　プレゼンテーションのスケジュールを作成するソフトウェアです。

本書では、上記のそれぞれのソフトウェアの取り扱いについて説明しています。

Nomoadを使用するときの注意事項

・Nomoadを利用して、利用者本人以外が作成した画像・動画・音声などの著作物を編集・複製し、それを使用して公衆の場所等でプレゼンテーション等を行う場合、著作者等からの許可が必要となる場合があります。その場合、あらかじめ著作者等から許諾を得てください。許諾を得ないまま著作物を使用した場合、著作権を侵害したこととなり、損害賠償の請求対象となります。また同時に刑事罰が科される場合があるのでご注意ください。

・Nomoadを使用してプレゼンテーションを行う場合、表示用パソコン・表示装置（ディスプレイ）等の取扱説明書などをよくお読みになった上で本ソフトウェアをご利用ください。これらの機器の故障、不具合やそれによる損害について、本店は一切責任を負いません。

・表示パソコンや表示装置（ディスプレイ）等を新規に導入する際は、これらの機器を相互に接続でき、表示パソコンの画面表示を表示装置に表示（出力）することが可能であるかをあらかじめ確認してください。

用語

用語	用語の意味
画面（ディスプレイ）	表示パソコンに接続されている表示装置です。たとえば、液晶テレビ、パソコンのモニター等を指します。 この画面を用いてプレゼンテーションを行います。
表示パソコン	プレゼンテーションを行うための画面（ディスプレイ）が接続されているパソコンのことを指します。Nomoad がインストールされている必要があります。
編集パソコン	プレゼンテーションの内容を作成するためのパソコンのことを指します。Nomoad がインストールされている必要があります。表示パソコンと兼用することができます。
プレゼンテーション	Nomoad で作成したプレゼンテーションファイルを表示パソコンを用いて画面（ディスプレイ）に表示することを意味します。またはその表示する内容を意味します。

Nomoad で使用できるファイルの種類について

Nomoad で読み込むことができるファイルは次のようなものがあります。

ファイルの種類	ファイルの拡張子	備考
静止画ファイル	.bmp　.jpg　.jpeg　.jpe　.png　.tif　.tiff　.gif	※１　※２
動画ファイル	.wmv　.avi　.mpg　.mpeg　.asf　.vob	※３　※４
音声ファイル	.wma　.wav　.mp3　.mid	※４

※１　.png ファイルのアルファ値による透過に対応しています。

※２　.gif ファイルのアニメーションには対応していません。

※３　動画ファイルの種類によっては別途コーデックが必要となる場合があります。

※４　著作権が保護されたファイルは再生できません。

・Nomoad では動画や音声の再生に DirectShow® を使用しています。動画や音声ファイルの種類によっては、表示パソコンに DirectShow に対応したコーデックが必要になる場合があります。そのため、プレゼンテーションで使用するために新たに動画や音声を作成する場合は、Windows® で再生することができる Windows Media® 形式のファイル（.wmv：Windows Media Video や .wma：Windows Media Audio）を作成することを推奨します。

・動画や音声ファイルを再生する場合、再生直前に画面表示が一時的に停止する場合がありますが、これは異常ではありません。

・Microsoft® PowerPoint® 形式や Adobe® Flash® 形式のファイルなどは直接読み込むことはできません。これらを使用したい場合は、上記の静止画ファイルや動画ファイルに変換する必要があります。

表示パソコン・画面（ディスプレイ）についての注意事項

・Nomoad を使用してプレゼンテーションの連続稼動を行う場合、誤動作を防止するため、数日間に１回の割合で表示パソコンを再起動する必要があります。プレゼンテーション表示ソフト NomoadPR にはパソコンを自動的に再起動する機能が含まれています。

・Nomoad はパソコンの時計機能を使用しています。プレゼンテーションの正確な動作には表示パソコンの内部時計が正確である必要があります。数ヶ月ごとに表示パソコンの内部時計が正確な状態であるかをチェックしてください。

・画面（ディスプレイ）に長時間同じ静止画像（静止画・文書など）を表示し続けると、画面への残像現象や焼きつきが発生することがあります。特にプラズマディスプレイやプロジェクションテレビなどを使用する際は注意してください。残像現象や焼きつきが気になる場合は、一定期間ごとにプレゼンテーションのレイアウトを変更するなどの対策を行ってください。

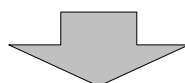
・表示パソコン・画面（ディスプレイ）を屋外等で使用する場合、表示パソコン・画面（ディスプレイ）の取扱説明書をお読みになり、屋外等で使用できるかの確認を行ってください。ほとんどの一般用パソコンやディスプレイ装置（テレビ含む）は屋外での使用を想定して設計されておりません。

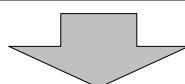
操作の流れ

プレゼンテーション内容の作成から、プレゼンテーション開始までの流れについて説明します。

プレゼンテーション開始までの流れ

①プレゼンテーション内容の作成

Nomoad を使用してプレゼンテーション内容を配置・編集し、プレゼンテーションファイルを作成します。

②スケジュールを作成（必要な場合）

NomoadSchedule を使用してプレゼンテーションのスケジュールを編集し、スケジュールファイルまたはスケジュール済みプレゼンテーションファイルを作成します。

③プレゼンテーション

表示パソコンにて、NomoadPR でプレゼンテーションファイルまたはスケジュールファイルを読み込み、プレゼンテーションを開始します。プレゼンテーションの自動開始・自動終了にも対応しています。

●使用例

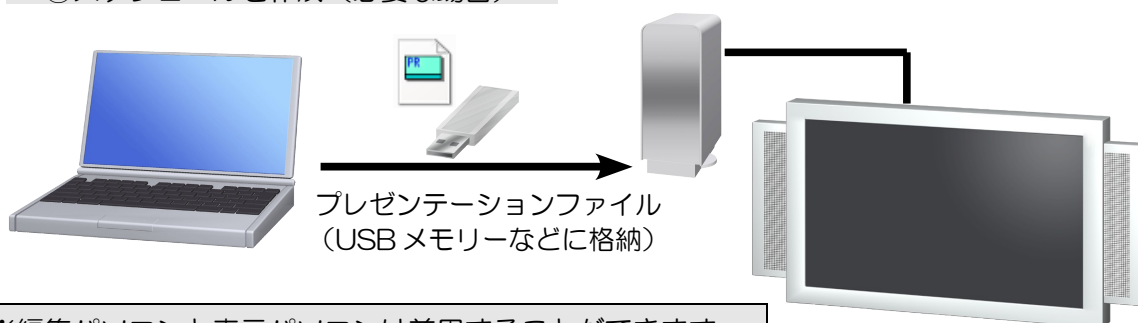
編集パソコン

①プレゼンテーション内容の作成

②スケジュールを作成（必要な場合）

表示パソコン

③プレゼンテーション

プレゼンテーションファイル
（USB メモリーなどに格納）

※編集パソコンと表示パソコンは兼用することができます。

※ネットワーク（LAN）内での運用については、P121「ネットワーク（LAN）内での運用方法」を参照してください。

インストール・初期設定

Nomoad を使用するための必要ハードウェア・ソフトウェアについて、また、Nomoad のインストール方法について説明します。さらに Nomoad を使用するための初期設定について説明します。

必要ハードウェア・ソフトウェア環境

Nomoad を使用することができる表示パソコン・編集パソコンの必要ハードウェア・ソフトウェア環境は次のとおりです。

項目	条件
OS	Microsoft® Windows® XP （日本語版）※1 Microsoft® Windows Vista®（日本語版） Microsoft® Windows® 7（日本語版）
CPU	必須性能： Intel® Atom® Processor N270 (1.6GHz) 以上 Intel® Pentium® 4 Processor 2.4GHz 以上 推奨性能： デュアルコア以上の CPU（※２）
GPU（グラフィックアクセラレーター）	・DirectX® 9 以上に対応している GPU （チップセット・CPU 内蔵型を含む） ・64MB 以上のビデオメモリー 必須性能： Intel 社製 GMA950 以上、または HD Graphics AMD(ATI)社製 Radeon™ 9600 以上、 または Radeon™ X, Radeon™ HD シリーズ NVIDIA 社製 Geforce® 6200 以上、または ION™ 推奨性能： （欄外※３を参照）
メモリー	512MB 以上　（1GB 以上を推奨）
ハードディスク	空き容量 1GB 以上　（動画・音声を使用する場合はそれ以上）
ディスプレイ装置	編集パソコン：　解像度 1024×600 以上を表示できるもの 表示パソコン：　解像度 640×480 以上を表示できるもの
ソフトウェア	Microsoft® DirectX® 9 以上（製品に付属） Microsoft® Windows Media® Player 9 以上　※4

・Nomoad では CPU、GPU の性能がパフォーマンスに大きな影響を与えます。特に高解像度でのプレゼンテーションや、動画・テロップを同時に使用・多用したプレゼンテーションを行うときは、表示パソコンの CPU・GPU 性能が高いことが要求されます。このようなプレゼンテーションを行う場合、表示パソコンの CPU と GPU は推奨条件以上の性能を持つ必要があります。

・動画ファイルを再生する場合、動画ファイルの種類によっては別途 DirectShow 対応コーデックが必要となる場合があります。

※1　Windows XP の 64Bit 版には対応しておりません。また、Windows XP をご利用の場合、管理者権限を持つユーザーアカウントのみにインストールすることができます。

※2　デュアルコア以上の CPU は以下のようなものがあります。

（例）Intel® Core™2 Duo, Core™2 Quad, Core™i3 以上

Intel® Celeron® Processor SU2300, T シリーズ, E シリーズ, G シリーズ, P シリーズ, U シリーズ

Intel® Pentium® D Processor, Pentium® Processor の G シリーズ, P シリーズ, E シリーズ

AMD E-350, AMD Athron™X2 以上

※3　推奨する性能を持つ GPU は例として以下のようなものがあります。

（例）Intel 社製 HD Graphics 3000 以上

AMD(ATI)社製 Radeon™HD 4550 以上　Radeon™HD 5450 以上

NVIDIA 社製 GeForce® 9500 以上　GeForce® GT 220 以上　ION™

※4　Windows Media Player はほとんどのパソコンにインストールされていますが、インストールされていない場合は Microsoft 社のホームページから入手することができます。

Nomoad のインストール

編集パソコンと表示パソコンの両方に Nomoad をインストールします。編集パソコンと表示パソコンを兼用する場合、インストールの作業は１度だけとなります。

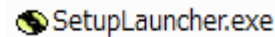
注意：　編集パソコン、表示パソコンに関わらず、複数のパソコンに Nomoad をインストールする場合は、インストールするパソコンの台数だけライセンスを購入してあるかどうか確認してください。

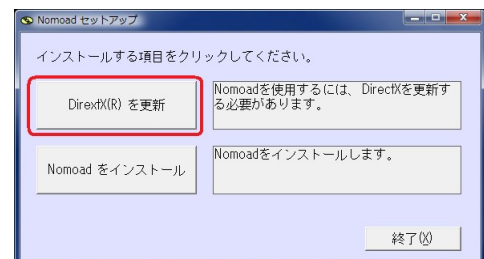
●インストール

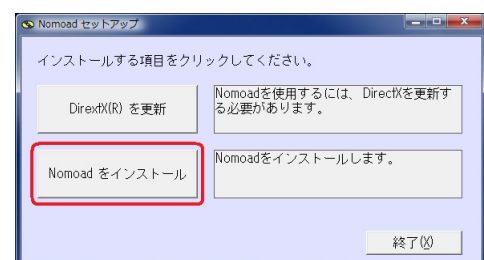
1　パソコンを起動します。Nomoad を使用するユーザーアカウントでログインします。

2　Nomoad インストールディスクまたは Nomoad インストール USB メモリーをパソコンにに挿入します。

3　挿入したメディアの中にある Nomoad インストーラー（SetupLauncher.exe）を実行します。

SetupLauncher.exe

4　「DirectX(R) を更新」をクリックします。

表示された手順に従って DirectX のインストールを行ってください。

5　「Nomoad をインストール」をクリックします。

.Net Framework と Windows Installer、Visual C++ ランタイムがインストールされていない場合はインストール画面が表示されます。指示に従ってインストールを行ってください。

６　「Nomoad セットアップウィザードへようこそ」が表示されたら、「次へ」をクリックします。

７　「使用許諾契約書」が表示されます。表示されている使用許諾契約書を全てお読みください。

８　使用許諾契約書にご同意いただけたなら、「同意する」ラジオボタンをクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。

９　「インストールフォルダの選択」が表示されます。インストール先のフォルダを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。

インストールフォルダを変更したい場合は、「参照ボタン」クリックし、フォルダを指定してください。

１０　「インストールの確認」が表示されます。「次へ」ボタンをクリックするとインストールが開始されます。

Windows Vista または Windows ７を使用している場合、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示される場合があります。この場合、「許可」（または「はい」）をクリックします。（管理者アカウント以外のアカウントでログインしている場合、管理者アカウントのパスワードを入力します。）

１１　「インストールを完了しました」が表示されます。「閉じる」ボタンをクリックしてインストーラを終了します。

１２　パソコンを再起動してください。

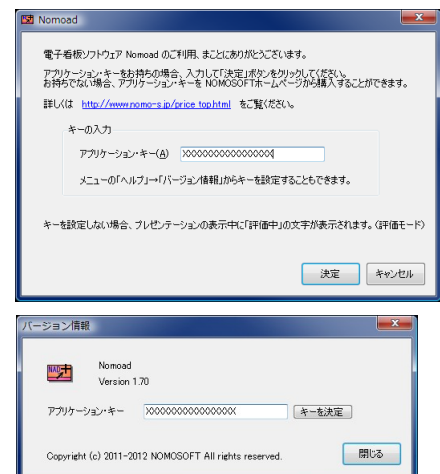
●アプリケーション・キーの登録

1　Windows を再起動します。Nomoad をインストールしたユーザーアカウントでログインしてください。

2　Nomoad を起動します。

Windows タスクバーの「スタート」メニューから、「すべてのプログラム」→「Nomoad」→「Nomoad」の順にクリックします。

3　アプリケーションキーを設定します

P118「アプリケーションキーを設定・変更する」を参照してください。

4　Nomoad を終了します。

「ようこそ」画面を閉じ、メニューの「ファイル」→「アプリケーションの終了」をクリックします。

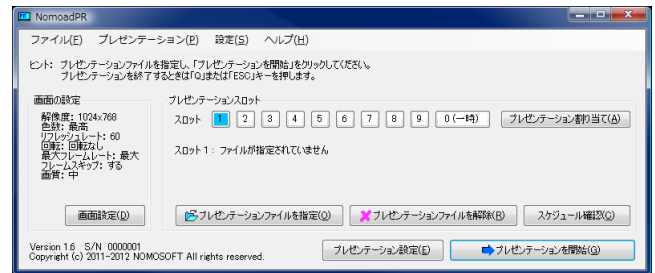
これらの手順を編集パソコン、表示パソコンそれぞれに行ってください。編集パソコンと表示パソコンが兼用のときは、この手順は１度だけ行います。

表示パソコンの設定

表示パソコンにNomoadをインストールしたら、表示パソコンとそれに接続している画面（ディスプレイ）の設定を行います。

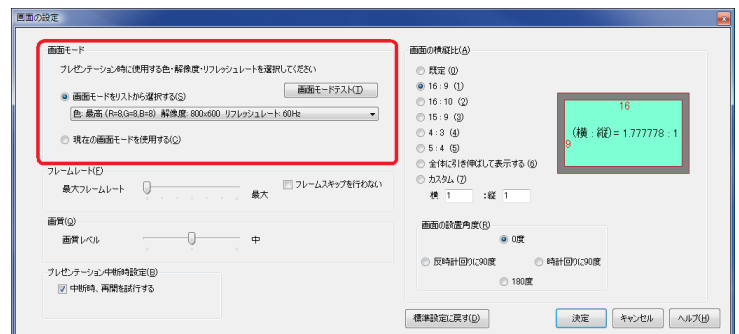
1　表示パソコンでNomoadPRを起動します。

Windowsタスクバーの「スタート」メニューから、「すべてのプログラム」→「Nomoad」→「NomoadPR」の順にクリックします。

・NomoadPRのメイン画面が表示されます。

2　メイン画面の「画面設定」ボタンをクリックします。

「画面の設定」ウインドウが表示されます。ここでは「画面モード」と「画面の横縦比」、「画面の設置角度」を設定します。

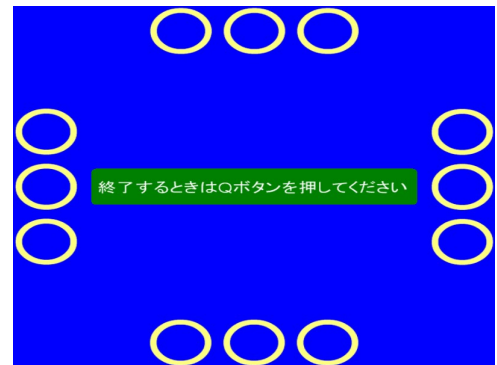
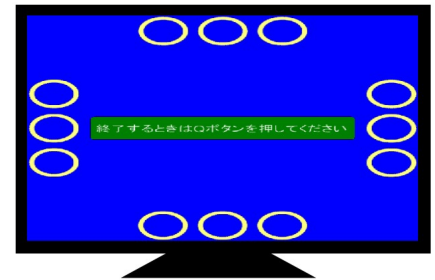
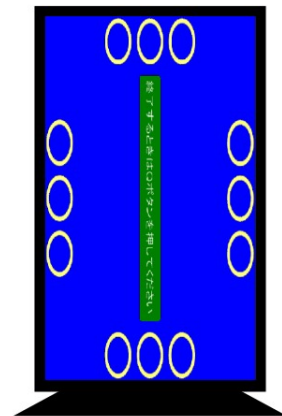
3　画面モードを設定します

・「画面モードをリストから選択する」ラジオボタンをクリックし、リストから画面モードを選択します。

・最適な画面モードはお使いの表示パソコンの性能に依存します。目安として以下の表を参照してください。

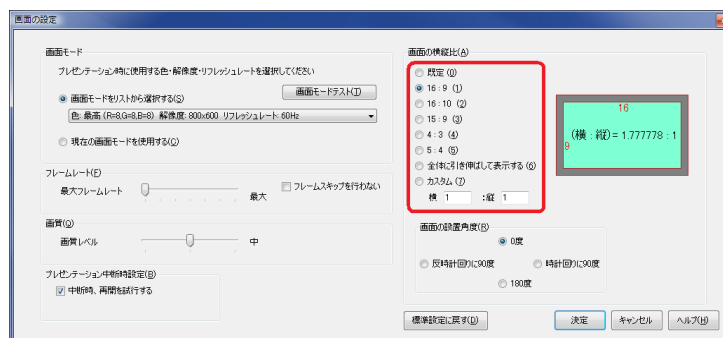
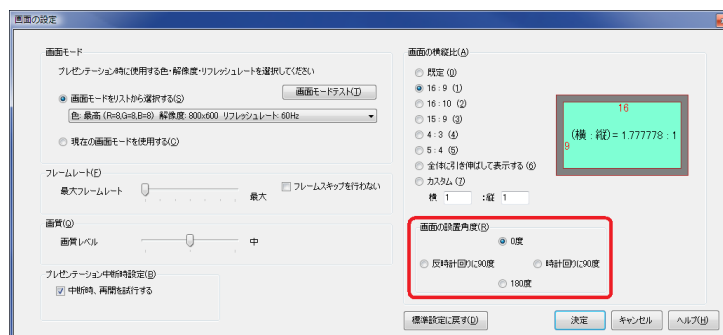
表示パソコンの性能	推奨する画面モード
必須性能を満たす場合	色：最高または中 解像度：800×600　以下 リフレッシュレート：60Hz付近
推奨性能を満たす場合	色：最高 解像度：1024×768, 1280x720, 1360x768　など リフレッシュレート：60Hz付近

つづく

・「画面モードテスト」ボタンをクリックします。
　テスト画面が表示されます。

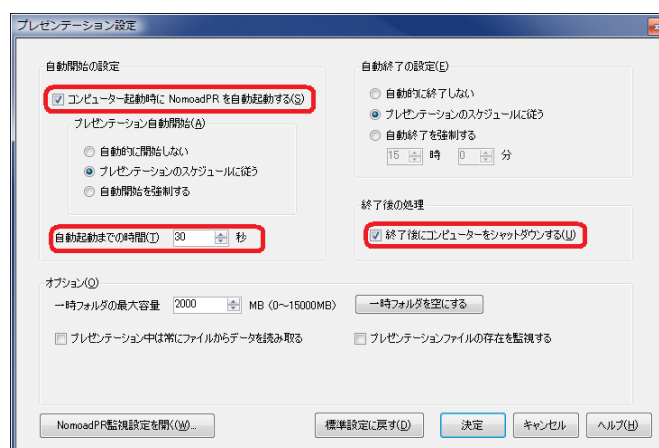
※テスト画面が表示されない場合、「Q」キーを
　押しテスト画面を終了し、他の画面モードを選
　択してもう一度「画面モードテスト」を実行し
　てください。

・テスト画面が画面いっぱいに表示されていること
　を確認します。画面いっぱいに表示されていない
　ときは、画面（ディスプレイ）装置等の取扱説明
　書をお読みになり、テスト画面が画面いっぱいに
　表示されるように設定を行ってください。例えば
　一般的なパソコン用モニターやテレビをご使用の
　場合、「ワイド切替」「ズーム切替」「画面モー
　ド切替」（メーカーや製品により名称は異なりま
　す）の設定を行います。

※画面（ディスプレイ）装置等の設定を行ってもテス
　ト画面が画面いっぱいに表示されない場合、画面
　（ディスプレイ）装置等が指定した画面モードに対
　応していない可能性があります。その場合、「Q」
　キーを押しテスト画面を終了し、他の画面モードを
　選択してもう一度「画面モードテスト」を実行して
　ください。

・「Q」キーを押すと画面モードテストを終了します。

４　画面の横縦比を設定します。

お使いの画面（ディスプレイ）装置等の横縦比を選択して下さい。たとえば一般的な薄型ワイドテレビをご使用の場合、16：９を選択します。横縦比はお使いの画面（ディスプレイ）装置等の取扱説明書を参照してください。

５　画面の設置角度を設定します。

６　「決定」ボタンをクリックします。

「画面の設定」ウインドウが閉じられます。

７　メイン画面の「プレゼンテーション設定」ボタンをクリックします。

「プレゼンテーション設定」ウインドウが表示されます。ここではプレゼンテーションの自動開始の設定と自動シャットダウンの設定を行います。

８　プレゼンテーションの自動開始の設定を行います。

パソコンの起動時に NomoadPR を自動的に起動し、プレゼンテーションを開始するには、「コンピューター起動時に、NomoadPR を自動起動する」を選択します。また、「自動開始までの時間」を 30 秒以上に設定します。

９　プレゼンテーション終了後の処理を設定します。

プレゼンテーション終了時に自動的パソコンをシャットダウンするには、「終了後にコンピューターをシャットダウンする」を選択します。

１０　「決定」ボタンをクリックします。

「プレゼンテーション設定」ウインドウが閉じられます。

１１　メイン画面のメニューから、「ファイル」→「アプリケーションの終了」をクリックします。

NomoadPR が終了します。

１２　Windows への自動ログインについての設定を行います。

パソコンの起動時に Windows へのログインを自動化したい場合は、P108「表示パソコンの起動時に自動ログインする方法」を参照し、設定を行ってください。

１３　電源ボタンの動作の設定を行います。

パソコンの電源ボタンによるシャットダウンを行う場合は、P110「表示パソコンを電源ボタンでシャットダウンする方法」を参照し、設定を行ってください。

１４　Windows Update の設定を行います。

Windows Update によるプレゼンテーション中の自動再起動を防止するには、P113「表示パソコンでの Windows Update の設定方法」を参照し、設定を行ってください。

１５　表示パソコンの連続稼動についての設定を行います。

プレゼンテーションを数日以上にわたって連続的に行いたい場合は P116「表示パソコンの連続稼動についての注意点」を参照して設定を行ってください。

Nomoad のアンインストール

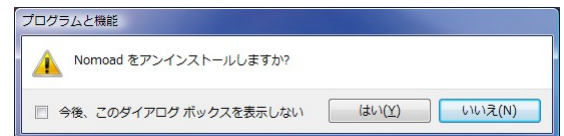
Nomoad をパソコンから削除するときの手順を説明します。アンインストールを行っても各種設定データや作成したプレゼンテーションは削除されません。

1　パソコンを起動します。

2　Windows タスクバーの「スタート」メニューから、「コントロールパネル」をクリックします。

3　「プログラムと機能」または「プログラムの追加と削除」（または「プログラムのアンインストール」）を開きます。

4　一覧から「Nomoad」を選択し、「アンインストール」または「削除」ボタンをクリックします。

アンインストールの確認画面が表示されるので、「はい」をクリックします。

Windows Vista または Windows 7 を使用している場合、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示される場合があります。この場合、「許可」（または「はい」）をクリックします。

アンインストールが開始します。

プレゼンテーション作成（Nomoad）

Nomoad を使用してプレゼンテーションファイルを作成する方法について説明します。

プレゼンテーションの内容について

●用語について

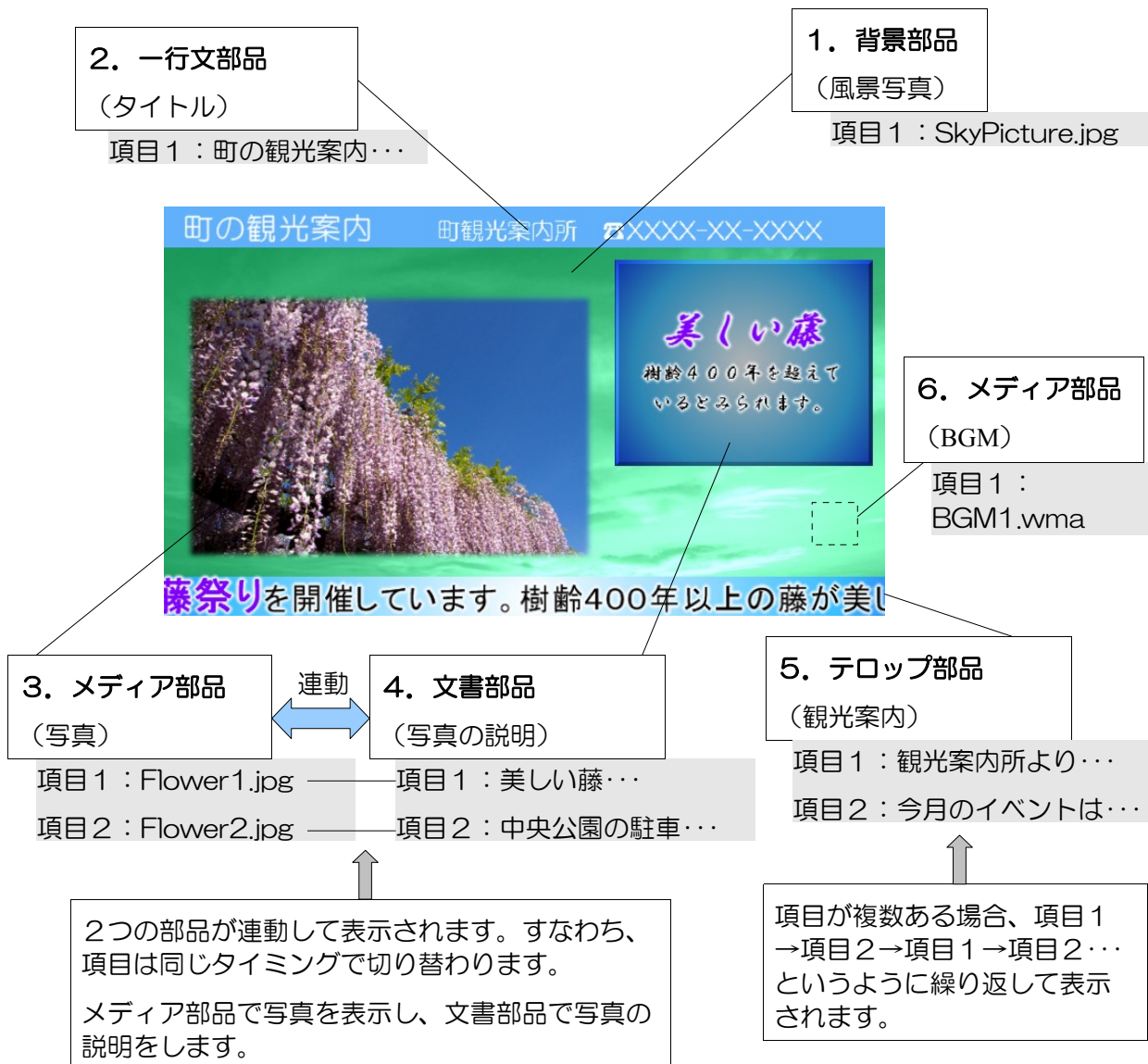
プレゼンテーションファイルを作成する上で使用される用語について説明します。

用語	用語の意味
Nomoad プロジェクトファイル（プロジェクトファイル）	Nomoad での作業状況を保存したファイルです。Nomoad プロジェクトファイルを保存することによって、次回 Nomoad を起動したときに保存した状態から作業を再開することができます。
Nomoad プレゼンテーションファイル（プレゼンテーションファイル）	表示パソコンで画面（ディスプレイ）に表示するプレゼンテーション内容（コンテンツ）を格納してあるファイルです。Nomoad または NomoadSchedule で作成したプレゼンテーションファイルを NomoadPR で読み込み、プレゼンテーションを行ないます。
レイアウト領域	プレゼンテーションの内容を構成する部品を配置するための領域です。
部品	プレゼンテーションの内容を構成する、基本的な表示内容を指します。Nomoad では、背景、フレーム（枠）、メディア（画像・動画・音声）、テロップ、一行文、文書といった６種類の部品をレイアウト領域に配置することができます。それぞれの部品には「項目（アイテム）」というものがあり、部品内の複数の項目（最大 99 項目、ライト版では 40 項目）が時間経過に応じて順番に切り替わる仕組みを持っています。 配置された部品は独立して動作します。他の部品と連動して動作させることも可能です。
背景（部品）	プレゼンテーション内容に背景を表示することができます。最背面（一番奥側）に配置することができます。画像を指定することができます。
フレーム（部品）	プレゼンテーション内容の任意の位置に、フレーム（枠）を表示することができます。
メディア（部品）	プレゼンテーション内容の任意の位置に、画像、動画を表示、または音声を再生することができます。
テロップ（部品）	プレゼンテーション内容の任意の位置に、テロップを表示することができます。
一行文（部品）	プレゼンテーション内容の任意の位置に、一行の文を表示することができます。

用語	用語の意味
文書（部品）	プレゼンテーション内容の任意の位置に、複数行にわたる文書を表示することができます。
項目	部品には「項目（アイテム）」という概念があり、部品内の複数の項目（最大 99 項目、ライト版では 40 項目）が時間経過に応じて順番に切り替わる仕組みを持っています。それぞれの項目に対して表示する内容を設定することができます。
表示条件	部品内の項目（アイテム）ごとに表示条件（表示する時間帯）を設定することができます。表示条件が設定されている項目は、表示条件を満たすときだけ表示されます。
連動表示	プレゼンテーション内容にて、複数の部品を連動させて表示することができます。たとえば、部品１と部品２を連動表示に設定した場合、部品１と部品２は同じ項目番号の項目が連動して表示されます。
同上	連動表示が設定された部品のみの機能です。部品内のある項目に同上設定を行った場合、その項目を表示するタイミングでその項目の直前の項目と同じ内容を表示し続けます。
部品のプロパティー	部品についての設定値のことを意味します。表示する内容や表示時間などの設定値を含みます。
自動開始	表示パソコンが起動した際に、自動的にプレゼンテーションを開始することができます。ただし、Windows の設定が必要になる場合があります。（表示パソコンの起動時に自動ログインする方法->P108を参照）
自動終了	指定した時刻にプレゼンテーションを自動的に終了することができます。また、終了後、パソコンを自動的にシャットダウンすることもできます。
リソースデータ集約済みプロジェクトファイル	他の編集パソコンで Nomoad により読み込むことができる Nomoad プロジェクトファイルです。ファイル作成と同時にリソースが集約されたフォルダが生成されます。
リソース	プレゼンテーション編集時にて使用される画像や動画、音声などのファイルのことを指します。

●プレゼンテーション内容の構造

Nomoad で作成されるプレゼンテーション内容の構造を簡単に説明します。

（例）町の観光案内

この例では６個の部品が使われています。

１．背景部品（風景写真）･･･プレゼンテーションの背景です。風景写真を表示します。

２．一行文部品（タイトル）･･･プレゼンテーションの上部にタイトル文を表示します。

３．メディア部品（写真）･･･祭りの写真を表示します。

４．文書部品（写真の説明）･･･３の写真の説明文を表示します。

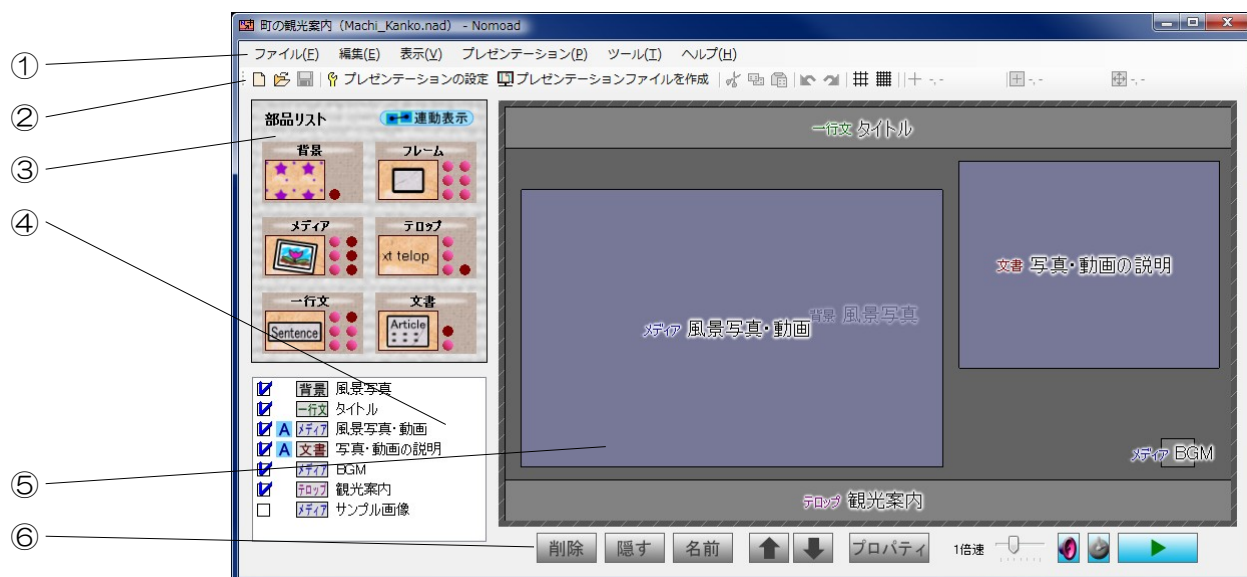
５．テロップ部品（観光案内）･･･町の観光案内所からのお知らせを表示します。

６．メディア部品（BGM）･･･バックグラウンドミュージックを流します。

部品はそれぞれ独立して動作します。ただし、メディア部品（写真）と文書部品（写真の説明）は連動して動作するように指定されています。また、この例では使用していませんが、部品の項目に表示条件（表示する時間帯）を設定することもできます。

Nomoad の起動

Nomoad を起動するには、Windows タスクバーの「スタート」メニューから、「全てのプログラム」→「Nomoad」→「Nomoad」をクリックします。

メイン画面の説明

①・・・メニュー　②・・・ツールバー　③・・・部品リスト　④・・・採用部品リスト
⑤・・・レイアウト領域　⑥・・・編集バー

①メニュー

メニューは、Nomoad の機能を利用するときに使用します。

メニューの内容について説明します。

メニュー内容		説明	参照ページ
ファイル	新規作成	新しくプレゼンテーションを作成します。	P30
	開く	プロジェクトファイルを読み込み、作業を再開します。	P48
	閉じる	作成途中のプレゼンテーションを閉じます。	-
	上書き保存	作成途中のプレゼンテーションをプロジェクトファイルに保存します。	P48
	名前をつけて保存	作成途中のプレゼンテーションを別のプロジェクトファイルに名前をつけて保存します。	P48
	リソースデータ集約済みファイルを作成	作成途中のプレゼンテーションのリソースデータを指定したフォルダにまとめたあと、別のプロジェクトファイルに名前をつけて保存します。	P81

つづく

メニュー内容		説明	参照ページ
	最近使ったファイル	最近使ったプロジェクトファイルを読み込みます。	P48
	アプリケーションを終了	Nomoad を終了します。	−
編集	元に戻す	作業状態を一つ前の状態に戻します。	−
	やり直し	「元に戻す」を使用する一つ前の状態に戻します。	−
	切り取り	選択されている部品を切り取り、クリップボードに格納します。	−
	コピー	選択されている部品をクリップボードにコピーします。	−
	貼り付け	クリップボードに格納されている部品をレイアウト領域に貼り付けます。	−
	プロパティーの編集	選択されている部品のプロパティーを編集します。	P35
	名前の変更	選択されている部品の名前を変更します。	P34
	連動表示	選択されている部品の連動表示グループを選択します。	P39
	前面へ移動	選択されている部品を前面に一段階移動します。	P34
	背面へ移動	選択されている部品を背面に一段階移動します。	P34
	中心へ配置	選択されえいる部品をレイアウト領域の中心へ移動します。	P34
	隠す（表示）	選択されている部品を隠します（または表示します）。	P34
	削除	選択されている部品を削除します。	P34
表示	グリッドを表示	レイアウト領域に配置用グリッドを表示します。	−
	連動表示確認ウインドウ	連動表示確認ウインドウを表示します。	P39
	リソース一覧表	リソース一覧ウインドウを表示します。	P79
プレゼンテーション	プレビュー条件設定	プレビュー条件設定ウインドウを表示します。	P46
	プレビュー	現在編集中のプレゼンテーションを確認表示（プレビュー）します。	P46
	プレゼンテーションの設定	プレゼンテーションについての設定を行います。	P30
	プレゼンテーションファイルを作成	プレゼンテーションファイルを作成します。	P47
ツール	フレーム編集	フレームのテンプレートを編集します。	P70
	オプション設定	オプションの設定を行います。	P80
ヘルプ	ヘルプ	ヘルプを表示します。	−

メニュー内容		説明	参照ページ
	ようこそ画面	「ようこそ」画面を表示します。	-
	バージョン情報	バージョン情報を表示します。	-

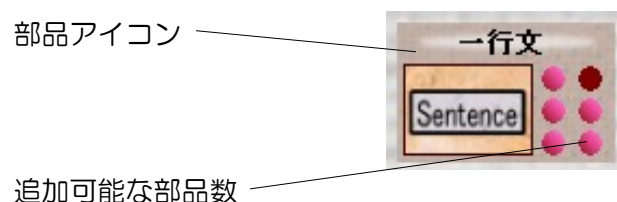
②ツールバー

ツールバーは、Nomoad の機能を利用するときに使用します。

ツールバーの内容について説明します。

アイコン	内容	説明	参照ページ
	新規作成	新しくプレゼンテーションを作成します。	P30
	開く	プロジェクトファイルを読み込み、作業を再開します。	P48
	上書き保存	作成途中のプレゼンテーションをプロジェクトファイルに保存します。	P48
	プレゼンテーションの設定	プレゼンテーションについての設定を行います。	P30
	プレゼンテーションファイルを作成	プレゼンテーションファイルを作成します。	P47
	切り取り	選択されている部品を切り取り、クリップボードに格納します。	-
	コピー	選択されている部品をクリップボードにコピーします。	-
	貼り付け	クリップボードに格納されている部品をレイアウト領域に貼り付けます。	-
	元に戻す	作業状態を一つ前の状態に戻します。	-
	やり直し	「元に戻す」を使用する一つ前の状態に戻します。	-
	グリッドを表示（粗）	レイアウト領域に配置用グリッド（粗）を表示します。	-
	グリッドを表示（細）	レイアウト領域に配置用グリッド（細）を表示します。	-
	マウスポインタ位置	レイアウト領域におけるマウスポインタの位置をあらわします。	-
	部品中心位置	選択されている部品のレイアウト領域における現在位置をあらわします。	-
	部品サイズ	選択されている部品のサイズをあらわします。	-

③部品リスト

部品をレイアウト領域に追加するときに使用します。部品アイコンをレイアウト領域にドラッグアンドドロップすることにより、部品を追加することができます。

それぞれの部品について、配置可能な部品数には限りがあります。追加可能な部品数が0のときはその部品をレイアウト領域に追加することができません。

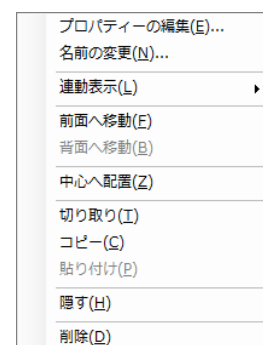
種別	内容	説明	最大部品数	参照ページ
部品	背景	レイアウト領域にドラッグアンドドロップすることにより、背景部品を追加することができます。	１個	P49
	フレーム	レイアウト領域にドラッグアンドドロップすることにより、フレーム部品を追加することができます。	６個（ライト版は４個）	P52
	メディア	レイアウト領域にドラッグアンドドロップすることにより、メディア部品を追加することができます。	６個（ライト版は４個）	P53
	テロップ	レイアウト領域にドラッグアンドドロップすることにより、テロップ部品を追加することができます。	４個（ライト版は２個）	P58

種別	内容	説明	最大部品数	参照ページ
	一行文	レイアウト領域にドラッグアンドドロップすることにより、一行文部品を追加することができます。	６個（ライト版は４個）	P62
	文書	レイアウト領域にドラッグアンドドロップすることにより、文書部品を追加することができます。	２個（ライト版は１個）	P66
連動表示		クリックすることにより連動表確認ウインドウを表示します。	-	P39

④採用部品リスト

レイアウト領域に配置されている部品のリストです。

部品の並び順は、配置位置の順（背面→前面）となります。

リストを右クリックすることによってメニューが開きます。このメニューは、選択した部品を編集する時に使用します。

メニューの内容について説明します。

メニュー内容	説明	参照ページ
プロパティーの編集	選択されている部品のプロパティーを編集します。	P35
名前の変更	選択されている部品の名前を変更します。	P34
連動表示	選択されている部品の連動表示グループを選択します。	P39

つづく

メニュー内容	説明	参照ページ
前面へ移動	選択されている部品を前面に一段階移動します。	P34
背面へ移動	選択されている部品を背面に一段階移動します。	P34
中心へ配置	選択されえいる部品をレイアウト領域の中心へ移動します。	P34
切り取り	選択されている部品を切り取り、クリップボードに格納します。	–
コピー	選択されている部品をクリップボードにコピーします。	–
貼り付け	クリップボードに格納されている部品をレイアウト領域に貼り付けます。	–
隠す（表示）	選択されている部品を隠します（または表示します）。	P34
削除	選択されている部品を削除します。	P34

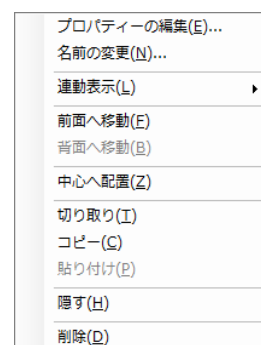
⑤レイアウト領域

部品を配置するための領域です。

表示されている部品は、枠の色・内側の色によって状態を確認することができます。

枠の色	状態の説明
緑	現在選択中の部品をあらわします。
紫	現在プロパティーウインドウを開いている部品をあらわします。
黒	上記以外の部品をあらわします。

内側の色	状態の説明
オレンジ	現在選択中の部品をあらわします。
灰色	未選択の部品で、かつ連動表示グループに属していない部品をあらわします。
青	未選択の部品で、かつ連動表示グループＡに属している部品をあらわします。
緑	未選択の部品で、かつ連動表示グループＢに属している部品をあらわします。
赤	未選択の部品で、かつ連動表示グループＣに属している部品をあらわします。

部品を右クリックすることによってメニューが開きます。このメニューは、P27「④採用部品リスト」で説明したものと同じものです。

⑥編集バー

選択した部品を編集するときや、プレゼンテーションのプレビューなどの操作を行うときに使用します。

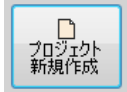
編集バーの内容について説明します。

種別	内容	説明	参照ページ
部品の編集	削除	選択されている部品を削除します。	P34
	隠す	選択されている部品を隠します。	P34
	名前	選択されている部品の名前を変更します。	P34
	前面へ	選択されている部品を前面に一段階移動します。	P34
	背面へ	選択されている部品を背面に一段階移動します。	P34
	プロパティ	選択されている部品のプロパティーを編集します。	P35
プレビュー機能	プレビュー速度	プレビュー時の時間経過速度を調整します。	P46
	ミュート	プレビュー時の音声をミュートします。	-
	プレビュー条件	プレビュー条件設定ウインドウを表示します。	P46
	プレビュー（停止）	現在編集中のプレゼンテーションを確認表示（プレビュー）します。（または停止します）	P46

プレゼンテーションを作成する

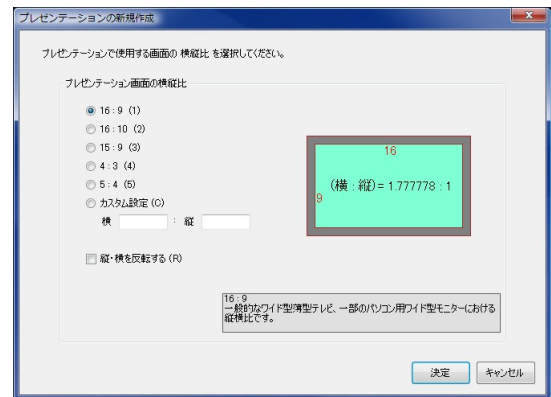
Nomoad を使用してプレゼンテーションを作成する方法を手順に従って説明します。

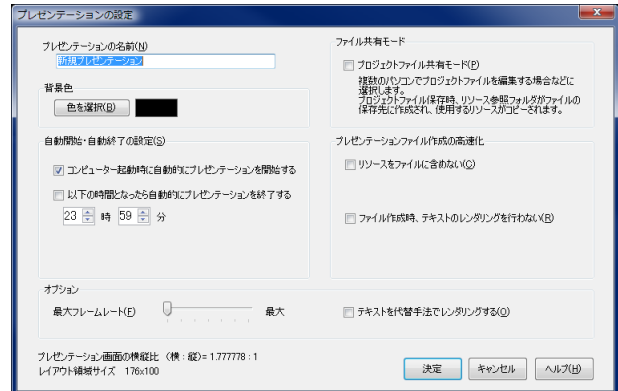
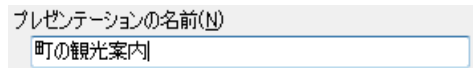
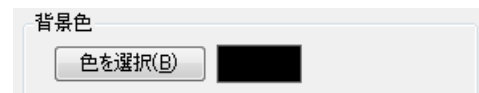
新規作成を行う

「ようこそ」画面の「プロジェクト新規作成」ボタンをクリックするか、またはメニューの「ファイル」→「新規作成」をクリックします。

「プレゼンテーションの新規作成」ウインドウが表示されます。

・作成するプレゼンテーションの横縦比を選択します。プレゼンテーションを行う画面（ディスプレイ）にあわせた横縦比を選択することをお奨めします。

※カスタム設定を選択した場合、1：10～10：1の間で横縦比を設定できます。

・「決定」ボタンを押します。

プレゼンテーションの設定を行う

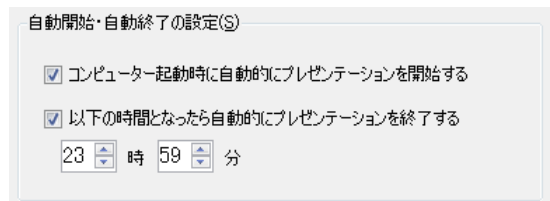
メニューから「プレゼンテーション」→「プレゼンテーションの設定」をクリックします。「プレゼンテーションの設定」ウインドウが表示されます。

・プレゼンテーションの名前を入力します。省略することもできます。

・背景色を設定します。背景色とはプレゼンテーション内容の地色を指します。

・プレゼンテーションを行う際の自動開始・自動終了の設定を行います。

・「コンピューター起動時に自動的にプレゼンテーションを開始する」

→コンピューター起動時にプレゼンテーションを自動的に開始するかどうかを指定します。

・「以下の時間となったら自動的にプレゼンテーションを終了する」

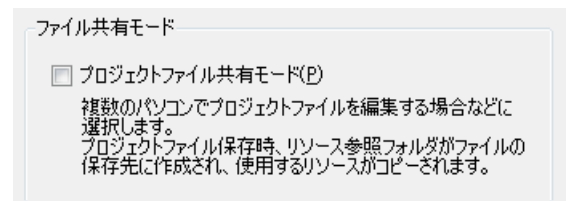
自動開始・自動終了の設定(S)
☑ コンピューター起動時に自動的にプレゼンテーションを開始する
☑ 以下の時間となったら自動的にプレゼンテーションを終了する
23 時 59 分

→指定した時刻に自動的にプレゼンテーションを終了するかどうかを指定します。終了時、コンピューターをシャットダウンすることも可能です。

※自動開始・自動終了を行うにはNomoadPRでの設定が必要です。（P90「プレゼンテーションの自動開始・自動終了を設定する」を参照してください）

・ファイル共有モードを設定します

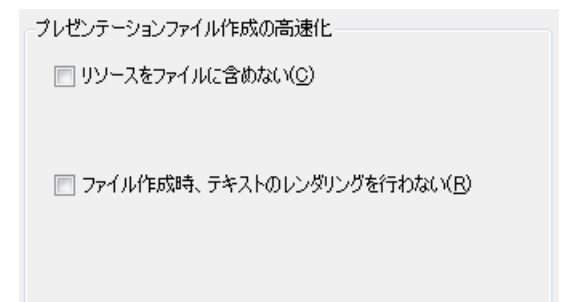
・「プロジェクトファイル共有モード」

→複数のユーザーやパソコンでプロジェクトファイルを編集したり共有したりする場合にチェックします。プロジェクトファイルの保存時、「リソース参照フォルダ（保存ファイル名と同名のフォルダ）」が作成され、プロジェクト内で使用しているリソースをコピーします。

ファイル共有モード
☐ プロジェクトファイル共有モード(P)
複数のパソコンでプロジェクトファイルを編集する場合などに選択します。
プロジェクトファイル保存時、リソース参照フォルダがファイルの保存先に作成され、使用するリソースがコピーされます。

（P48「編集の作業状況を保存する」を参照してください）

・プレゼンテーションファイルの高速化の設定を行います。（ライト版では設定できません）

・「リソースをファイルに含めない」

→このチェックボックスを選択すると、プレゼンテーションファイルを作成するとき、「プレゼンテーション参照フォルダ」が同時に作成されます。サイズの大きい動画や画像を多用するプレゼンテーションを作成し、既存のファイルに上書きする場合、プレゼンテーションファイル作成時間が大幅に短縮されます。ただし、プレゼンテーションファイルを他のパソコンにコピーする場合は、「プレゼンテーション参照フォルダ」も同時にコピーしなければなりません。

（P47「プレゼンテーションファイルを作成する」を参照してください）

・「ファイル作成時、テキストのレンダリングを行わない」

→テロップ部品などで使用するテキストデータを、プレゼンテーションファイル作成時ではなく、プレゼンテーション表示時に作成します。プレゼンテーションを行うパソコンにはテキストで使用するフォントがインストールされている必要があります。

つづく

・オプションの設定を行います。

・「最大フレームレート」

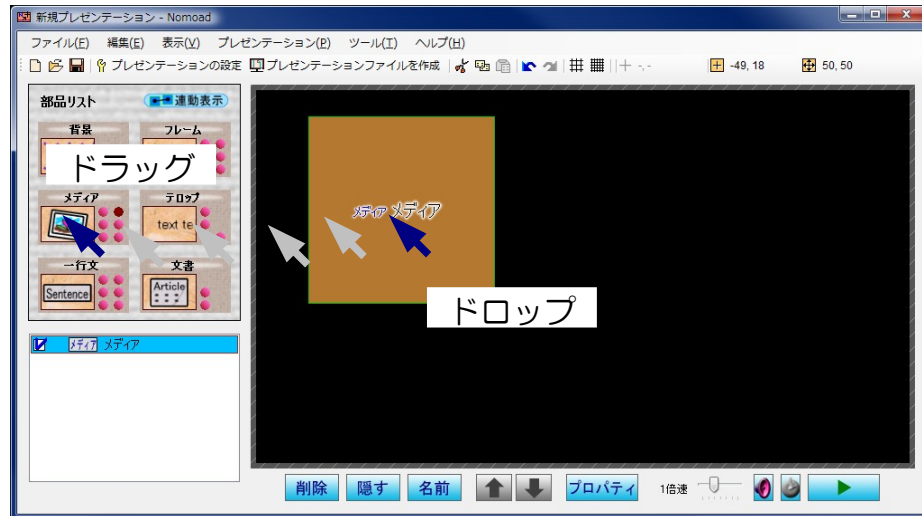
→最大フレームレートを設定します。**通常は「最大」に設定してください。**最大フレームレートを下げた場合、プレゼンテーション時のテロップの動きが安定する反面、画面がガクつく傾向があります。性能の低い表示パソコンでプレゼンテーションを行う場合に設定してください。

・「テキストを代替手法でレンダリングする」

→プレゼンテーション内の文字を代替の手法で描画します。**通常はチェックしないでください。**プレゼンテーション内の文字表示がうまく行われない場合、チェックすることによって文字表示が改善する場合があります。反面、文字の画質が低下します。

プレゼンテーションの設定はいつでも変更することが可能です。

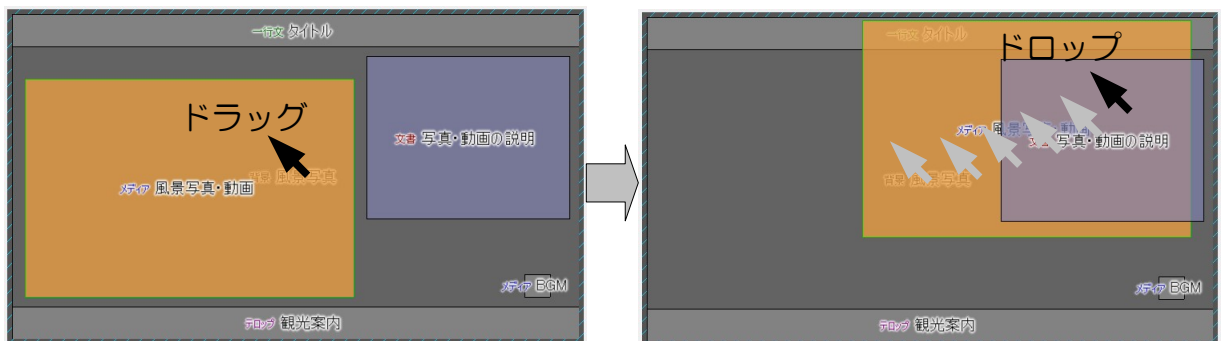
部品の配置を行う

レイアウト領域に部品を追加します。

部品リストから追加したい部品のアイコンをレイアウト領域にドラッグアンドドロップします。

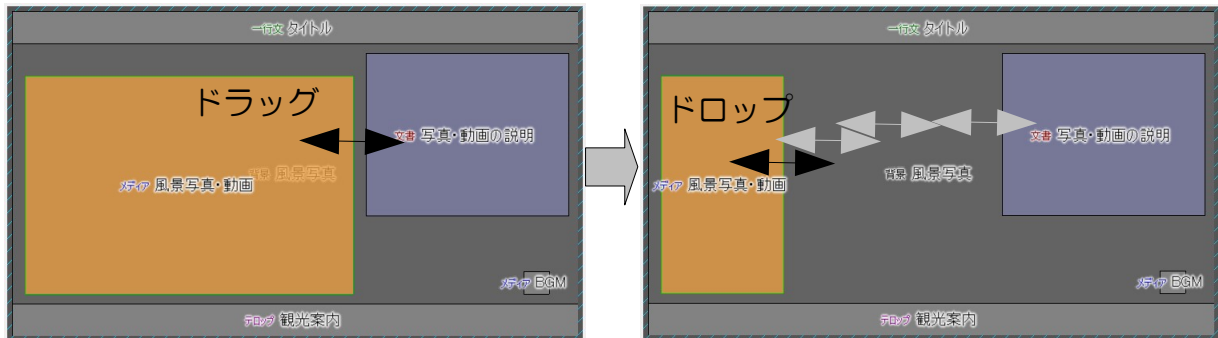
追加した部品は、マウスでドラッグアンドドロップすることで部品の位置を移動したり部品のサイズを変更することができます。

また、キーボードの方向キーを押すことによっても部品の位置を移動することができます。

※背景部品は位置を移動したりサイズを変更することはできません。

・部品を移動する場合、部品の内側をドラッグアンドドロップします。

※キーボードの方向キーを押すことによっても移動することができます。

つづく

・部品のサイズを変更する場合、部品の縁をドラッグアンドドロップします。

・部品を一段階、前面に移動する場合、編集バーの「 」ボタンをクリックします。

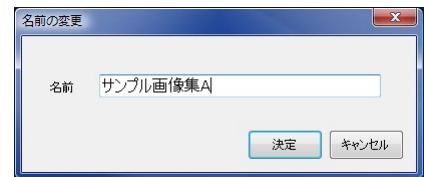
・部品を一段階、背面に移動する場合、編集バーの「 」ボタンをクリックします。

・メニューから「編集」→「中心へ配置」をクリックすることにより、部品をレイアウト領域の中心へ移動することができます。

部品の名前を変更する

部品の名前を変更することができます。

・部品を選択し、編集バーの「名前」ボタンをクリックします。（または、キーボードのF7キーを押します。）

・新しい名前を入力し、「決定」ボタンをクリックします。

部品を隠す

部品を隠すことができます。隠された部品はプレゼンテーション時に表示されません。

・部品を選択し、編集バーの「隠す」をクリックします。

・隠された部品を再び表示するには、採用部品リストから部品を選択し、メニューから「編集」→「表示」をクリックします。

部品を削除する

部品を削除します。

・部品を選択し、編集バーの「削除」ボタンをクリックします。（またはキーボードのDeleteキーを押します。）

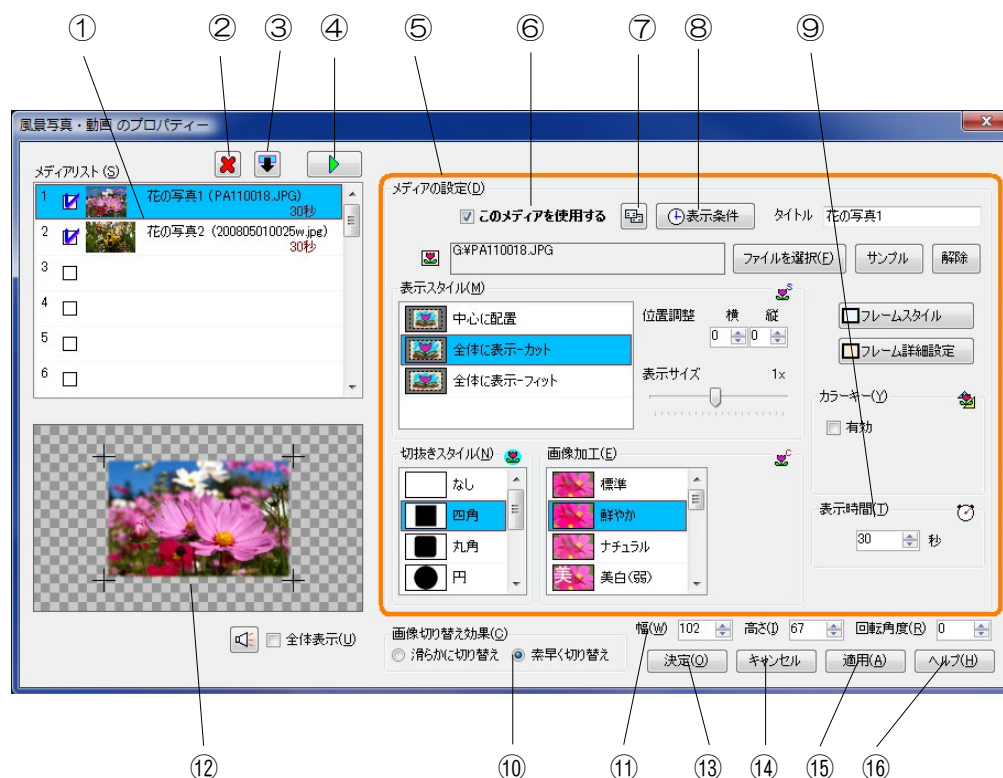
部品の内容を編集する

部品の内容を部品プロパティー設定画面で編集します。

・部品を選択し、編集バーの「プロパティ」ボタンをクリックします（またはキーボードのF8キーを押します）。部品プロパティー設定画面が表示されます。

※部品プロパティー設定画面が表示されているときでも、メイン画面での操作を行うことができます。ただし、部品プロパティー設定画面は複数個表示させることはできません。

■部品プロパティー設定画面の説明

部品プロパティー設定画面の基本的な機能を説明します。ここではメディア部品のプロパティー設定画面を例とします。

番号	内容	説明
①	項目（アイテム）リスト	項目（アイテム）の状態を一覧として表示します。リストをクリックすると、選択された項目の内容が表示され、編集できるようになります。
②	項目リセットボタン	選択された項目の内容をリセットします。
③	項目移動・コピーボタン	選択された項目の内容を移動またはコピーします。
④	項目プレビューボタン	選択された項目のプレビューをメイン画面を利用して行います。
⑤	選択項目の内容	選択された項目の内容を編集します。

番号	内容	説明
⑥	項目の有効/無効	選択された項目の有効/無効を設定します。
⑦	設定値コピーボタン	選択された項目の設定値を他の項目にコピーします。コピーする設定値を選択することができます。
⑧	表示条件設定ボタン	表示条件設定ウインドウを表示します。選択された項目の表示条件を設定することができます。
⑨	表示時間	選択された項目の表示時間を設定します。
⑩	表示切り替え効果	プレゼンテーション中に表示項目が切り替わるときの視覚効果を選択します。
⑪	部品サイズ・回転角度	部品の幅・高さ・回転角度を設定します。
⑫	項目プレビュー領域	選択された項目のプレビュー表示が表示される領域です。プレビュー領域には部品のサイズを示す✚マークが表示されます。部品全体を表示するときは「全体表示」チェックボックスをチェックします。
⑬	決定ボタン	部品プロパティー設定画面を閉じます。部品へ編集結果が反映されます。
⑭	キャンセルボタン	部品プロパティー設定画面を閉じます。部品への編集結果は反映されません。
⑮	適用ボタン	現在の編集結果を部品へ反映させます。
⑯	ヘルプボタン	ヘルプを表示します。

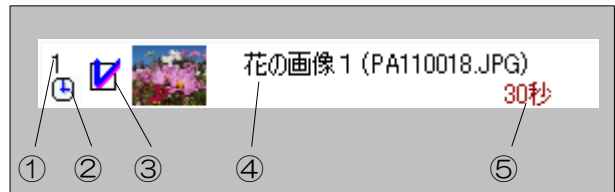
項目（アイテム）リストの表示内容について説明します。

①項目番号･･･項目の表示順をあらわします。

②表示条件の設定有無･･･表示条件が設定されている場合、マークが表示されます。

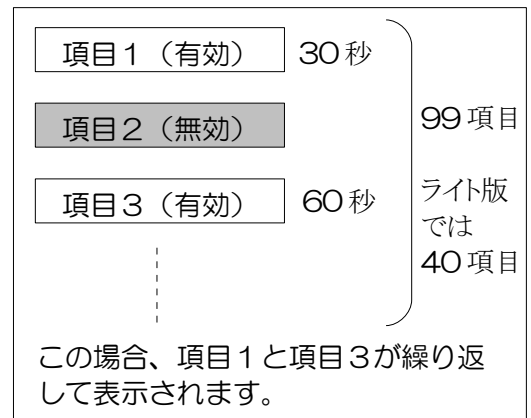
③項目の有効/無効･･･項目が有効な場合にチェックマークが表示されます。

④表示内容･･･表示内容を表します。

⑤表示時間･･･表示時間を表します。

■部品の動作について

部品はそれぞれ独立して動作します。他の部品と連動して表示することも可能です（P39「複数の部品を連動して表示する（連動表示）」を参照してください）。

- 部品は項目（アイテム）を複数（99 個、ライト版では 40 個）持っています。
- プレゼンテーション時は、有効な項目を繰り返して表示します。
- それぞれの項目には表示時間と表示条件を設定することができます。

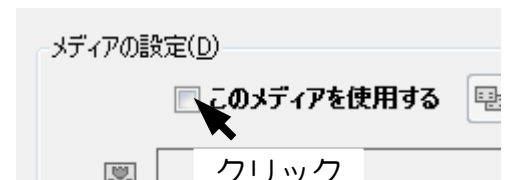
※有効な項目が１つだけの場合、設定された表示時間に関わらずその項目のみを表示し続けます。

■項目（アイテム）の編集

項目の内容を編集する方法について説明します。

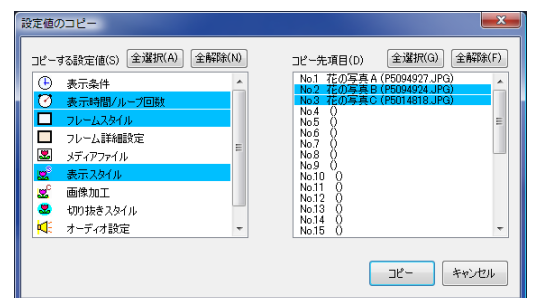
1　項目リスト内の項目をクリックします。

選択した項目の内容がウインドウの右の部分に表示されます。

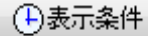
2　項目を有効にします。

項目の内容を編集することができるようになります。

3　項目の内容を編集します。

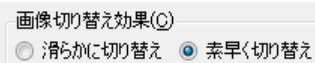
項目の内容を編集します。画像を設定したり、文章を作成したりすることができます。編集できる内容は部品の種類によって異なります。P49「部品プロパティー設定画面の説明」を参照してください。

- 設定値コピーボタンをクリックすることにより、編集した項目の設定値を他の項目にコピーすることができます。

4　表示時間を設定します。

選択された項目は、ここで設定した時間だけ表示されます。

※設定した表示時間が短い場合、プレゼンテーション時、設定した時間よりも実際の表示時間が長くなる場合があります。

５　表示条件を設定します。

項目の表示に条件をつけたい場合は、表示条件を設定することができます。

表示条件ボタンをクリックします。

表示条件設定ウインドウが表示され、表示時刻の指定を最大で４期間設定することができます。

６　表示する全ての項目に対して手順１～５を繰り返します。

■表示切り替え効果の選択

表示項目が切り替わるときの視覚効果を選択します。「素早く切り替え」、「滑らかに切り替え」のどちらかを選択できます。

※表示パソコンの性能が低い場合は「素早く切り替え」を選択することをお奨めします。「滑らかに切り替え」を選択した場合、表示項目が切り替わる際、画面表示がガクつく場合があります。

■項目の内容をリセット・移動・コピーする

・選択した項目の内容を全てリセットしたいときは、項目リセットボタンをクリックします。

・選択した項目を移動またはコピーするときは、項目移動・コピーボタンをクリックします。

※リストをドラッグアンドドロップすることによっても項目を移動することができます。また、キーボードのCtrlキーを押しながらドラッグアンドドロップすることによって項目をコピーすることができます。

※項目のコピーの際、コピー先の項目は上書きされます。

■項目の内容をメイン画面でプレビューする

項目プレビューボタンをクリックします（またはキーボードのF5キーを押します）。選択した項目の内容をメイン画面で確認することができます。

■編集した内容を部品に反映させる

編集した内容を部品に反映させる場合は、「適用」ボタンをクリックします。その時点での編集内容が部品に反映されます。

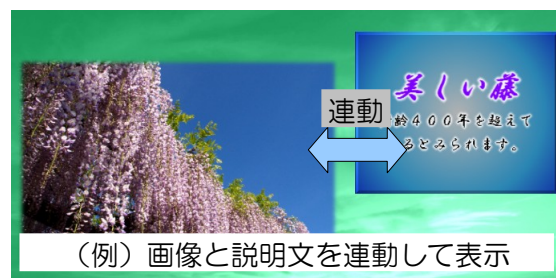
■編集を終了する

編集した内容を部品に反映させるときは「決定」ボタンをクリックします。編集内容を破棄して編集を終了する場合、「キャンセル」ボタンをクリックします。

複数の部品を連動して表示する（連動表示）

レイアウト領域に配置された部品は単体で独立して動作しますが、複数の部品を連動して表示することもできます（連動表示）。

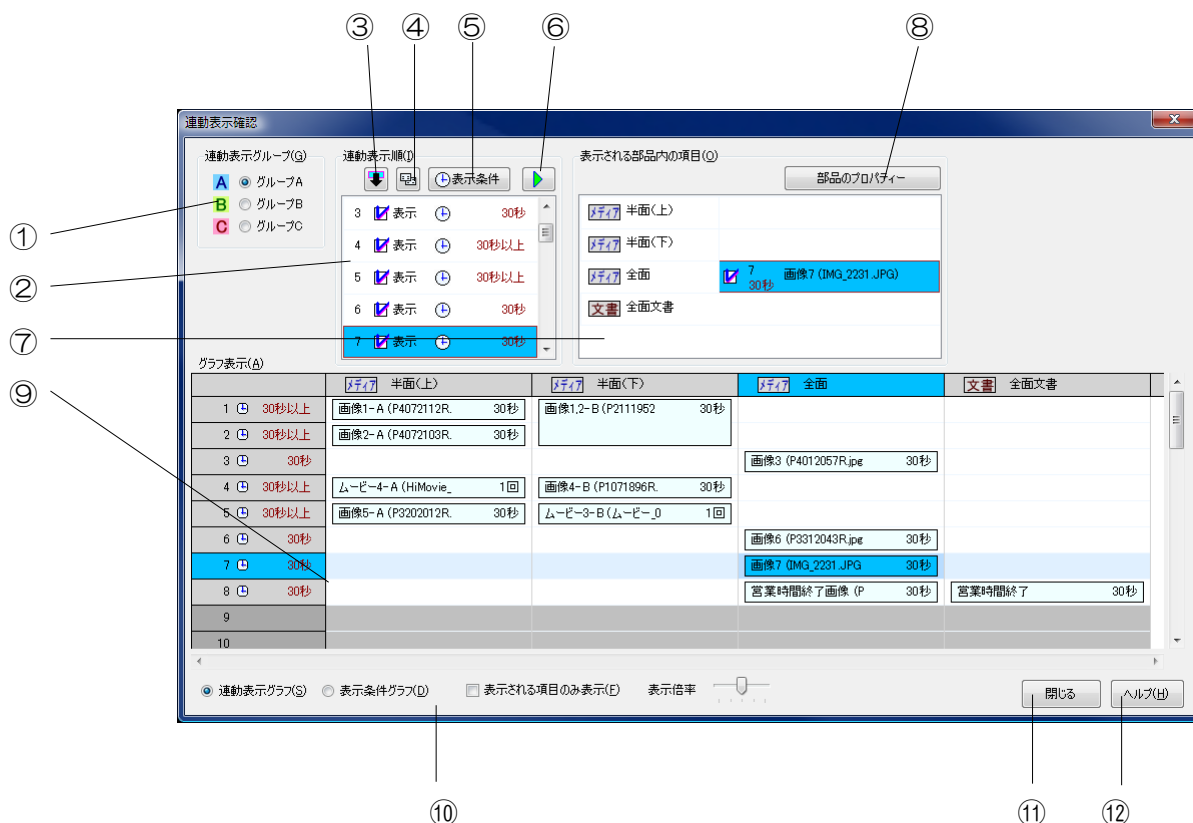
（例）画像と説明文を連動して表示

複数の部品を連動して表示させるための方法を説明します。

■連動表示確認画面を表示する

連動表示を行う部品の状態を確認するため、連動表示確認ウインドウを表示します。

・部品リストの「連動表示」をクリックします。「連動表示確認ウインドウ」が表示されます。

■連動表示確認画面の説明

連動表示確認ウインドウの機能について説明します。

番号	内容	説明
①	連動表示グループ	確認する連動表示グループを選択します。
②	連動表示順リスト	指定した連動表示グループにおける連動表示項目の表示順をあらわします。

つづく

番号	内容	説明
③	項目移動ボタン	選択された連動表示項目を移動します。同じ連動表示グループに属する全ての部品の項目が移動します。
④	設定値コピーボタン	選択された連動表示項目の表示条件を他の連動表示項目にコピーします。
⑤	表示条件設定ボタン	選択された連動表示項目の表示条件を設定します。設定された表示条件は表示条件グラフに表示されます。
⑥	連動表示項目プレビューボタン	選択された連動表示項目のプレビューをメイン画面を利用して行います。
⑦	表示内容リスト	指定した連動表示項目で表示される項目（アイテム）の内容を部品ごとに表示します。
⑧	部品のプロパティーボタン	選択された項目（アイテム）の内容を編集するためのプロパティー設定画面が表示されます。
⑨	グラフ表示領域	選択された種類のグラフを表示します。
⑩	グラフ操作領域	グラフの種類や表示方法を選択できます。
⑪	閉じるボタン	連動表示確認ウインドウを閉じます。
⑫	ヘルプボタン	ヘルプを表示します。

連動表示順リストの表示内容について説明します。

①連動表示項目番号･･･連動表示項目の表示順を表します。

②連動表示項目の有効/無効･･･連動表示項目が有効な場合はチェックマークが表示されます。

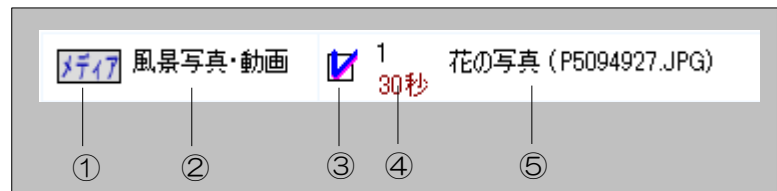
③表示条件の設定有無･･･表示条件が設定されている場合、マークが表示されます。

④表示時間の目安･･･おおよその表示時間が表示されます。ただし、回数指定の項目や同上指定の項目がある場合、その項目の動作によっては実際の表示時間は大きく変化します。（時間指定の項目のみの場合や、同上指定の項目のみの場合などは(*)マークが表示されます。）

表示内容リストの表示内容について説明します。

①部品の種類

②部品の名前

③項目の有効/無効･･･項目が有効な場合にチェックマークが表示されます。

④項目に設定された最低表示時間･･･項目に設定された最低表示時間を表します。実際の表示時間はそれ以上となります。

⑤表示内容･･･項目に設定された表示内容を表します。

グラフ表示について説明します。

・連動表示グラフ

連動表示の表示順番や表示内容をグラフィカルにわかりやすく表示するグラフです。

項目をダブルクリックするとその部品のプロパティーが表示されます。

（編集中の画面）

①連動表示項目番号･･･連動表示項目の表示順を表します。

②表示条件の設定有無･･･表示条件が設定されている場合、マークが表示されます。

③表示時間の目安･･･おおよその表示時間が表示されます。ただし、回数指定の項目や同上指定の項目がある場合、その項目の動作によっては実際の表示時間は大きく変化します。（時間指定の項目のみの場合や、同上指定の項目のみの場合などは(*)マークが表示されます。）

④部品の名前

⑤表示内容･･･項目に設定された表示内容を表します。

⑥項目に設定された最低表示時間･･･項目に設定された最低表示時間を表します。実際は次の連動表示項目に切り替わるまで表示し続けます。

つづく

（プレビュー中の画面）

①表示中の連動教示項目･･･プレビューで表示中の現在の連動表示項目をあらわします。

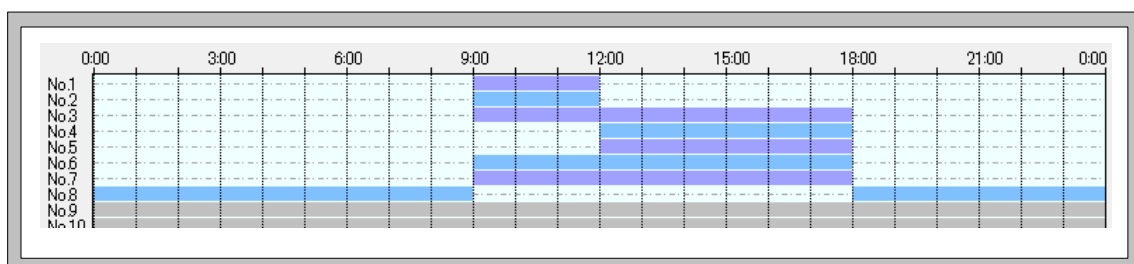
「プレビュー条件の設定」ウインドウ（P46を参照してください）で「部品プロパティーで設定した表示条件をプレビュー時に適用する」を選択している場合、下記のアイコンが表示されます。

②表示可能な連動表示項目･･･表示条件をクリアしている項目をあらわします。

③表示不可能な連動表示項目･･･表示条件をクリアしていない項目をあらわします。

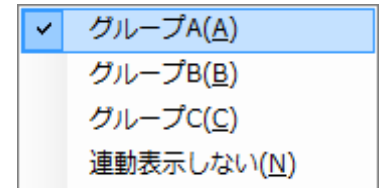
・表示条件グラフ

連動表示項目の表示条件をグラフで表示します。

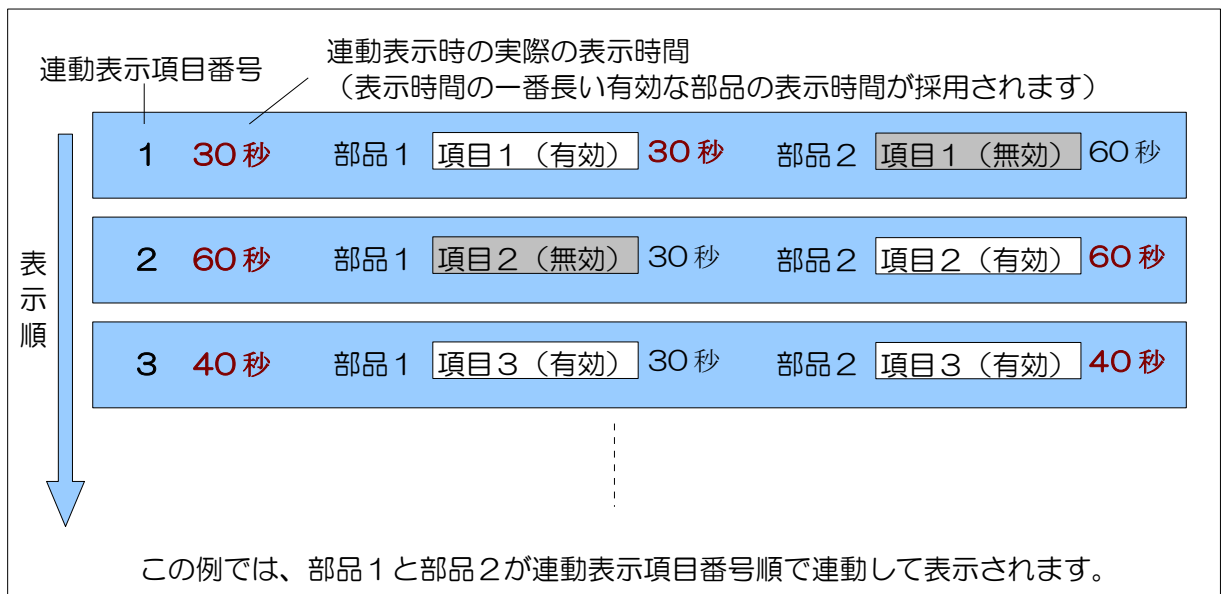
連動表示項目をダブルクリックすると表示条件設定ウインドウが表示されます。

■連動表示グループに部品を設定する

連動表示を行うために、部品を連動表示グループに設定します。

・連動表示を行いたい部品を選択し、メニューから、「編集」→「連動表示」をクリックし、連動表示グループを選択します。

・連動表示グループは、A、B、Cの３つのグループを選択できます。

※連動表示を解除する場合は、「連動表示しない」を選択します。

■連動表示時の部品の動作について

部品に連動表示グループを設定すると、同じ連動表示グループに属する他の部品と連動して表示することができます。

・プレゼンテーション時、連動表示グループに属している部品は同一の項目番号の項目（連動表示項目）が同じタイミングで表示されます。

・連動表示項目は、表示中の全ての部品項目が表示時間を終了したときにはじめて切り替わります。（表示時間が短い場合や、次に表示する部品の画像サイズが大きい場合などが原因で次に表示するの部品項目の表示準備が間に合わなかった場合、表示準備が完了するまで切り替わらないことがあります）

・表示中の連動表示項目内の全ての部品項目は次の連動表示項目に切り替わるまで表示し続けます。

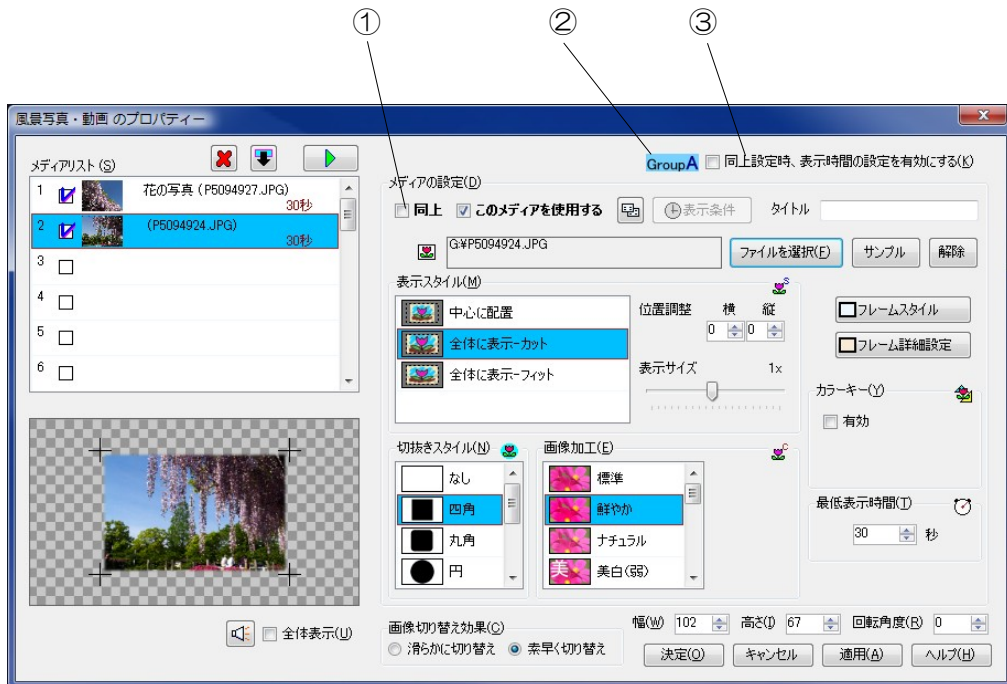
・同じ連動表示項目内に有効でない部品項目が存在するとき、その部品項目は表示されません。（その他の有効な部品項目は表示されます。）

・同じ連動項目番号内の部品項目が全ての部品で無効な場合、その表示はスキップされます。

■連動表示グループに設定した部品の表示内容を編集する

連動表示グループに設定した部品の内容を編集する方法について説明します。

・レイアウト領域または採用部品リストで部品を選択し、編集バーの「プロパティ」ボタンをクリックします（またはキーボードのF8キーを押します）。部品プロパティー設定画面が表示されます。

・または、連動表示確認ウインドウの表示内容リストで部品を選択し、「部品のプロパティー」ボタンをクリックします。

①･･･「同上」チェックボックス　　②･･･属している連動表示グループ

③･･･「同上設定時、表示時間の設定を有効にする」チェックボックス

連動表示グループに属していない部品と同じ方法や手順で表示内容を編集することができます。ただし、以下のような違いがあります。

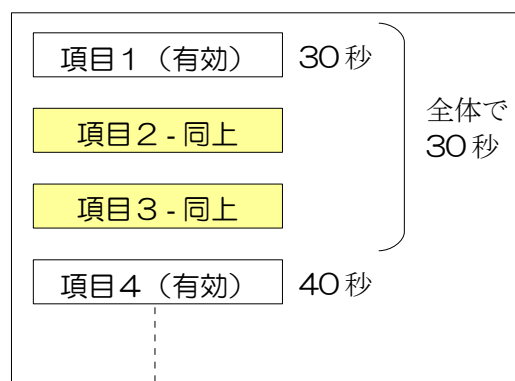
・連動表示を行う部品では、表示条件の設定を行うことができません。表示条件は連動表示確認ウインドウで連動表示グループごとに設定します。

・同上設定を行うことができます。部品内のある項目（アイテム）に同上設定を行った場合、その項目を表示するタイミングで直前の項目と同じ内容を表示し続けます。同上設定を行う場合、「同上」チェックボックスをクリックします。ただし、項目番号１の項目に同上設定を行うことはできません。

同上

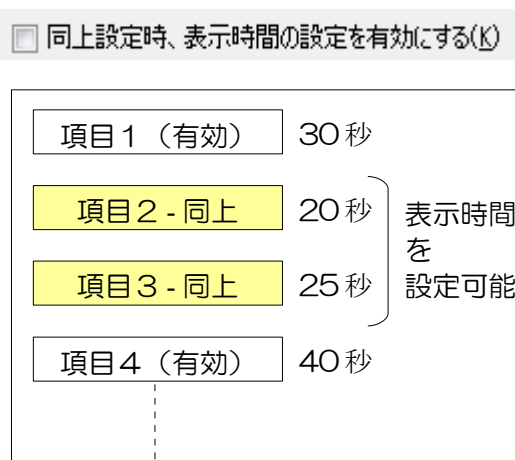
・通常、同上設定されている項目では表示時間を設定することができません。同上元項目の表示時間が、それ以下の同上設定されている項目との総合時間となります。

連動表示グラフでの表示

		メディア
1	(*)	背景画像１(P105446　30秒
2	(*)	
3	(*)	
4	40秒	背景画像２(P103446　40秒

・同上設定されている項目に対して個別に表示時間を設定したいときは、「同上設定時、表示時間の設定を有効にする」チェックボックスをクリックします。その場合、その部品内の全ての有効な項目に対して表示時間を設定することができます。

☐ 同上設定時、表示時間の設定を有効にする(K)

連動表示グラフでの表示

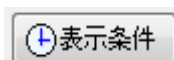
		メディア
1	30秒	背景画像１(P105446　30秒
2	20秒	20秒
3	25秒	25秒
4	40秒	背景画像２(P103446　40秒

■連動表示グループ内の連動表示順を変更する

連動表示確認ウインドウで項目移動ボタンをクリックすることにより、選択された連動表示項目を移動することができます。

※連動表示順リストをドラッグアンドドロップすることによっても連動表示項目を移動することができます。

※連動表示順を移動した際、１番目へ移動した項目に対し、その項目の同上設定が全ての部品で解除されます。

■連動表示項目の表示条件を設定する

連動表示項目の表示条件を設定するには、連動表示確認ウインドウで表示条件設定ボタンボタンをクリックします。表示条件設定ウインドウが表示され、表示時刻の指定を最大で４期間設定することができます。

・設定された表示条件は表示条件グラフで確認することができます。

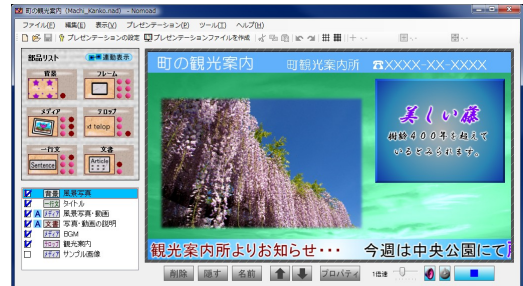
※設定値コピーボタンをクリックすることによって、選択された連動表示項目に設定された表示条件を他の連動表示項目にコピーすることができます。

■連動表示項目のプレビューを行う

連動表示確認ウインドウで連動表示項目プレビューボタンをクリック（またはキーボードのF5キーを押す）することにより、選択した連動表示項目の内容をメイン画面で確認することができます。

プレゼンテーション内容のプレビューを行う

編集バーの「」ボタンをクリックすることにより、編集中のプレゼンテーション内容を確認（プレビュー）することができます。

プレビュー中に「」ボタンをクリックするとプレビューを停止します。

・プレビュー速度スライダーを操作することにより、プレビュー中の時間経過速度を変更することができます。

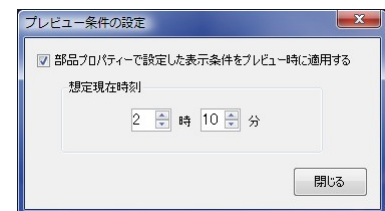
※動画や音声を再生中の場合、再生される速度はファイルの種類によっては変化しない場合があります。

※プレビュー時、パソコンの性能に関わらず画面がガクつくことがありますが、異常ではありません。

■プレビュー条件を設定する

プレビュー時の条件を設定することができます。プレビュー条件を設定することにより、部品のプロパティー設定画面や連動表示確認画面で設定した表示条件を確認することができます。

・プレビュー時の条件を設定するには、プレビュー条件ボタンをクリックします（またはキーボードのF4キーを押します）。「プレビュー条件の設定」ウインドウが表示されます。

クリック

※プレビュー条件ボタンは、プレビュー条件が設定されているときはカラーのアイコンで、プレビュー条件が設定されていないときは、モノクロのアイコンで表示されます。

プレビュー条件が設定されているとき

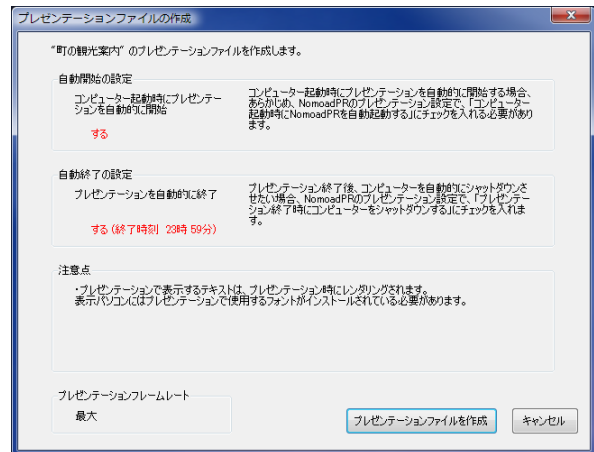
プレビュー条件が設定されてないとき

プレゼンテーションファイルを作成する

プレゼンテーションファイルを作成する方法を説明します。

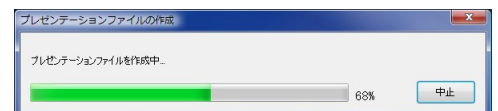
プレゼンテーションファイルには、編集したプレゼンテーション内容が格納されており、表示パソコンでプレゼンテーションを行うときやスケジュールを作成するときに使用します。

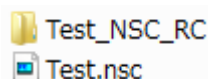
1　メニューから「プレゼンテーション」→「プレゼンテーションファイルを作成」をクリックします。

2　「プレゼンテーションファイルの作成」画面が表示されます。内容を確認してから、「プレゼンテーションファイルを作成」ボタンをクリックします。

3　プレゼンテーションのファイル名と、ファイルを保存する場所を指定し、「保存」ボタンをクリックします。

4　「ファイル作成の確認」画面が表示されます。「ＯＫ」ボタンをクリックします。

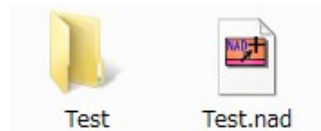
5　プレゼンテーションファイルの作成が開始され、作成状況が表示されます。

・「中止」ボタンをクリックすることにより
　ファイルの作成を中止することができます。

6　ファイルの作成が完了したら、「閉じる」ボタンをクリックします。

※プレゼンテーションの設定ウインドウ（P30「プレゼンテーションの設定を行う」を参照）で「リソースをファイルに含めない」を選択している場合、プレゼンテーションファイルのほかに、「プレゼンテーション参照フォルダ」が同時に作成されます（フォルダ名は、「[作成したファイル名_NSC_RC]」）。プレゼンテーションファイルを他のパソコンやフォルダにコピーまたは移動する場合は、このフォルダも一緒にコピーまたは移動を行ってください。

編集の作業状況を保存する

プレゼンテーション編集の作業状況をプロジェクトファイルとして保存するには、メニューから「ファイル」→「保存」をクリックします。

・別のファイル名を指定して保存したい場合は、メニューから「ファイル」→「名前をつけて保存」をクリックします。

・保存したプロジェクトファイルを他のパソコンで使用する場合は、プレゼンテーションの設定ウインドウ（P30を参照）で、「プロジェクトファイル共有モード」を選択する必要があります。この場合、プロジェクトファイルの保存時に「リソース参照フォルダ（プロジェクトファイル名と同名のフォルダ）」がプロジェクトファイルと同じ保存先に作成され、プロジェクト内で使用するリソースファイル（動画・画像等）がリソース参照フォルダにコピーされます。以降、プロジェクト内では、コピーされたリソースファイルが使用されます。

※「プロジェクトファイル共有モード」で保存したプロジェクトファイルを他のフォルダやパソコンへコピーする場合は、同時に作成されたリソース参照フォルダも同時にコピーしてください。

※作成されたリソース参照フォルダは削除しないでください。リソース参照フォルダにはプレゼンテーション編集時に使用されるリソースファイルが含まれています。ただし、プレゼンテーションを編集した結果、これらのリソースファイルが不要になった場合、そのリソースファイルは削除してもかまいません。

※「プロジェクトファイル共有モード」保存したプロジェクトファイルの名前を変更する場合は、リソース参照フォルダも同時に同じ名前に変更してください。（例えばプロジェクトファイル名を「Test2.nad」に変更する場合、リソース参照フォルダは「Test2」に変更します）

編集の作業を再開する

保存されたプロジェクトファイルを読み込み、作業を再開するには、「ようこそ」画面の「プロジェクトを開く」をクリックするか、またはメニューの「ファイル」→「開く」をクリックします。

※最近使用したプロジェクトファイルについては、メニューから「ファイル」→「最近使ったファイル」から選択することができます。

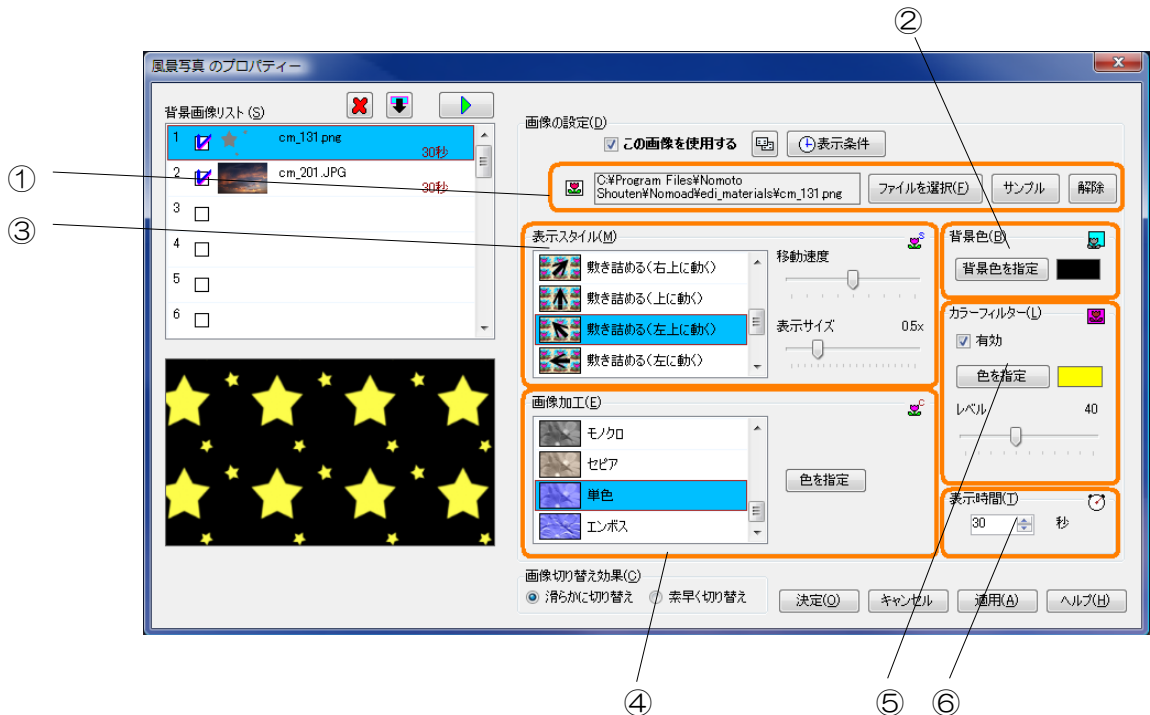
※ライト版では通常版で作成したプロジェクトファイルを読み込むことはできません。

部品プロパティー設定画面の説明

部品プロパティー設定画面について部品ごとに説明します。

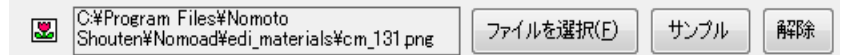
各部品に共通した設定項目や部品の基本的な動作についてはＰ 35「部品の内容を編集する」を参照してください。

背景部品のプロパティー設定画面

背景部品のプロパティー設定画面では、背景部品に複数の背景を設定します。背景には画像を指定することができます。

①・・・背景画像ファイル　②・・・背景色　③・・・表示スタイル

④・・・画像加工　⑤・・・カラーフィルター　⑥・・・表示時間

①背景画像ファイル

選択した項目に画像を指定します。

・ファイルから画像を選択するには、「ファイルを選択」ボタンをクリックします。

・サンプルから画像を選択するには、「サンプル」ボタンをクリックします。

・選択したファイルを解除するには、「解除」ボタンをクリックします。

選択できる画像ファイルの種類は以下のとおりです。

・.bmp　.jpg　.jpeg　.jpe　.png　.tif　.tiff　.gif

※.png ファイルのアルファ値による透過に対応しています。

※.gif ファイルのアニメーションには対応していません。

②背景色

背景色を指定します。ここでの背景色とは、指定した画像の背面にある地色のことを指します。

③表示スタイル

選択した画像の表示スタイルを指定します。

表示スタイル	説明
中心に配置	画像を中心に配置します。画像の位置を調整することもできます。また、画像の表示サイズを0.1 倍～2 倍の間で変更することができます。
全体に表示ーカット	画像を画面いっぱいに表示されるように拡大し、配置します。画像のはみ出た部分はカットされます。画像の位置を調整することもできます。また、画像の表示サイズを0.1 倍～2 倍の間で変更することができます。
全体に表示ーフィット	画像を画面いっぱいに引き伸ばします。画像の全ての部分が表示されます。
敷き詰める（静止）	画像を敷き詰めて表示します。画像の表示サイズを0.1 倍～2 倍の間で変更することができます。
敷き詰める（右に動く）	画像を敷き詰めて表示し、それを右方向に動かします。移動速度は変更することができます。また、画像の表示サイズを0.1 倍～2 倍の間で変更することができます。
敷き詰める（右上に動く）	画像を敷き詰めて表示し、それを右上方向に動かします。移動速度は変更することができます。また、画像の表示サイズを0.1 倍～2 倍の間で変更することができます。
敷き詰める（上に動く）	画像を敷き詰めて表示し、それを上方向に動かします。移動速度は変更することができます。また、画像の表示サイズを0.1 倍～2 倍の間で変更することができます。
敷き詰める（左上に動く）	画像を敷き詰めて表示し、それを左上方向に動かします。移動速度は変更することができます。また、画像の表示サイズを0.1 倍～2 倍の間で変更することができます。
敷き詰める（左に動く）	画像を敷き詰めて表示し、それを左方向に動かします。移動速度は変更することができます。また、画像の表示サイズを0.1 倍～2 倍の間で変更することができます。
敷き詰める（左下に動く）	画像を敷き詰めて表示し、それを左下方向に動かします。移動速度は変更することができます。また、画像の表示サイズを0.1 倍～2 倍の間で変更することができます。
敷き詰める（下に動く）	画像を敷き詰めて表示し、それを下方向に動かします。移動速度は変更することができます。また、画像の表示サイズを0.1 倍～2 倍の間で変更することができます。
敷き詰める（右下に動く）	画像を敷き詰めて表示し、それを右下方向に動かします。移動速度は変更することができます。また、画像の表示サイズを0.1 倍～2 倍の間で変更することができます。

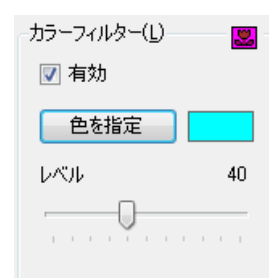
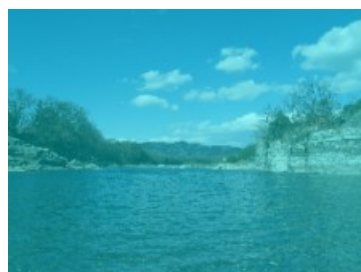
④画像加工

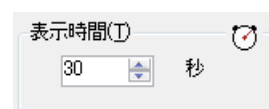
選択した画像を加工します。

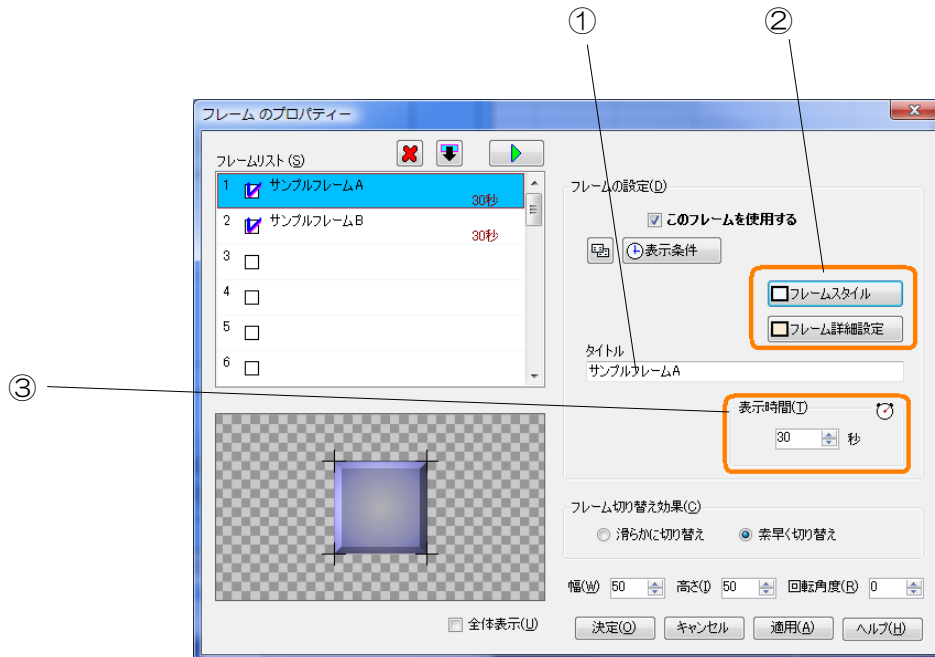
画像加工の種類	説明
カスタム	「編集」をクリックして画像を編集します。（※P83を参照）
標準	画像を加工しません。
鮮やか	画像を鮮やかにします。
ナチュラル	画像を自然な発色にします。
美白（弱）	画像に美白効果を加えます。
美白（強）	画像に強い美白効果を加えます。
明るい	画像を明るくします。
暗い	画像を暗くします。
高コントラスト	画像にメリハリをつけます。
低コントラスト	画像のメリハリを低減します。
テキスト	文書を撮影した写真などに有効です。
リアル	画像に陰湿感を加えます。
モノクロ	画像をモノクロ画像にします。
セピア	画像をセピア写真風にします。
単色	指定した色のみを使った画像にします。（※１）
エンボス	画像の凸凹を指定した色で表現します。（※１）

※１　色を指定するときは、「色を指定」ボタンをクリックします。

⑤カラーフィルター

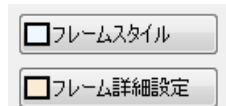
画像に色を加えます。色つきメガネで画像を見たときと同じ効果が得られます。色や色を加える量（レベル）を設定することができます。

⑥表示時間

背景の表示時間を設定します。５秒～3600 秒（１時間）まで指定できます。

フレーム部品のプロパティー設定画面

フレーム部品のプロパティー設定画面では、フレーム部品に複数のフレームを設定します。

①･･･フレームのタイトル　②･･･フレームの設定　③･･･表示時間

①フレームのタイトル

フレームのタイトルを設定できます。

②フレームの設定

表示するフレームを選択、または編集します。

・フレームスタイルを選択、または編集する場合、「フレームスタイル」ボタンをクリックします。「フレームスタイルの選択」画面が表示され、フレームスタイルを選択、編集することができます。フレームスタイルの選択、編集についてはP70「フレームの選択・編集」を参照してください。

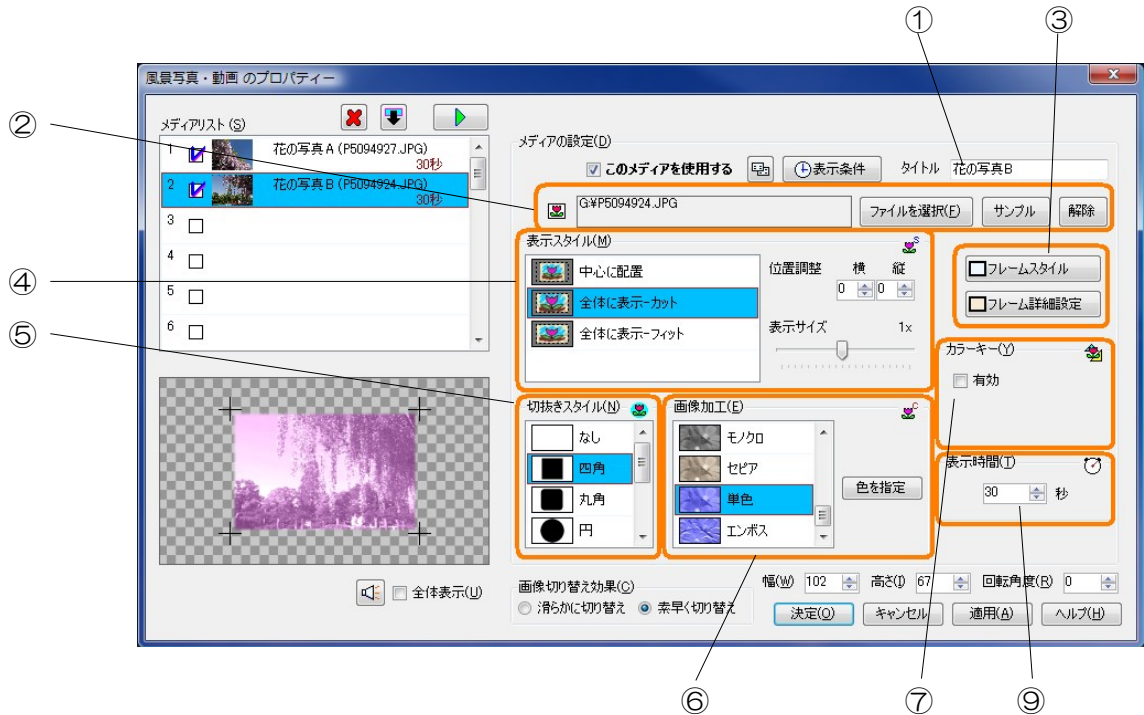
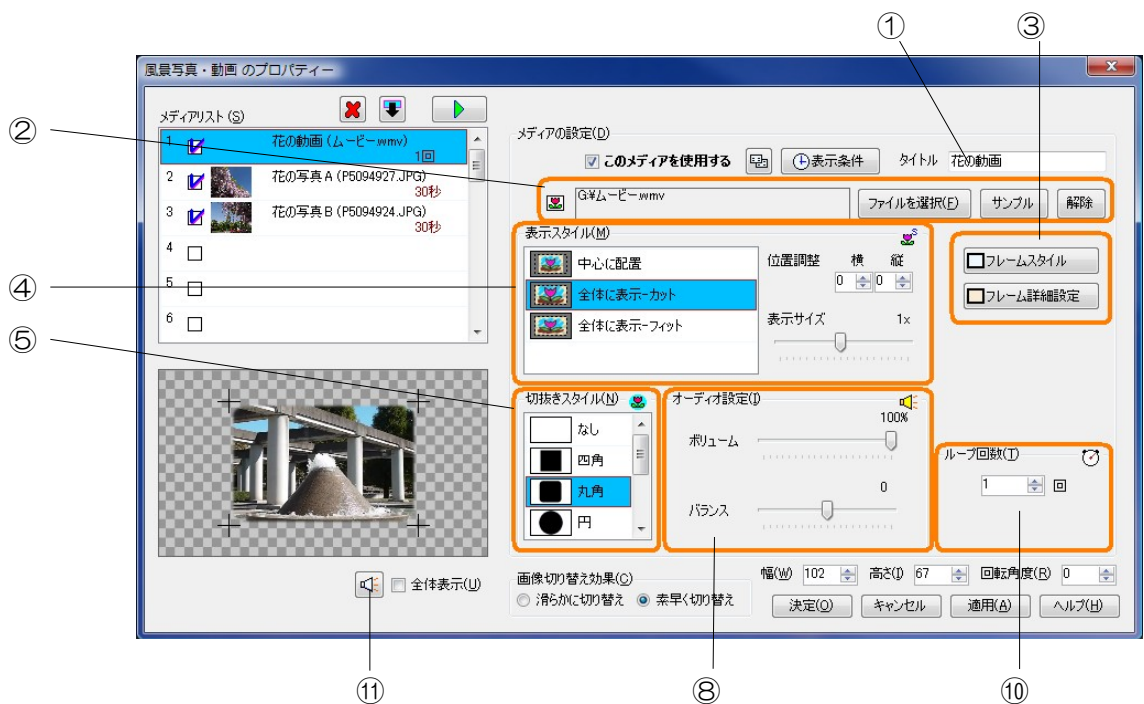
・フレームの枠の太さを設定する場合、「フレーム詳細設定」ボタンをクリックします。「フレーム詳細設定」ウインドウが表示され、フレームの枠の太さを指定することができます。

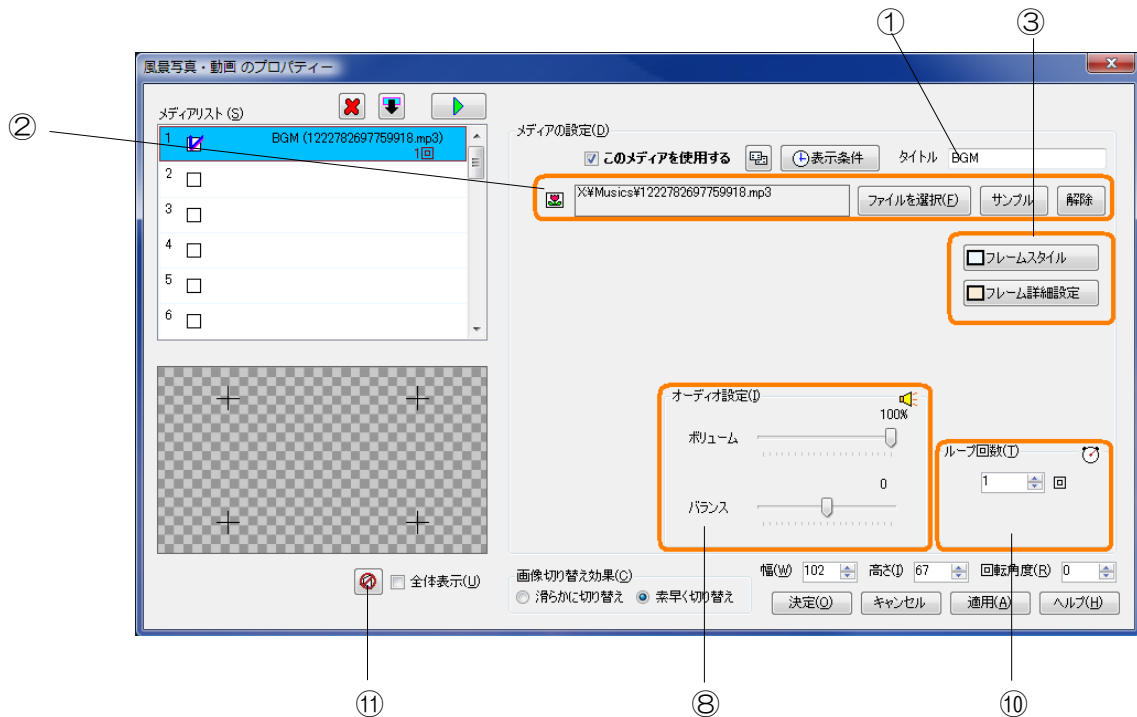
③表示時間

フレームの表示時間を設定します。5 秒～3600 秒（1 時間）まで指定できます。

メディア部品のプロパティー設定画面

メディア部品のプロパティー設定画面では、メディア部品に複数の画像、動画または音声を設定します。

・画像ファイルを指定した場合の画面表示

・動画ファイルを指定した場合の画面表示

つづく

・音声ファイルを指定した場合の画面表示

①･･･項目のタイトル　②･･･メディアファイル　③･･･フレームの設定
④･･･表示スタイル　⑤･･･切抜きスタイル　⑥･･･画像加工　⑦･･･カラーキー
⑧･･･オーディオ設定　⑨･･･表示時間　⑩･･･ループ回数　⑪･･･プレビューミュート

①項目のタイトル

画像・動画または音声のタイトルを設定できます。

②メディアファイル

表示する画像や動画、または
音声を指定します。

・ファイルからメディアファイルを選択するには、「ファイルを選択」ボタンをクリックします。

・サンプルからメディアファイルを選択するには、「サンプル」ボタンをクリックします。

・選択したメディアファイルを解除するには、「解除」ボタンをクリックします。

※メディアファイルを指定しない場合、または音声ファイルを指定した場合、プレゼンテーション時はフレームのみが表示されます。（フレームも表示しない場合は、何も表示されません。）

選択できるメディアファイルの種類は以下のとおりです。

メディアの種類	ファイルの拡張子	備考
画像	.bmp　.jpg　.jpeg　.jpe　.png　.tif　.tiff　.gif	※1　※2
動画	.wmv　.avi　.mpg　.mpeg　.asf　.vob	※3　※4
音声	.wma　.wav　.mp3　.mid	※4

※1　.png ファイルのアルファ値による透過に対応しています。

※2　.gif ファイルのアニメーションには対応していません。

※3　動画ファイルの種類によっては別途コーデックが必要となる場合があります。

※4　著作権が保護されたファイルは再生できません。

③フレームの設定

表示するフレームを選択、または編集します。

・フレームスタイルを選択、または編集する場合、「フレームスタイル」ボタンをクリックします。「フレームスタイルの選択」画面が表示され、フレームスタイルを選択、編集することができます。フレームスタイルの選択、編集についてはP70「フレームの選択・編集」を参照してください。

・フレームの枠の太さを設定する場合、「フレーム詳細設定」ボタンをクリックします。「フレーム詳細設定」ウインドウが表示され、フレームの枠の太さを指定することができます。

④表示スタイル

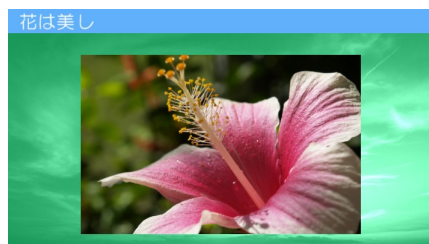
選択した画像や動画の表示スタイルを指定します。

表示スタイル	説明
中心に配置	画像や動画を部品の中心に配置します。配置位置を調整することもできます。また、表示サイズを0.1 倍～2 倍の間で変更することができます。
全体に表示ーカット	画像や動画を部品の枠いっぱいに表示されるように拡大し、配置します。はみ出た部分はカットされます。配置位置を調整することもできます。また、表示サイズを0.1 倍～2 倍の間で変更することができます。
全体に表示ーフィット	画像や動画を部品の枠いっぱいに引き伸ばします。画像の全ての部分が表示されます。

⑤切抜きスタイル

選択した画像や動画の切り抜きスタイルを指定します。

例

切り抜きスタイル:なし

切り抜きスタイル:円

⑥画像加工

選択した画像を加工します。

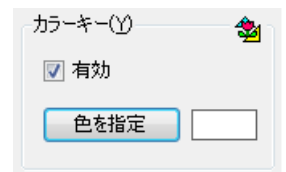
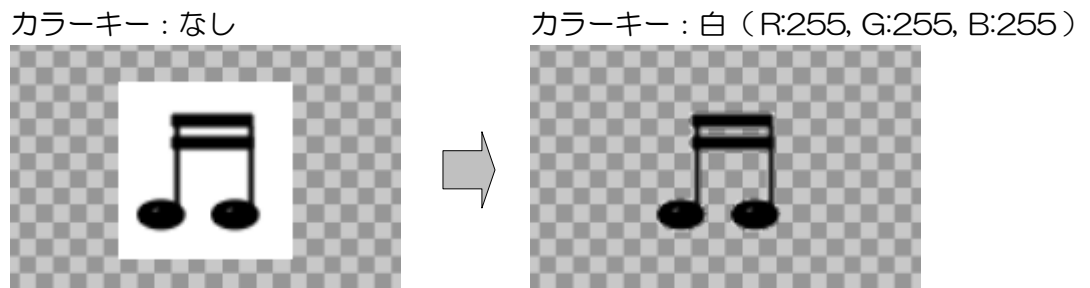
画像加工の種類	説明
カスタム	「編集」をクリックして画像を編集します。（※P83を参照）
標準	画像を加工しません。
鮮やか	画像を鮮やかにします。
ナチュラル	画像を自然な発色にします。
美白（弱）	画像に美白効果を加えます。
美白（強）	画像に強い美白効果を加えます。
明るい	画像を明るくします。
暗い	画像を暗くします。
高コントラスト	画像にメリハリをつけます。
低コントラスト	画像のメリハリを低減します。
テキスト	文書を撮影した写真などに有効です。
リアル	画像に陰湿感を加えます。
モノクロ	画像をモノクロ画像にします。
セピア	画像をセピア写真風にします。
単色	指定した色のみを使った画像にします。（※1）
エンボス	画像の凸凹を指定した色で表現します。（※1）

※1　色を指定するときは、「色を指定」ボタンをクリックします。

⑦カラーキー

カラーキーを有効にすることにより、指定した色をもつ画像の一部を透過することができます。

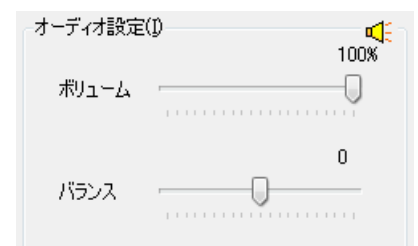
例

カラーキー：なし　　カラーキー：白（R:255, G:255, B:255）

※JPEG 画像など画像の種類によってはその特性によりカラーキーが正常に動作しない場合があります。

⑧オーディオ設定

選択した動画や音声のオーディオ設定を行います。

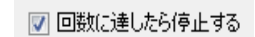
・ボリュームを0～100%の間で設定することができます。

・左右の音声バランスを-100（左のみ）～100（右のみ）の間で設定することができます。

⑨表示時間 / ⑩ループ回数

項目の表示時間/ループ回数（繰り返し回数）を設定します。

・選択されたメディアの種類が画像のときは、表示時間を５秒～3600秒（1 時間）まで指定できます。

・選択されたメディアの種類が動画または音声の場合、ループ回数を１～1000 回まで指定できます。

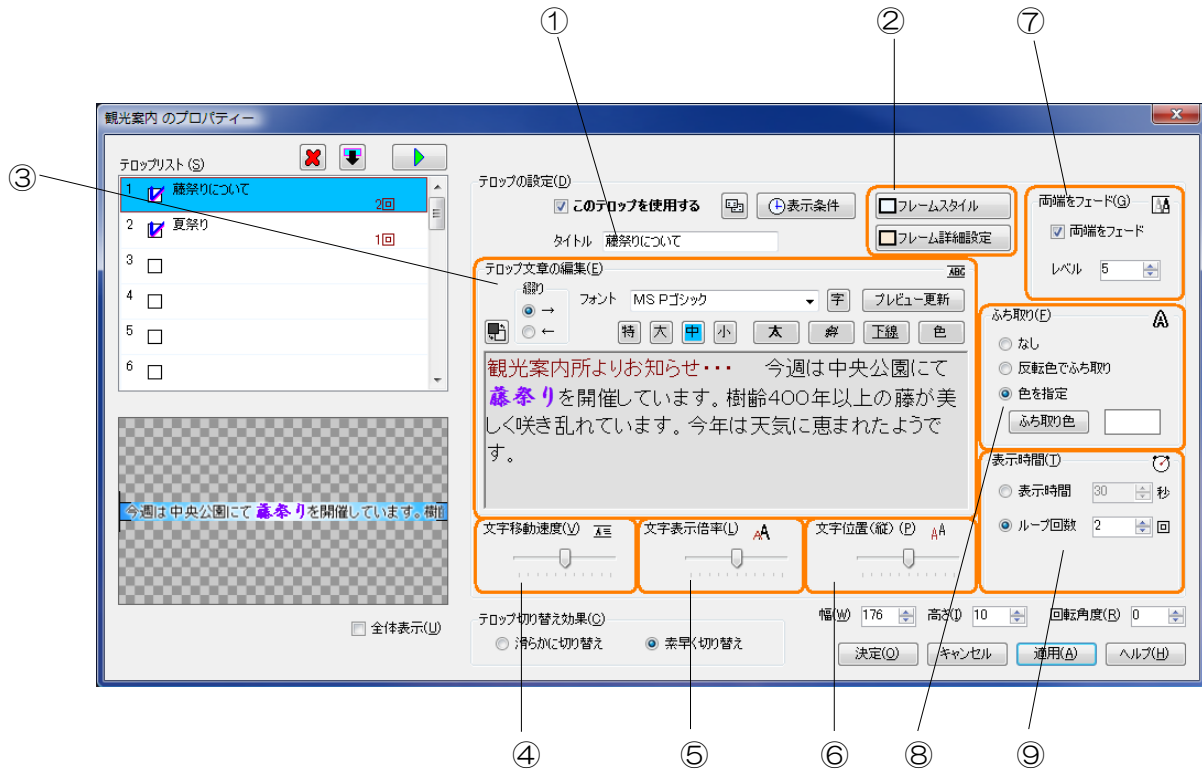
また、部品が連動表示グループに設定されているときは、「回数に達したら停止する」チェックボックスをチェックすることにより、指定したループ回数に達したときに動画または音声を停止することができます。チェックしない場合、次の連動表示項目に切り替わるまで繰り返し再生されます。

⑪プレビューミュート

プレビューウインドウでの音声のミュートを設定します。クリックするたび交互に切り替わります。

プレビュー中、音声が再生されます。

プレビュー中、音声はミュート状態になります。

テロップ部品のプロパティー設定画面

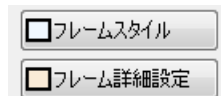
テロップ部品のプロパティー設定画面では、テロップ部品に複数のテロップを設定します。

①･･･テロップのタイトル　②･･･フレームの設定　③･･･テロップ文章の編集

④･･･文字移動速度　⑤･･･文字表示倍率　⑥･･･文字位置（縦）

⑦･･･両端フェード設定　⑧･･･ふち取り設定　⑨･･･表示時間

①テロップのタイトル

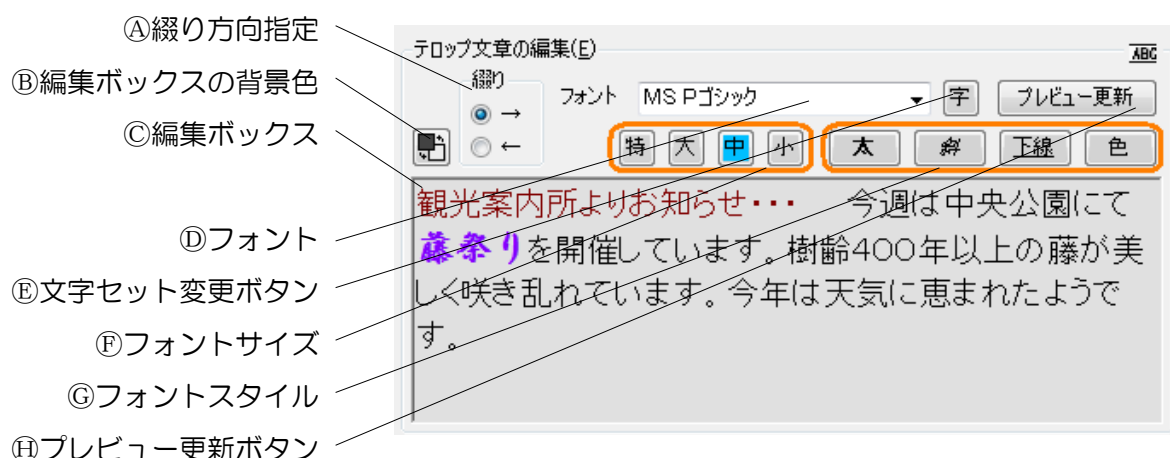
テロップのタイトルを設定できます。

②フレームの設定

表示するフレームを選択、または編集します。

・フレームスタイルを選択、または編集する場合、「フレームスタイル」ボタンをクリックします。「フレームスタイルの選択」画面が表示され、フレームスタイルを選択、編集することができます。フレームスタイルの選択、編集についてはP70「フレームの選択・編集」を参照してください。

・フレームの枠の太さを設定する場合、「フレーム詳細設定」ボタンをクリックします。「フレーム詳細設定」ウインドウが表示され、フレームの枠の太さを指定することができます。

③テロップ文章の編集

テロップとして表示する文章を作成・編集します。

機能		説明
Ⓐ	綴り方向指定	作成する文章の綴りの方向を指定します。作成する文章の言語にあわせて設定します。
Ⓑ	編集ボックスの背景色	編集ボックスの背景色を設定します。クリックするたびに「濃い灰色」⇔「薄い灰色」を交互に切り替えます。この設定は編集時のみに有効で、プレゼンテーション内容には影響しません。
Ⓒ	編集ボックス	文章を入力する場所です（最大 2000 文字）。ドラッグアンドドロップによって文字を選択することができます。
Ⓓ	フォント	編集ボックスにおける、現在の入力位置のフォント名または選択された文字に対するフォント名を設定します。
Ⓔ	文字セット変更ボタン	編集ボックスにおける、現在の入力位置の文字セットまたは選択された文字に対する文字セットを設定します。
Ⓕ	フォントサイズ	編集ボックスにおける、現在の入力位置のフォントサイズまたは選択された文字に対するフォントサイズを設定します。
Ⓖ	フォントスタイル	編集ボックスにおける、現在の入力位置のフォントスタイルまたは選択された文字に対するフォントスタイルを設定します。
Ⓗ	プレビュー更新ボタン	このボタンをクリック（またはキーボードの F9 キーを押す）ことにより、現在の編集ボックスの内容をプレビュー領域に反映します。

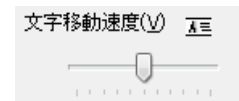
つづく

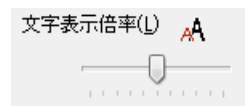
※綴り方向が異なる言語が混在している文章を作成したい場合、文章に対して次の文字を追加してください。

・綴り方向指定で設定されている綴リ方向と逆の綴り方向の文の開始位置に、<%rev>（括弧含む・全て半角文字）を入力してください。逆の綴り方向の文の終了位置には、<%ntr>（括弧含む・全て半角文字）を入力してください。

このような文章を作成する場合は、文章が正しく表示されるかどうかをプレビューを使用して十分に確認してください。※編集ボックスに文章を設定しない場合、プレゼンテーション時はフレームのみが表示されます。（フレームも表示しない場合は、何も表示されません。）

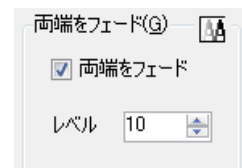
④文字移動速度

テロップ文字が移動する速度を設定します。

⑤文字表示倍率

テロップ文字の表示サイズを設定します。

⑥文字位置（縦）

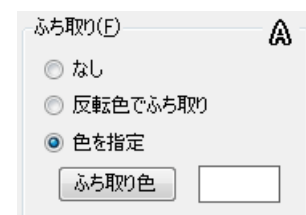
テロップ文字の縦位置を微調整します。

⑦両端フェード設定

テロップ表示の両端をフェードするかどうかを設定します。また、フェードの範囲（レベル）を設定することができます。

両端をフェード: OFF

両端をフェード: ON

⑧ふち取り設定

テロップ文字にふち取りを行うかどうかを設定します。ふち取りなし・反転色でふち取り・色を指定の３種類を選択することができます。

ふち取りの設定	説明
なし	ふち取りを行いません。
反転色でふち取り	編集ボックスで指定した文字色の反転色でふち取りを行います。 たとえば、黒を指定した文字には、白色でふち取りを行います。
色を指定	指定された色でふち取りを行います。

※性能の低い表示パソコンでプレゼンテーションを行う場合、ふち取り設定は「なし」に設定してください。「なし」以外の設定を行うとテロップの動作がガクつく場合があります。

⑨表示時間

テロップの表示時間またはループ回数（繰り返し回数）を設定します。
表示時間とループ回数のどちらかを設定することができます。

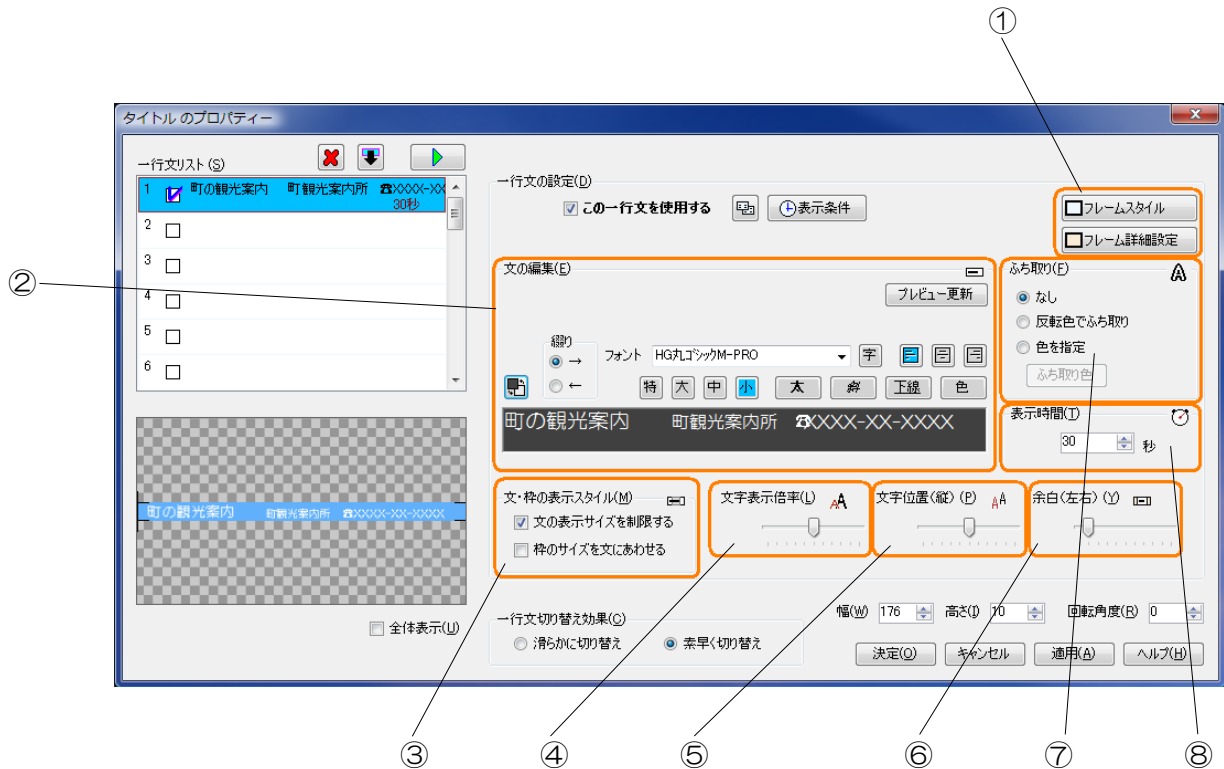
・「表示時間」を選択したときは、テロップの表示時間を５秒～3600 秒（1 時間）まで指定できます。

・「ループ回数」を指定したときは、テロップのループ回数を１～1000 回まで指定できます。

また、部品が連動表示グループに設定されているときは、「回数に達したら停止する」チェックボックスをチェックすることにより、指定したループ回数に達したときにテロップを停止することができます。
チェックしない場合、次の連動表示項目に切り替わるまで繰り返し表示が行われます。

回数に達したら停止する

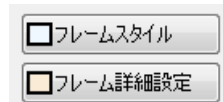
一行文部品のプロパティー設定画面

一行文部品のプロパティー設定画面では、一行文部品に複数の一行文を設定します。

①･･･フレームの設定　②･･･文の編集　③･･･文・枠の表示スタイル

④･･･文字表示倍率　⑤･･･文字位置（縦）　⑥･･･余白（左右）

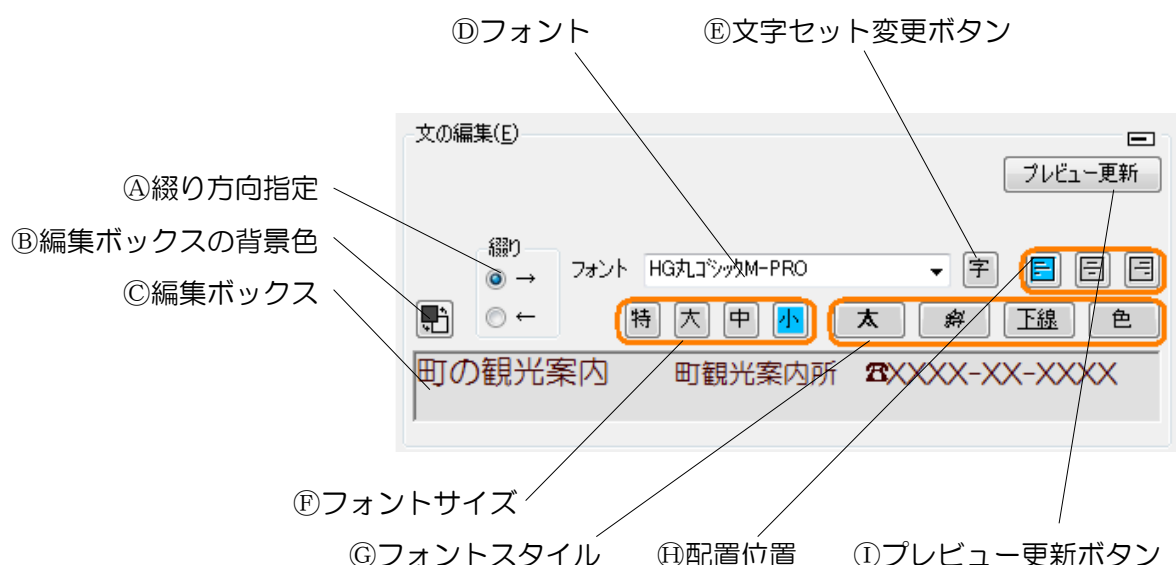
⑦･･･ふち取り設定　⑧･･･表示時間

①フレームの設定

表示するフレームを選択、または編集します。

・フレームスタイルを選択、または編集する場合、「フレームスタイル」ボタンをクリックします。「フレームスタイルの選択」画面が表示され、フレームスタイルを選択、編集することができます。フレームスタイルの選択、編集についてはP70「フレームの選択・編集」を参照してください。

・フレームの枠の太さを設定する場合、「フレーム詳細設定」ボタンをクリックします。「フレーム詳細設定」ウインドウが表示され、フレームの枠の太さを指定することができます。

②文の編集

表示する文を作成・編集します。

機能		説明
Ⓐ	綴り方向指定	作成する文の綴りの方向を指定します。作成する文の言語にあわせて設定します。
Ⓑ	編集ボックスの背景色	編集ボックスの背景色を設定します。クリックするたびに「濃い灰色」⇔「薄い灰色」を交互に切り替えます。この設定は編集時のみに有効で、プレゼンテーション内容には影響しません。
Ⓒ	編集ボックス	文を入力する場所です（最大 100 文字）。ドラッグアンドドロップによって文字を選択することができます。
Ⓓ	フォント	編集ボックスにおける、現在の入力位置のフォント名または選択された文字に対するフォント名を設定します。
Ⓔ	文字セット変更ボタン	編集ボックスにおける、現在の入力位置の文字セットまたは選択された文字に対する文字セットを設定します。
Ⓕ	フォントサイズ	編集ボックスにおける、現在の入力位置のフォントサイズまたは選択された文字に対するフォントサイズを設定します。
Ⓖ	フォントスタイル	編集ボックスにおける、現在の入力位置のフォントスタイルまたは選択された文字に対するフォントスタイルを設定します。
Ⓗ	配置位置	文の配置位置を指定します。左配置「⊟」・中央配置「⊟」・右配置「⊟」のいずれかを設定することができます。
Ⓘ	プレビュー更新ボタン	このボタンをクリック（またはキーボードの F9 キーを押す）ことにより、現在の編集ボックスの内容をプレビュー領域に反映します。

つづく

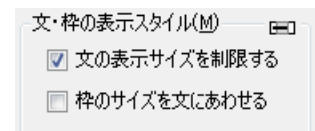
※綴り方向が異なる言語が混在している文章を作成したい場合、文章に対して次の文字を追加してください。

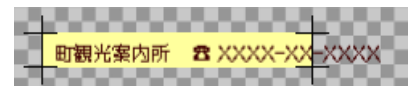
・綴り方向指定で設定されている綴り方向と逆の綴り方向の文の開始位置に、<%rev>（括弧含む・全て半角文字）を入力してください。逆の綴り方向の文の終了位置には、<%ntr>（括弧含む・全て半角文字）を入力してください。

このような文章を作成する場合は、文章が正しく表示されるかどうかをプレビューを使用して十分に確認してください。

※編集ボックスに文章を設定しない場合、プレゼンテーション時はフレームのみが表示されます。（フレームも表示しない場合は、何も表示されません。）

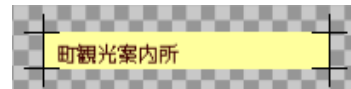
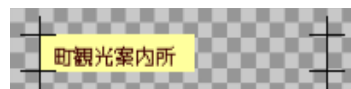
③文・枠の表示スタイル

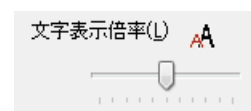
表示する文とフレームについての表示設定を行います。

・「文の表示サイズを制限する」チェックボックス

作成した文の長さが長く、部品のサイズをはみ出してしまう場合、文を部品のサイズに縮めます。

制限する

・「枠のサイズを文にあわせる」チェックボックス

フレームの設定で選択したフレームのサイズを文の長さにあわせます。

文にあわせない

文にあわせる

④文字表示倍率

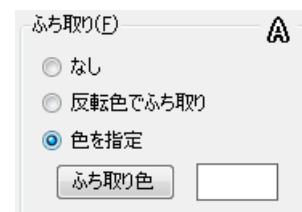
文の表示サイズを設定します。

⑤文字位置（縦）

文の縦位置を微調整します。

⑥余白（左右）

文の左右の余白サイズを設定します。

⑦ふち取り設定

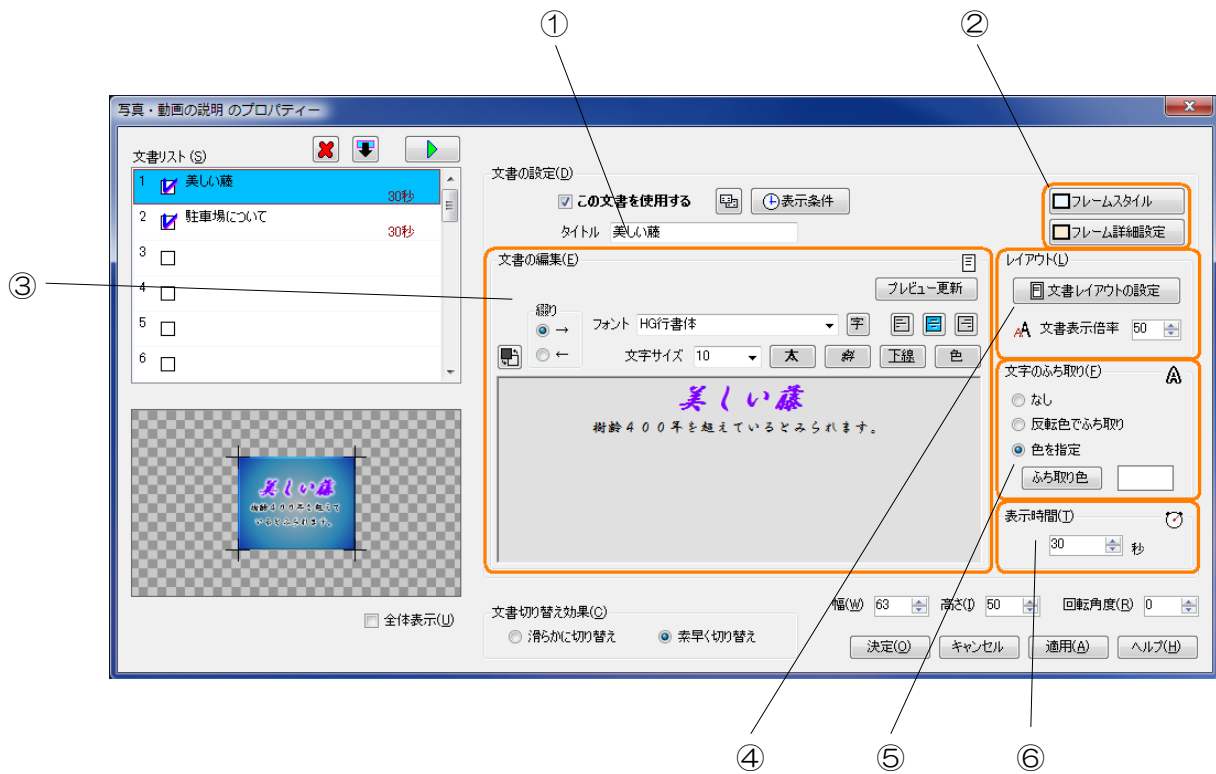
文の文字にふち取りを行うかどうかを設定します。ふち取りなし・反転色でふち取り・色を指定の３種類を選択することができます。

ふち取りの設定	説明
なし	ふち取りを行いません。
反転色でふち取り	編集ボックスで指定した文字色の反転色でふち取りを行います。 たとえば、黒を指定した文字には、白色でふち取りを行います。
色を指定	指定された色でふち取りを行います。

※性能の低い表示パソコンでプレゼンテーションを行う場合、ふち取り設定は「なし」に設定してください。「なし」以外の設定を行うとテロップなどの動作がガクつく場合があります。

⑧表示時間

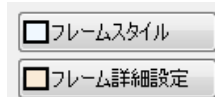
文の表示時間を設定します。５秒～3600 秒（1 時間）まで指定できます。

文書部品のプロパティー設定画面

文書部品のプロパティー設定画面では、文書部品に複数の文書を設定します。

①･･･文書のタイトル　②･･･フレームの設定　③･･･文書の編集
④･･･レイアウトの設定　⑤･･･文字のふち取り設定　⑥･･･表示時間

①文書のタイトル

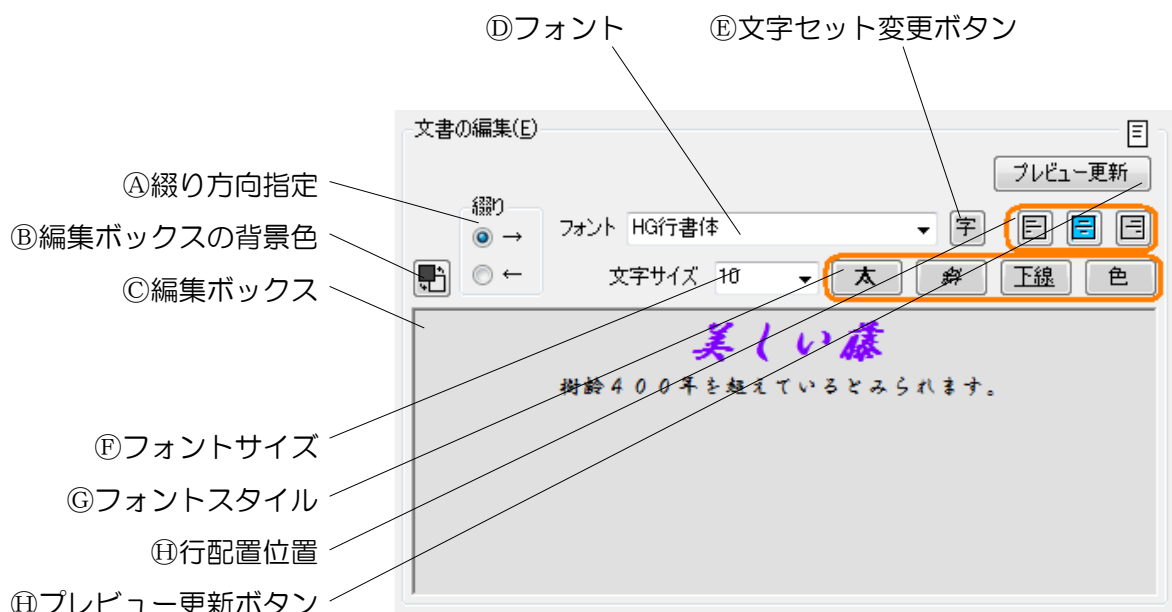
文書のタイトルを設定できます。

②フレームの設定

表示するフレームを選択、または編集します。

・フレームスタイルを選択、または編集する場合、「フレームスタイル」ボタンをクリックします。「フレームスタイルの選択」画面が表示され、フレームスタイルを選択、編集することができます。フレームスタイルの選択、編集についてはP70「フレームの選択・編集」を参照してください。

・フレームの枠の太さを設定する場合、「フレーム詳細設定」ボタンをクリックします。「フレーム詳細設定」ウインドウが表示され、フレームの枠の太さを指定することができます。

③文書の編集

表示する文章を作成・編集します。

機能		説明
Ⓐ	綴り方向指定	作成する文書の綴りの方向を指定します。作成する文書の言語にあわせて設定します。
Ⓑ	編集ボックスの背景色	編集ボックスの背景色を設定します。クリックするたびに「濃い灰色」⇔「薄い灰色」を交互に切り替えます。この設定は編集時のみに有効で、プレゼンテーション内容には影響しません。
Ⓒ	編集ボックス	文書を入力する場所です（最大 2000 文字）。ドラッグアンドドロップによって文字を選択することができます。
Ⓓ	フォント	編集ボックスにおける、現在の入力位置のフォント名または選択された文字に対するフォント名を設定します。
Ⓔ	文字セット変更ボタン	編集ボックスにおける、現在の入力位置の文字セットまたは選択された文字に対する文字セットを設定します。
Ⓕ	フォントサイズ	編集ボックスにおける、現在の入力位置のフォントサイズまたは選択された文字に対するフォントサイズを設定します。
Ⓖ	フォントスタイル	編集ボックスにおける、現在の入力位置のフォントスタイルまたは選択された文字に対するフォントスタイルを設定します。
Ⓗ	行配置位置	編集ボックスにおける、現在の入力位置の行の配置位置または選択された行に対する配置位置を設定します。 左配置「目」・中央配置「目」・右配置「目」のいずれかを設定することができます。
Ⓘ	プレビュー更新ボタン	このボタンをクリック（またはキーボードの F9 キーを押す）ことにより、現在の編集ボックスの内容をプレビュー領域に反映します。

つづく

※綴り方向が異なる言語が混在している文章を作成したい場合、文章に対して次の文字を追加してください。

・綴り方向指定で設定されている綴り方向と逆の綴り方向の文の開始位置に、<%rev>（括弧含む・全て半角文字）を入力してください。逆の綴り方向の文の終了位置には、<%ntr>（括弧含む・全て半角文字）を入力してください。

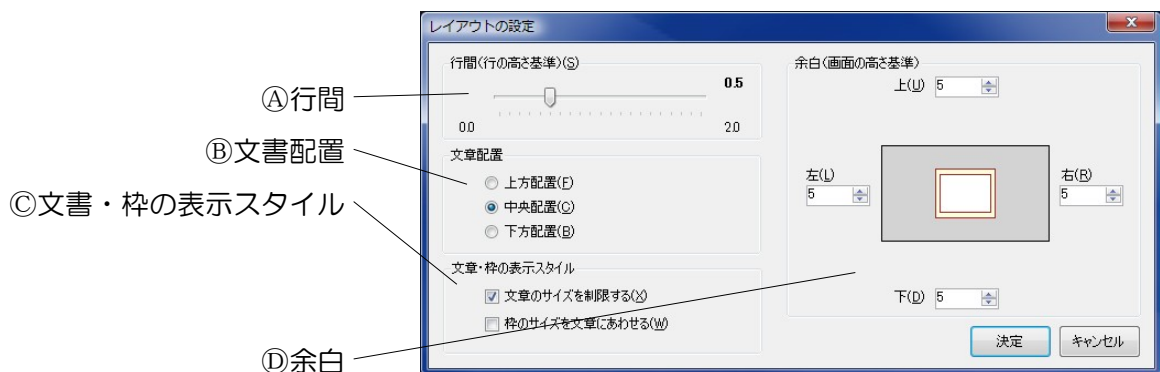
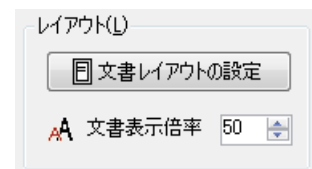
このような文章を作成する場合は、文章が正しく表示されるかどうかをプレビューを使用して十分に確認してください。

※編集ボックスに文章を設定しない場合、プレゼンテーション時はフレームのみが表示されます。（フレームも表示しない場合は、何も表示されません。）

④レイアウトの設定

表示する文書のレイアウトを設定します。

・「文字表示倍率」では文書に含まれる文章の表示サイズを設定します。

・「文書レイアウトの設定」ボタンをクリックすると、「レイアウトの設定」ウインドウが表示され、文書レイアウトについての設定を行うことができます。

Ⓐ行間･･･文章の行間を設定します。

Ⓑ文書配置･･･作成した文書の配置位置を設定します。

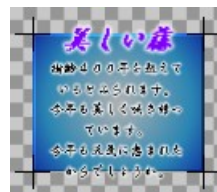
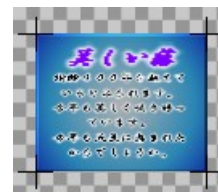
・上方配置・中央配置・下方配置の３種類から選択することができます。

上方配置

中央配置

下方配置

©文書・枠の表示スタイル･･･文書とフレームについての表示設定を行います。

・「文章のサイズを制限する」をチェックすると、文書の長さが長く、部品のサイズをはみ出してしまう場合、文書を部品のサイズに縮めます。

制限しない　制限する

・「枠のサイズを文章にあわせる」をチェックすると、フレームの設定で選択したフレームのサイズを文書のサイズにあわせます。

文書にあわせない　文書にあわせる

Ⓓ余白･･･文書の上下左右の余白を設定します。

⑤ふち取り設定

文書の文字にふち取りを行うかどうかを設定します。ふち取りなし・反転色でふち取り・色を指定の３種類を選択することができます。

ふち取りの設定	説明
なし	ふち取りを行いません。
反転色でふち取り	編集ボックスで指定した文字色の反転色でふち取りを行います。たとえば、黒を指定した文字には、白色でふち取りを行います。
色を指定	指定された色でふち取りを行います。

※性能の低い表示パソコンでプレゼンテーションを行う場合、ふち取り設定は「なし」に設定してください。「なし」以外の設定を行うとテロップなどの動作がガクつく場合があります。

⑥表示時間

文書の表示時間を設定します。５秒～3600 秒（1 時間）まで指定できます。

フレームの選択・編集

各種部品で使用するフレーム（枠）の選択・編集方法を説明します。

フレームについて

フレームは、テロップや文書など各種部品の背面に表示される枠のことです。フレームは部品の項目（アイテム）ごとに設定することができます。また、編集したフレームをテンプレートとして保存することができます。

フレームには２つのフレームモードがあります。

①モードＡ：外枠と内枠の２つの枠があり、それぞれに色や画像を設定することができるモードです。

②モードＢ：枠の外形を選択し、その内側の色や画像を設定することができるモードです。

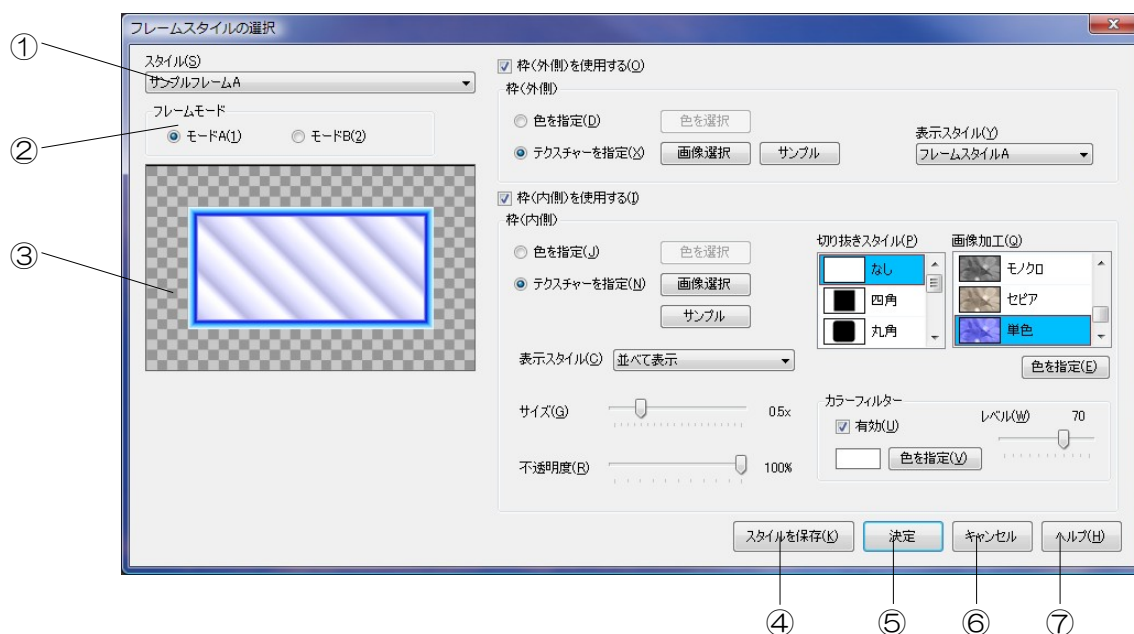
フレームの選択・編集や、テンプレートの保存は「フレームスタイルの選択」（または「フレームスタイルの編集」）ウインドウで行います。

・テロップや文書などの部品の項目（アイテム）にフレームを設定するには、部品のプロパティー設定画面から、「フレームスタイル」ボタンをクリックします。「フレームスタイルの選択」ウインドウが表示され、フレームの選択・編集を行うことができます。また、編集したフレームをテンプレートとして保存することができます。

・メニューから、「ツール」→「フレーム編集」をクリックすることによっても、フレームのテンプレート編集・保存を行うことができます。この場合は「フレームスタイルの編集」ウインドウが表示されます。

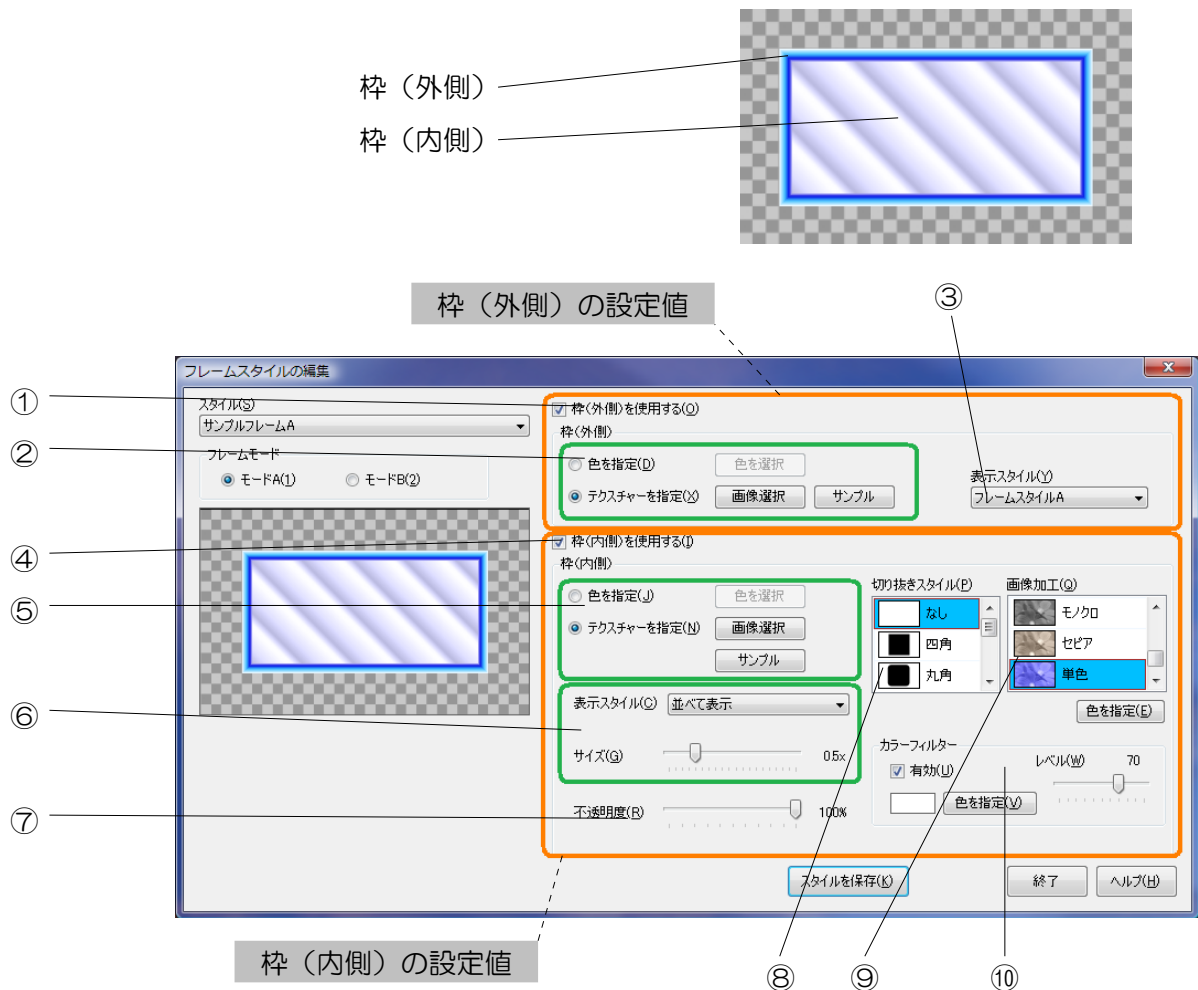
※背景部品にはフレームを設定することはできません。

フレーム選択・編集画面の説明

フレームスタイルの選択（またはフレームスタイルの編集）ウインドウの機能について説明します。

番号	内容	説明
①	フレームスタイルリスト	フレームのテンプレートを選択することができます。フレームを編集すると「編集中」に変化します。
②	フレームモード	フレームモードを選択します。
③	プレビュー領域	編集中のフレームを確認することができます。
④	スタイル保存ボタン	編集中のフレームをテンプレートとして保存します。（P78「編集したフレームをパソコンに保存する」を参照してください）
⑤	決定ボタン（※1）	ウインドウを閉じ、編集中のフレームを部品の項目（アイテム）に設定します。
⑥	キャンセルボタン（終了ボタン）	ウインドウを閉じます。編集中のフレームは保存されません。
⑦	ヘルプボタン	ヘルプを表示します。

※1　決定ボタンは「フレームスタイルの編集」ウインドウでは表示されません。

■フレームモードＡの説明

フレームモードＡを選択したときのフレーム編集機能について説明します。

枠（外側）の設定値

①･･･「枠（外側）を使用する」チェックボックス　②･･･枠（外側）の色・テクスチャー

③･･･枠（外側）の表示スタイル

枠（内側）の設定値

④･･･「枠（内側）を使用する」チェックボックス　⑤･･･枠（内側）の色・テクスチャー

⑥･･･枠（内側）テクスチャーの表示スタイル　⑦･･･枠（内側）の不透明度

⑧･･･枠（内側）の切り抜きスタイル　⑨･･･枠（内側）の画像加工

⑩･･･枠（内側）のカラーフィルター

枠（外側）の設定値

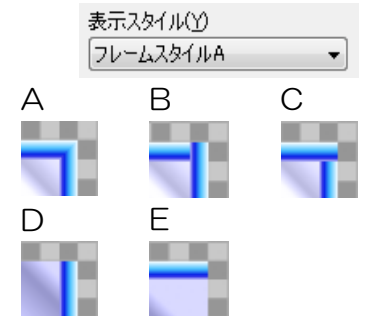
①「枠（外側）を使用する」チェックボックス

枠（外側）を使用する場合、チェックします。

②枠（外側）の色・テクスチャー

枠（外側）の色、または表示する画像（テクスチャー）を指定します。

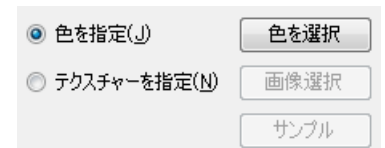
③枠（外側）の表示スタイル

枠（外側）に画像（テクスチャー）を指定した場合、枠（外側）の表示スタイルをフレームスタイルＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄ・Ｅの５つから選択することができます。

枠（内側）の設定値

④「枠（内側）を使用する」チェックボックス

枠（内側）を使用する場合、チェックします。

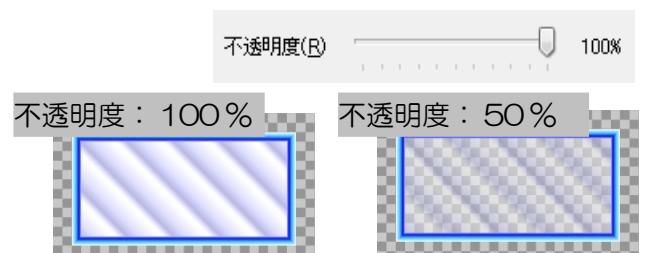
⑤枠（内側）の色・テクスチャー

枠（内側）の色、または表示する画像（テクスチャー）を指定します。

⑥ 枠（内側）テクスチャーの表示スタイル

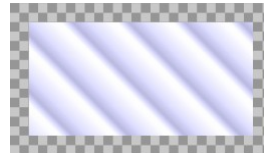
枠（内側）に画像（テクスチャー）を指定した場合、画像の表示スタイルを選択することができます。

表示スタイル	説明
並べて表示	画像を並べて表示します。画像の表示サイズを0.1倍～2倍の間で変更することができます。
並べて表示（画面サイズ基準）	画像を並べて表示します。画像の表示サイズを画面の高さを基準として0.12倍～0.5倍の間で変更することができます。
全体に表示（カット）	画像を枠いっぱいに表示されるように拡大し、表示します。画像のはみ出た部分はカットされます。
全体に表示（フィット）	画像を枠いっぱいに引き伸ばします。画像の全ての部分が表示されます。

⑦枠（内側）の不透明度

枠（内側）の不透明度を0%（透明）～100%（不透明）の間で設定することができます。

⑧ 枠（内側）の切り抜きスタイル

枠（内側）の切り抜きスタイルを指定します。

切り抜き：なし

切り抜き：円

⑨枠（内側）の画像加工

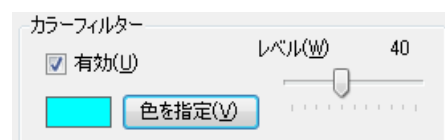
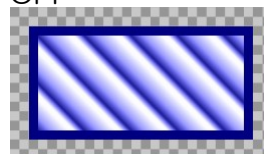
枠（内側）に画像（テクスチャー）を指定した場合、画像を加工することができます。

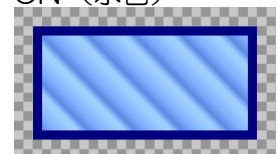
画像加工の種類	説明
カスタム	「編集」をクリックして画像を編集します。（※P83を参照）
標準	画像を加工しません。
鮮やか	画像を鮮やかにします。
ナチュラル	画像を自然な発色にします。
美白（弱）	画像に美白効果を加えます。
美白（強）	画像に強い美白効果を加えます。
明るい	画像を明るくします。
暗い	画像を暗くします。
高コントラスト	画像にメリハリをつけます。
低コントラスト	画像のメリハリを低減します。
テキスト	文書を撮影した写真などに有効です。
リアル	画像に陰湿感を加えます。
モノクロ	画像をモノクロ画像にします。
セピア	画像をセピア写真風にします。
単色	指定した色のみを使った画像にします。（※１）
エンボス	画像の凸凹を指定した色で表現します。（※１）

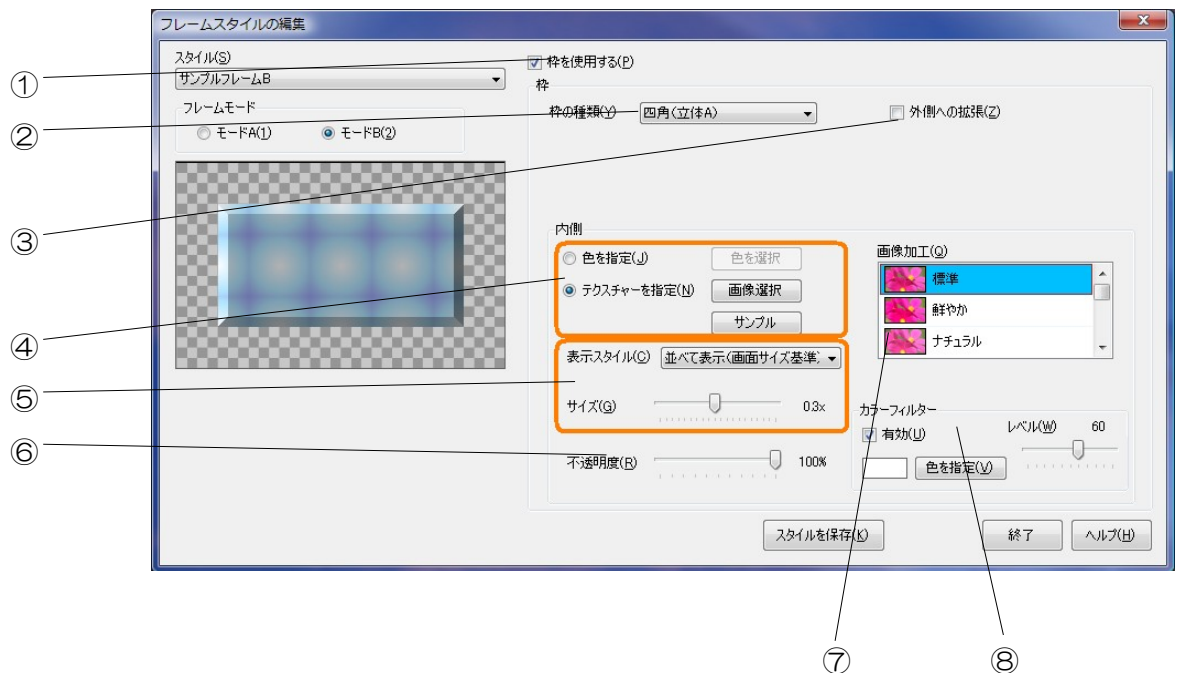
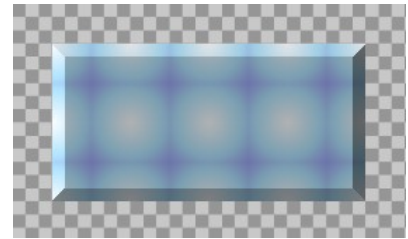
※１　色を指定するときは、「色を指定」ボタンをクリックします。

⑩枠（内側）のカラーフィルター

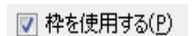
枠（内側）に画像（テクスチャー）を指定した場合、画像に色を加えることができます。

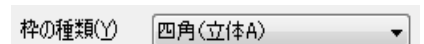
色や色を加える量（レベル）を設定することができます。

カラーフィルター OFF

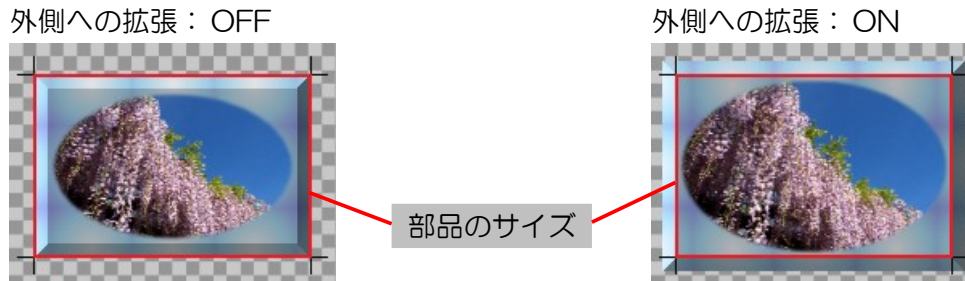
カラーフィルタ ON（水色）

■フレームモードＢの説明

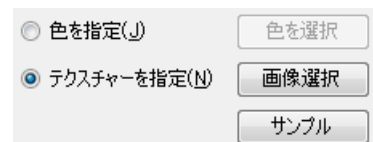
フレームモードＢを選択したときのフレーム編集機能について説明します。

①･･･「枠を使用する」チェックボックス　②･･･枠の種類
③･･･「外枠への拡張」チェックボックス　④･･･枠の色・テクスチャー
⑤･･･枠テクスチャーの表示スタイル　⑥･･･枠の不透明度　⑦･･･枠の画像加工
⑧･･･枠のカラーフィルター

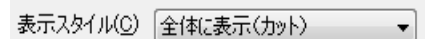
①「枠を使用する」チェックボックス　枠を使用する(P)

枠を使用する場合、チェックします。

②枠の種類

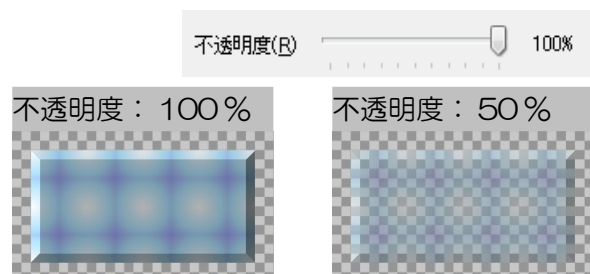
枠の外形を選択します。

③「外枠への拡張」チェックボックス

「外枠への拡張」チェックボックスをチェックした場合、部品のプロパティー設定画面にて設定されるフレームの枠の太さが、部品の外側へ向かって拡張するようになります。

④枠の色・テクスチャー

枠の色、または表示する画像（テクスチャー）を指定します。

⑤ 枠テクスチャーの表示スタイル

枠に画像（テクスチャー）を指定した場合、画像の表示スタイルを選択することができます。

表示スタイル	説明
並べて表示	画像を並べて表示します。画像の表示サイズを0.1 倍～2 倍の間で変更することができます。
並べて表示 （画面サイズ基準）	画像を並べて表示します。画像の表示サイズを画面の高さを基準として0.12 倍～0.5 倍の間で変更することができます。
全体に表示（カット）	画像を枠いっぱいに表示されるように拡大し、表示します。画像のはみ出た部分はカットされます。
全体に表示（フィット）	画像を枠いっぱいに引き伸ばします。画像の全ての部分が表示されます。

⑥ 枠の不透明度

枠の不透明度を0%（透明）～100%（不透明）の間で設定することができます。

⑦枠の画像加工

枠に画像（テクスチャー）を指定した場合、画像を加工することができます。

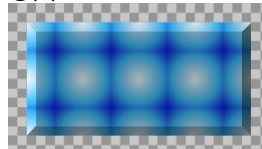
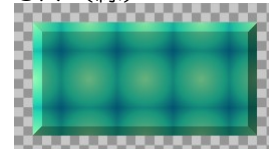
画像加工の種類	説明
カスタム	「編集」をクリックして画像を編集します。（※P83を参照）
標準	画像を加工しません。
鮮やか	画像を鮮やかにします。
ナチュラル	画像を自然な発色にします。
美白（弱）	画像に美白効果を加えます。
美白（強）	画像に強い美白効果を加えます。
明るい	画像を明るくします。
暗い	画像を暗くします。
高コントラスト	画像にメリハリをつけます。
低コントラスト	画像のメリハリを低減します。
テキスト	文書を撮影した写真などに有効です。
リアル	画像に陰湿感を加えます。
モノクロ	画像をモノクロ画像にします。
セピア	画像をセピア写真風にします。
単色	指定した色のみを使った画像にします。（※１）
エンボス	画像の凸凹を指定した色で表現します。（※１）

※１　色を指定するときは、「色を指定」ボタンをクリックします。

⑧枠のカラーフィルター

枠に画像（テクスチャー）を指定した場合、画像に色を加えることができます。

色や色を加える量（レベル）を設定することができます。

カラーフィルターOFF

カラーフィルタON（緑）

編集したフレームをパソコンに保存する

フレームスタイルの選択（またはフレームスタイルの編集）ウインドウで編集したフレームをテンプレートとしてパソコンに保存する方法を説明します。

・保存したフレームは保存したパソコンのみで使用できます。

1　フレームスタイルの選択（またはフレームスタイルの編集）ウインドウでフレームを編集します。

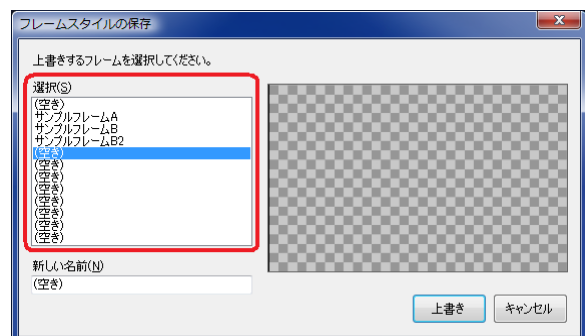
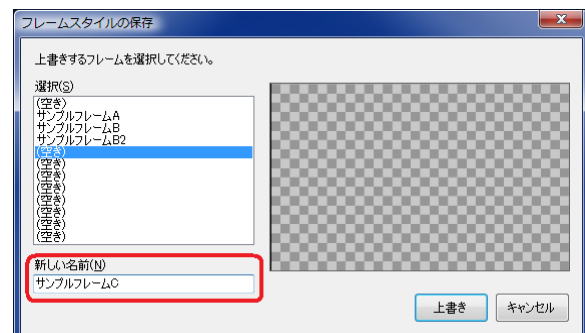
2　「スタイルを保存」ボタンをクリックします。

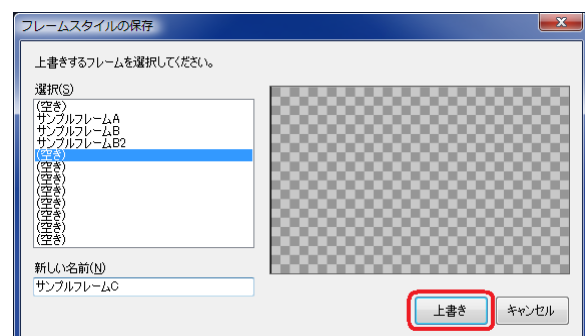
「フレームスタイルの保存」ウインドウが表示されます。

スタイルを保存(K)

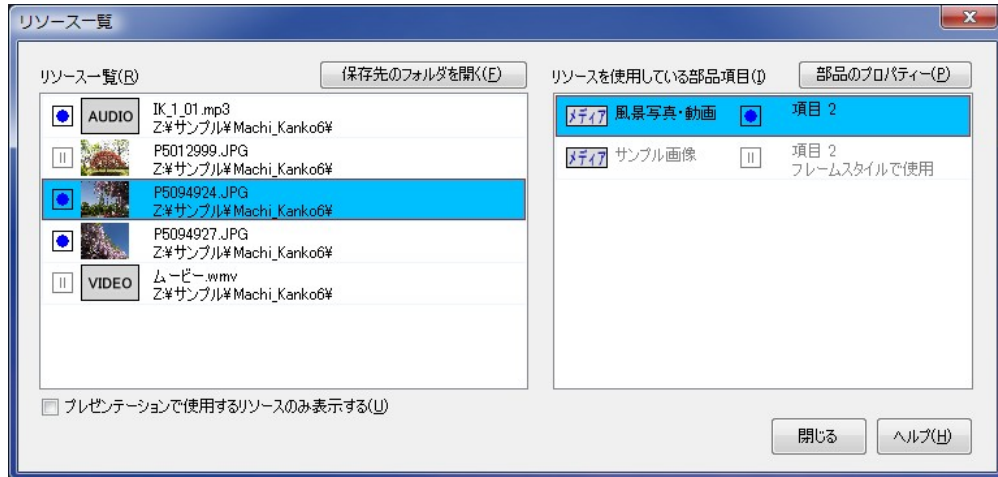
3　「選択」リストから上書きするフレームを選択します。

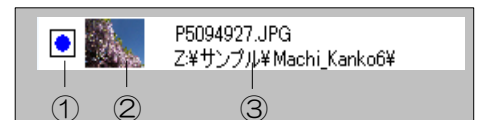
選択したフレームが右の領域に表示されます。

テンプレートとして保存できるフレームは最大１２個です。この１２個の中から上書きするフレームを選択します。

4　フレームの名前を「新しい名前」に入力します。

5　「上書き」ボタンをクリックします。

選択したフレームに上書きされます。

保存したフレームは、フレームスタイルの選択（またはフレームスタイルの編集）ウインドウのフレームスタイルリストから選択することができます。

リソース一覧画面を表示する

プロジェクト内で使用しているリソース（画像や動画などのファイル）の一覧を表示することができます。リソース一覧画面を標示するには、メニューから、「表示」→「リソース一覧表」をクリックします（またはキーボードのF11 キーを押します）。

■**リソース一覧**

プロジェクト内で使用されるリソースが表示されます。
（サンプル画像等のサンプルリソースは表示されません）

①プレゼンテーションでの使用を示すアイコン･･･プレゼンテーションで使用されるリソースであるかどうかを表します。

･･･プレゼンテーションで使用される

･･･プレゼンテーションでは使用されない（登録のみされている状態）

②リソースのサムネイル表示

③リソースファイル名/ファイル保存先フォルダ名

・「保存先フォルダを開く」をクリックすると、選択しているリソースの保存先フォルダが別ウインドウで開きます。

・「プレゼンテーションで使用するリソースのみを選択する」を選択すると、リソース一覧にはプレゼンテーションで使用されるリソースのみが表示されます。

■**リソースを使用している部品項目**

選択しているリソースを使用している部品項目が表示されます。

①リソースを使用する部品名

②プレゼンテーションでの使用を示すアイコン･･･リソースがプレゼンテーションで使用されるかどうかを表します。

③リソースを使用する項目番号

・「部品のプロパティー」ボタンをクリックすると、選択している部品のプロパティーが表示されます。

オプションの設定を行う

Nomoad での編集環境に関する設定を変更することができます。

オプションの設定を行うには、メニューから「ツール」→「オプション設定」をクリックします。

●プレビューの設定

Nomoad でのプレビューの動作についての設定です。これらの設定は Nomoad でのプレビュー時にのみ反映されます。

・最大フレームレート･･･メイン画面でプレビューを行うときの最大フレームレートを設定します。通常は「最大」を選択します。

・画質･･･メイン画面でプレビューを行うときの画質を設定します。通常は「中」を選択します。

・動画再生で EVR を使用する･･･Windows Vista 以降の OS で選択できるオプションです。この設定により、プレビューの際、動画再生時の負荷を抑えることができる場合があります（コーデックが DXVA2 に対応している場合のみ）。動画再生が正常に行われない場合は、チェックを外すことにより正常に再生できる可能性があります。

※「標準設定に戻す」ボタンをクリックすることにより、上記の設定値を標準状態に設定することができます。

他の編集パソコンで編集作業を行う

編集中のプレゼンテーション内容を他のNomoadがインストールされたパソコンで編集するためには、以下のいずれかの設定を行う必要があります。

Ⓐプレゼンテーションの設定ウインドウ（P30「プレゼンテーションの設定を行う」を参照）で、「プロジェクトファイル共有モード」を選択します。（P48「編集の作業状況を保存する」を参照してください）

Ⓑリソースデータ集約済みプロジェクトファイルとリソースデータ保存フォルダを作成します。

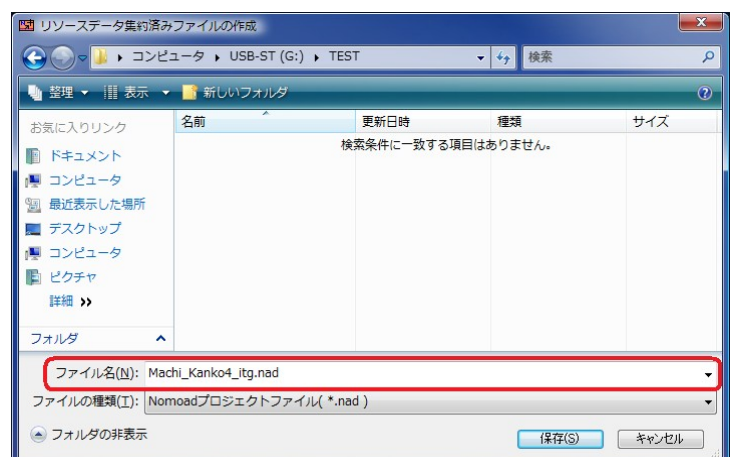
ここでは、Ⓑリソースデータ集約済みプロジェクトファイルとリソースデータ保存フォルダを作成する手順を説明します。

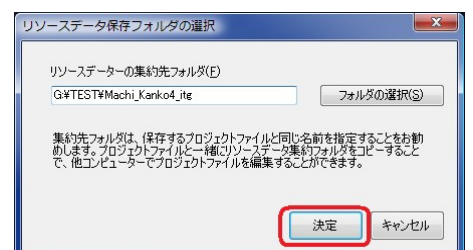
1　メニューから、「ファイル」→「リソースデータ集約済みファイルを作成」をクリックします。

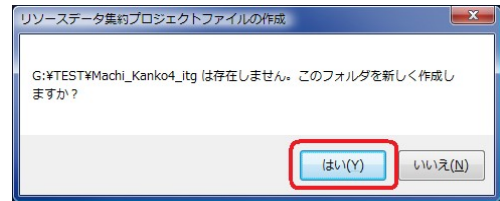
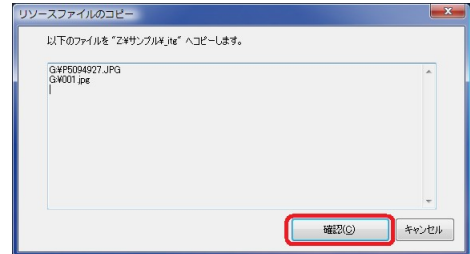
「リソースデータ集約済みファイルの作成」ウインドウが表示されます。

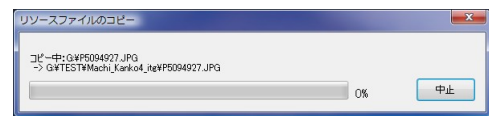
2　新しいプロジェクトファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックします。

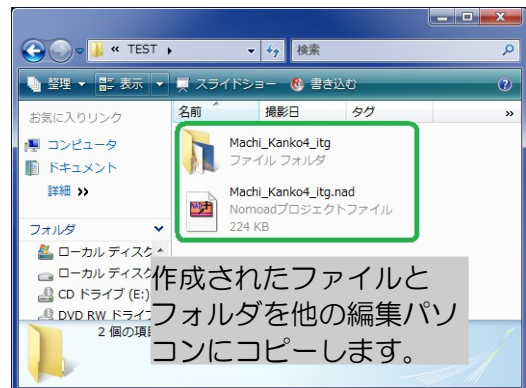
ファイルを作成するフォルダにファイル名と同名のフォルダが存在しないことを確認してください。

ここで作成されるプロジェクトファイルは既存のリソース（P21参照）を使用しないように設定されるので、既に保存されているプロジェクトファイルを上書きしないことをお奨めします。

3　「リソースデータ保存フォルダの選択」ウインドウが表示されます。そのまま「決定」ボタンをクリックします。

「[フォルダ名]は既に存在します」というメッセージが表示された場合、作成するプロジェクトファイルと同名のフォルダが存在しています。「いいえ」ボタンをクリックし、もう一度手順１から操作を行ってください。「はい」をクリックした場合、フォルダ内に既に同じ名前のファイルが存在したときファイルを上書きするか、名前を変更してコピーするか、コピーしないかの選択を行います。

つづく

4　フォルダ作成の確認画面が表示されます。そのまま「はい」ボタンをクリックします。

5　コピーされるリソースファイルの一覧が表示されます。そのまま「確認」をクリックします。

6　リソースファイルのコピーが開始されます。コピー状況が表示されます。

中止する場合は、「中止」ボタンをクリックします。

7　リソースデータ集約済みファイルが作成されたことを示すウインドウが表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

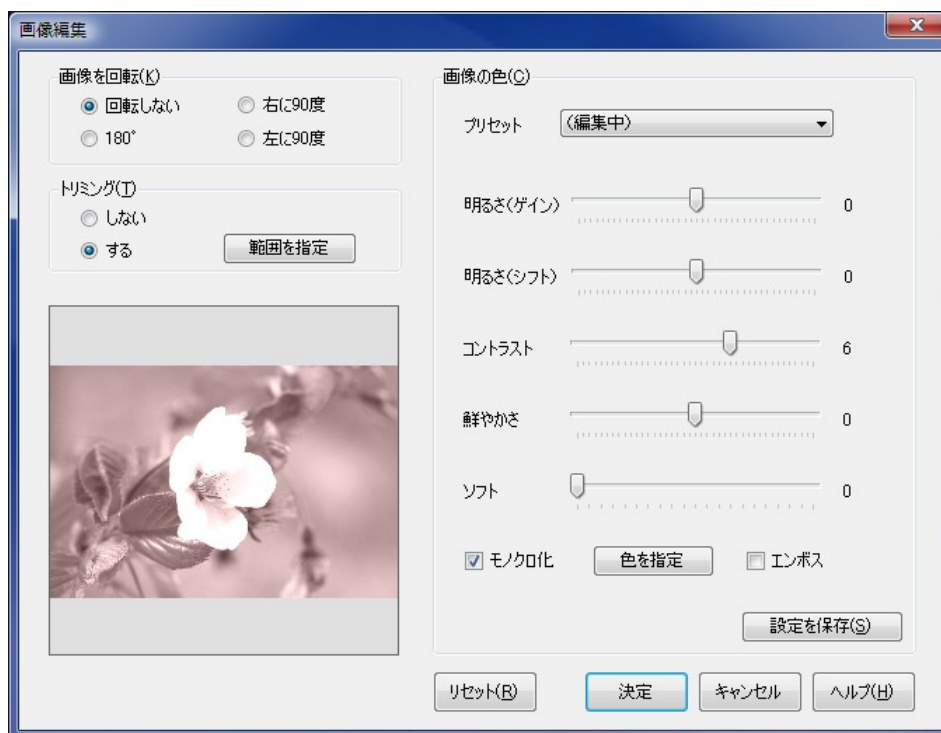
8　作成したプロジェクトファイルと、そのファイルと同名のフォルダを他の編集パソコンにコピーします。

9　コピー先の編集パソコンでコピーしたプロジェクトファイルを開き、編集を行います。

・コピーしたプロジェクトファイルとリソースデータ保存フォルダの名前は変更しないでください。プロジェクトファイルの名前を変更したい場合は、一度、プロジェクトファイルを開き、別の名前で保存してください。

・コピーしたリソースデータ保存フォルダは削除しないでください。リソースデータ保存フォルダにはプレゼンテーション編集時に使用されるリソースデータが含まれています。ただし、プレゼンテーション編集の結果、これらのリソースデータが不要になった場合、削除してもかまいません。

編集したプロジェクトファイルを他の編集パソコンで使用するときはその都度この操作を行います。

画像編集機能について

部品のプロパティー設定画面などで画像加工リストから「カスタム」を選択した場合、画像を編集することができます。

・画像を回転

画像を指定した角度だけ回転します。回転しない、180 度、右に 90 度、左に 90 度のいずれかを選択できます。

・トリミング

「トリミング」ウインドウで画像の表示する範囲を指定します。「範囲を指定」ボタンをクリックし、マウス操作で範囲を指定します。

・画像の色

画像の明るさ（ゲイン・シフト）、コントラスト、鮮やかさ、ソフトを設定できます。また、画像をモノクロにしたり、エンボスをかけることができます。変更した設定値は「設定を保存」ボタンをクリックすることでプリセットに追加することができます。

※「リセット」ボタンをクリックすると各設定値が標準状態にリセットされます。

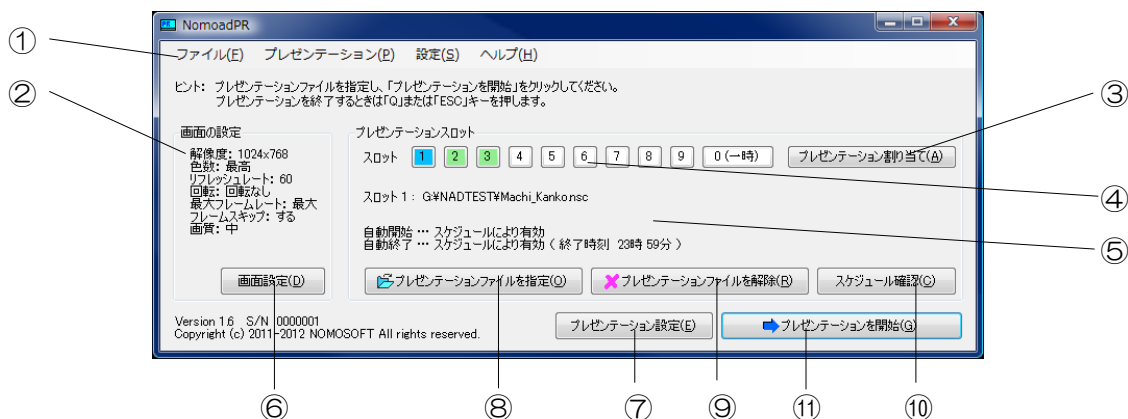
プレゼンテーションを行う（NomoadPR）

NomoadPR を使用してプレゼンテーションを行う方法について説明します。

NomoadPR の起動

NomoadPR を起動するには、Windows タスクバーの「スタート」メニューから、「全てのプログラム」→「Nomoad」→「NomoadPR」をクリックします。

※NomoadPR の設定で自動起動が設定されているときは、パソコンの起動時に NomoadPR が自動的に起動します。（P90「プレゼンテーションの自動開始・自動終了を設定する」を参照）

メイン画面の説明

①･･･メニュー　　②･･･画面の設定情報

③･･･「プレゼンテーション割り当て」ボタン　　④･･･スロット選択ボタン

⑤･･･プレゼンテーション情報

⑥･･･「画面設定」ボタン　　⑦･･･「プレゼンテーション設定」ボタン

⑧･･･「プレゼンテーションファイルを指定」ボタン

⑨･･･「プレゼンテーションファイルを解除」ボタン

⑩･･･「スケジュール確認」ボタン　　⑪･･･「プレゼンテーション開始」ボタン

①メニュー

メニューはNomoadPRの機能を利用するときに使用します。

メニューの内容について説明します。

メニュー内容		説明	参照ページ
ファイル	プレゼンテーションファイルを指定	選択されているスロットにプレゼンテーションファイルまたはスケジュールファイルを指定します。	P87
	プレゼンテーションファイルを解除	選択されているスロットのプレゼンテーションファイルまたはスケジュールファイルを解除します。	P88
	プレゼンテーション割り当て	「プレゼンテーション割り当て」ウインドウを表示します。	P89
	コンピューターをシャットダウン	コンピューターをシャットダウンします。	-
	アプリケーションの終了	NomoadPRを終了します。	-
プレゼンテーション	スケジュール確認	選択されているスロットのスケジュール確認画面を表示します。	P96
	プレゼンテーションを開始	選択されているスロットでプレゼンテーションを開始します。	P88
設定	画面の設定	画面の設定ウインドウを開き、画面や画質についての設定を行います。	P93
	プレゼンテーションの設定	プレゼンテーション設定ウインドウを開き、自動起動や自動終了などについての設定を行います。	P90
ヘルプ	ヘルプ	ヘルプを表示します。	-
	バージョン情報	バージョン情報を表示します。	-

② 画面の設定情報

現在の画面設定です。これらの変更は画面の設定ウインドウで行います。

③「プレゼンテーション割り当て」ボタン

「プレゼンテーション割り当て」ウインドウを表示します。各スロットに割り当てられているプレゼンテーションを確認したり、設定することができます。P89「一括してプレゼンテーションをスロットへ割り当てる」を参照してください。

④スロット選択ボタン

プレゼンテーションを行うスロットを選択します。選択されたスロットは青色で表示されます。緑色のスロットはプレゼンテーションがセットされていることを表します。選択されたスロットは次回起動以降も自動的に選択されます。ただし、プレゼンテーション中にスロットを切り替えた場合（P88参照）、切り替えたスロットが次回起動以降にも選択されます。

⑤プレゼンテーション情報

選択されているスロットに関する情報です。プレゼンテーションファイル名、自動開始、自動終了の情報を表示します。

⑥「画面設定」ボタン

画面の設定ウインドウを開き、画面や画質についての設定を行います。（メニュー内の「画面の設定」と同じです。）

⑦「プレゼンテーション設定」ボタン

プレゼンテーション設定ウインドウを開き、自動起動や自動終了などについての設定を行います。（メニュー内の「プレゼンテーションの設定」と同じです。）

⑧「プレゼンテーションファイルを指定」ボタン

選択されているスロットにプレゼンテーションファイルまたはスケジュールファイルを設定します。（メニュー内の「プレゼンテーションファイルを指定」と同じです。）

⑨「プレゼンテーションファイルを解除」ボタン

選択されているスロットのプレゼンテーションファイルまたはスケジュールファイルを解除します。（メニュー内の「プレゼンテーションファイルを解除」と同じです。）

⑩「スケジュール確認」ボタン

選択されているスロットのスケジュール確認画面を表示します。（メニュー内の「スケジュール確認」と同じです。）

⑪「プレゼンテーション開始」ボタン

選択されているスロットでプレゼンテーションを開始します。（メニュー内の「プレゼンテーションを開始」と同じです。）

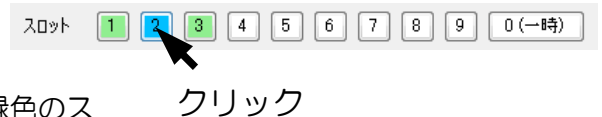
プレゼンテーションファイルをセットする

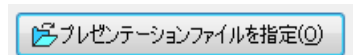
プレゼンテーションを開始するためには、まずスロットにプレゼンテーションファイルまたはスケジュールファイルをセットします。スロットは、次回の起動以降も設定が保持されます。

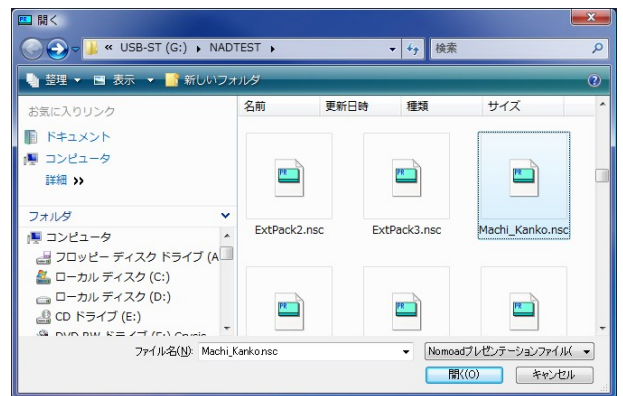
※スケジュールファイルを選択する場合、選択できるスケジュールファイルには条件があります。
P120（NomoadPR でスケジュールファイルを読み込む）を参照してください。

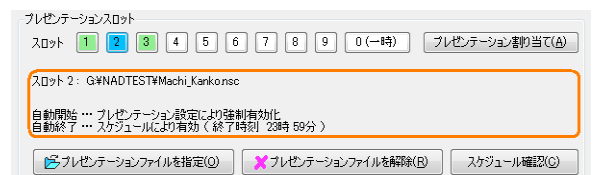
1　スロット選択ボタンでスロットを選択します。

クリック

選択されたスロットは青色に変わります。緑色のスロットはプレゼンテーションがセットされていることを表します。

2　メイン画面の「プレゼンテーションファイルを指定」ボタンをクリックします。

「開く」ウインドウが表示されます。

3　プレゼンテーションを行うプレゼンテーションファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

※ネットワーク上の共有フォルダ内のファイルを読み込む場合は、読み込み失敗回避のため、ネットワークドライブではなくマイネットワーク（ネットワーク）からファイルを選択してください。

※ライト版では通常版で作成されたファイルを読み込むことはできません。

指定したファイルが読み込まれ、プレゼンテーション情報表示が更新されます。

※ネットワーク上の共有フォルダのファイルを読み込む場合は、読み込み失敗回避のため、ネットワークドライブ指定（例: Z：¥... ）ではなく、UNC（ ¥¥コンピューター名¥共有フォルダ名¥... ）形式でファイル指定を行ってください。また、Windows にログオンしているユーザー名で共有フォルダにアクセスできる必要があります。

※「プレゼンテーション割り当て」ウインドウでもスロットにプレゼンテーションファイルをセットすることができます。「プレゼンテーション割り当て」ウインドウを表示するには「プレゼンテーション割り当て」ボタンをクリックします。

プレゼンテーションファイルを解除する

スロットにセットされたプレゼンテーションを解除するには、メイン画面の「プレゼンテーションファイルを解除」ボタンをクリックします。

プレゼンテーションファイルを解除(R)

プレゼンテーションを開始する

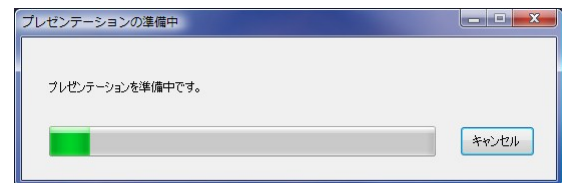
手動でプレゼンテーションを開始・終了する方法について説明します。

1　スロット選択ボタンでスロットを選択します。

選択されたスロットは青色に変わります。

2　メイン画面の「プレゼンテーションを開始」ボタンをクリックします。

3　プレゼンテーションの準備が開始されます。

「キャンセル」ボタンをクリックするとプレゼンテーションは中止されます。

4　プレゼンテーションが開始されます。

5　手動でプレゼンテーションを終了するにはキーボードの「Q」または「ESC」キーを押します。

メイン画面に戻ります。

プレゼンテーション中にスロットを切り替える

プレゼンテーション中に他のスロットへ切り替えることができます。

切り替えを行うにはキーボードの0～9キーを押します。それぞれのキーに対応したスロット番号に切り替わり、そのスロットのプレゼンテーションが開始します（0キーは一時スロットに切り替わります）。また、Enterキーを押すと、現在のプレゼンテーション番号が表示されます。

一括してプレゼンテーションをスロットへ割り当てる

「プレゼンテーションファイルの割り当て」ウインドウで各スロットへプレゼンテーションファイルまたはスケジュールファイルを一括して割り当てることができます。各スロットにはファイルパスを指定します。また、この時点では指定したファイルパスにファイルが存在する必要はありません。

「プレゼンテーションファイルの割り当て」ウインドウを表示するにはメイン画面の「プレゼンテーション割り当て」ボタンをクリックします。

・スロットにプレゼンテーションファイルまたはスケジュールファイルのある場所（ファイルパス）を入力します。「参照」ボタンをクリックするとファイルを指定することができます。

※ネットワーク上の共有フォルダのファイルを指定する場合は、読み込み失敗回避のため、ネットワークドライブ指定（例: Z：¥.... ）ではなく、UNC（ ¥¥コンピューター名¥共有フォルダ名¥... ）形式でファイル指定を行ってください。また、Windows にログオンしているユーザー名で共有フォルダにアクセスできる必要があります。

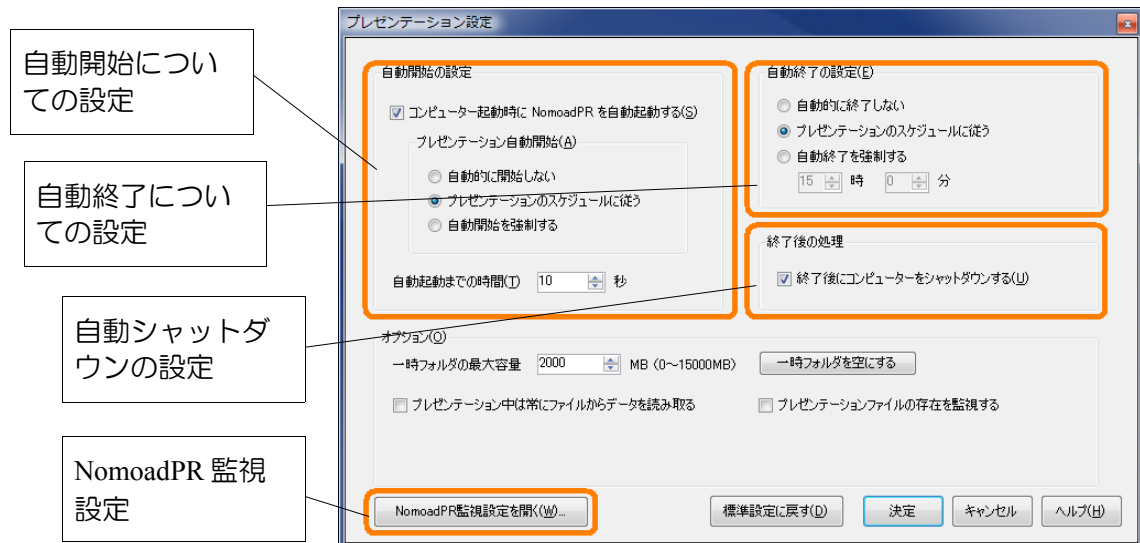
・「リセット」ボタンをクリックするとファイルパスの指定が解除されます。

・「スケジュール確認」ボタンをクリックすると指定したファイルのスケジュールを確認することができます。（指定したファイルパスにファイルが存在しない場合はスケジュールを確認することはできません。）

プレゼンテーションの自動開始・自動終了を設定する

表示パソコンを起動したときに自動的にプレゼンテーションを開始したり、プレゼンテーション終了時刻にパソコンを自動的にシャットダウンする方法、NomoadPR 監視設定の方法を説明します。

これらの設定は「プレゼンテーション設定」ウインドウで行います。

「プレゼンテーション設定」ウインドウを表示するにはメイン画面の「プレゼンテーション設定」ボタンを押します。

プレゼンテーション設定(E)

●表示パソコン起動時に自動的にプレゼンテーションを開始する方法

1　**「自動開始の設定」の中の「コンピューター起動時に NomoadPR を自動起動する」にチェックします。**

コンピューター起動時に NomoadPR を自動起動する(S)

2　**「プレゼンテーション自動開始」の中の「プレゼンテーションのスケジュールに従う」をクリックします。**

「自動開始を強制する」を選択した場合、プレゼンテーションで自動開始を指定されていない場合でも自動的にプレゼンテーションを開始します。

３　「自動起動までの時間」を設定します。

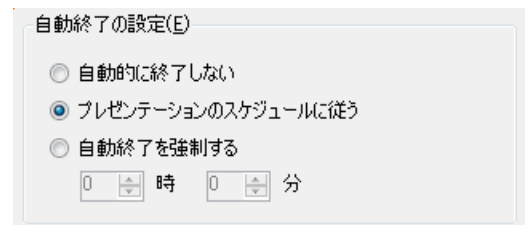
NomoadPR が自動的に起動するまでの待機時間を０秒～180 秒の間で指定できます。

※自動的に NomoadPR が起動した時点で、他のアプリケーションが動作していることがあります。アプリケーションによっては NomoadPR の動作を阻害するものがありますので、場合によっては他のアプリケーションの動作が終了するまで一定時間待機する必要があります。また、ネットワーク上のファイルを読み込みプレゼンテーションを行う場合、ネットワークとの接続が完了するまで一定時間待機する必要がある場合があります（無線 LAN 等でネットワークに接続する場合など）。

※パソコン起動時に Windows のログインを自動的に行うことができます。P108「表示パソコンの起動時に自動ログインする方法」を参照してください。

●プレゼンテーションを自動的に終了する方法

「自動終了の設定」の中の「プレゼンテーションのスケジュールに従う」をクリックします。

「自動終了を強制する」を選択した場合、プレゼンテーションで自動終了を指定していない場合でも自動的にプレゼンテーションを終了します。その場合、「自動終了を強制する」ラジオボタンの下にあるボックスに終了時刻を指定します。

●プレゼンテーション終了時にパソコンを自動的にシャットダウンする方法

「終了後の処理」の中の「終了後にコンピューターをシャットダウンする」をチェックします。

終了後にコンピューターをシャットダウンする(U)

この設定を行った場合、手動でプレゼンテーションを終了したときでも自動シャットダウンが行われます。

●NomoadPR 監視設定を行う方法

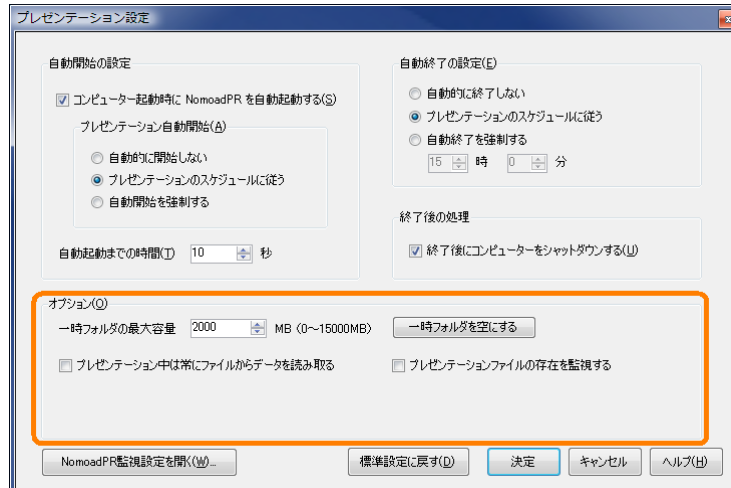
「NomoadPR 監視設定を開く…」ボタンをクリックします。

NomoadPR の動作監視や連続稼動時のパソコンの自動再起動の設定を行います。詳しくは P116「表示パソコンの連続稼動についての注意点」を参照してください。

設定を終えた後、「決定」ボタンを押してメインウインドウに戻ります。

オプションの設定を行う

NomoadPR のオプション設定を変更する方法を説明します。

オプションの設定は「プレゼンテーション設定」ウインドウで行います。「プレゼンテーション設定」ウインドウを表示するにはメイン画面の「プレゼンテーション設定」ボタンを押します。

プレゼンテーション設定(E)

●「一時フォルダの最大容量」

読み込んだプレゼンテーションデータを一時的に保存するローカルフォルダの最大容量を設定します。この値が大きいほど、一度読み込んだプレゼンテーションデータを再利用できる確率が増し、プレゼンテーションデータの読み込み時間が短縮されます。（システムフォルダ（C:¥Windows など）のあるディスクの空き容量を超える値を設定しないでください。）

「一時フォルダを空にする」ボタンをクリックすると、一時フォルダの内容が削除されます。

●「プレゼンテーション中は常にファイルからデータを読み取る」チェックボックス

プレゼンテーションを開始するとき、データを全てではなく一部のみローカルフォルダにコピーします。これにより、プレゼンテーション開始までの時間は短縮されます。

※ファイルが読み込めない状態となった場合、プレゼンテーションは停止し、エラーメッセージが表示されます。

※ネットワーク上のファイルを読み込みプレゼンテーションを行う場合は、この項目は選択しないでください。プレゼンテーション中にネットワークの接続が切断された場合、他の編集パソコンからのプレゼンテーションの更新ができなくなる場合があります。その場合、ファイルが保存されているサーバーを再起動してください。

●「プレゼンテーションファイルの存在を監視する」チェックボックス

再生中のプレゼンテーションファイルの存在を監視します。ファイルが失われた場合やファイルが置かれているメディアとの接続が切断された場合（USB メモリーを抜いた場合やネットワークとの接続が切断された場合など）、プレゼンテーションは停止し、エラーメッセージが表示されます。

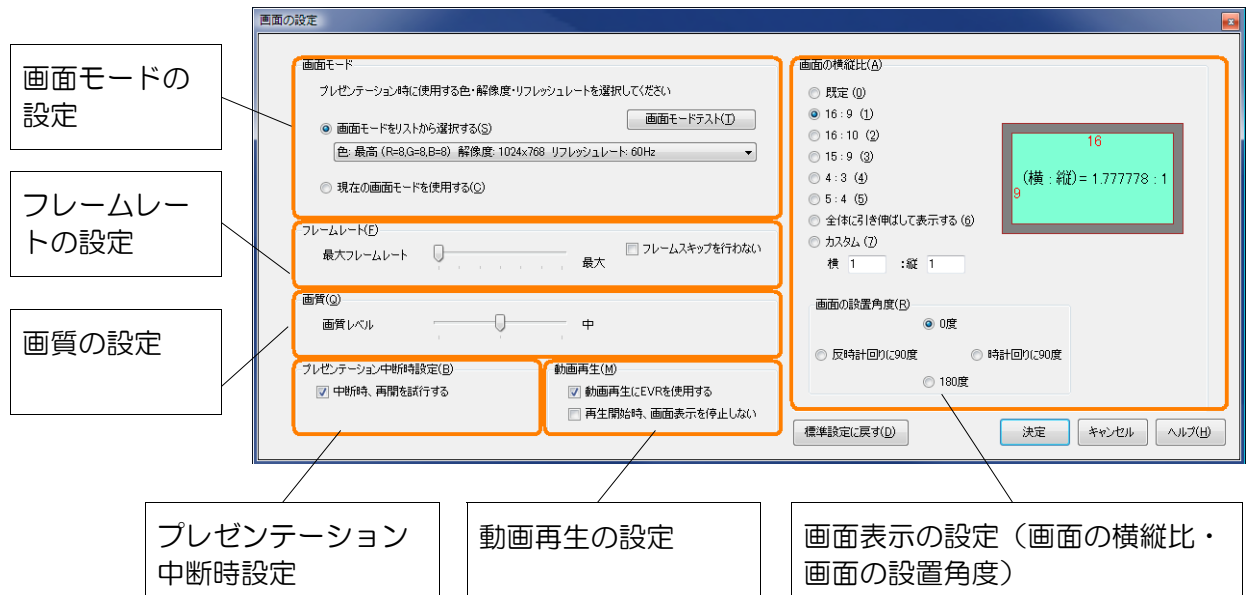
設定を終えた後、「決定」ボタンを押してメインウインドウに戻ります。

画面の設定を行う

プレゼンテーションを行うときの画面設定を変更する方法を説明します。

プレゼンテーションの画面表示がぎこちない場合やガクつく場合に、画面の設定で画面モードなどを変更することによってこれらが改善する場合があります。

画面の設定は、「画面の設定」ウインドウで行います。「画面の設定」ウインドウを表示するには、メイン画面の「画面設定」ボタンをクリックします。

画面設定(D)

●画面モードの設定/画面表示の設定

次の手順で画面モード/画面表示の設定を行います。

プレゼンテーション時に使用する色・解像度・リフレッシュレートを選択してください
画面モードをリストから選択する(S)　画面モードテスト(T)
色: 最高 (R=8,G=8,B=8) 解像度: 1024x768 リフレッシュレート: 60Hz
現在の画面モードを使用する(C)

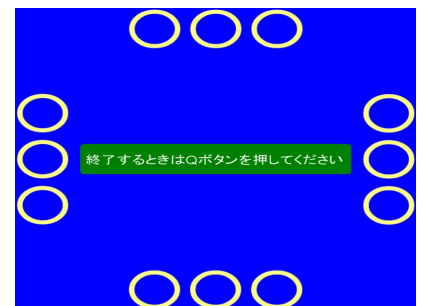
1　画面モードを設定します。

・「画面モードをリストから選択する」を選択した場合、リストから画面モードを選択します。

・「現在の画面モードを使用する」を選択した場合、現在使用中の画面モードをプレゼンテーション時にも使用します。

2　「画面モードテスト」をクリックします。

・テスト画面が表示されます。画面の上下左右いっぱいに拡大して表示されていることを確認してください。そうでない場合は画面（ディスプレイ）装置等の取扱説明書をお読みになり、画面いっぱいに表示されるように設定を行ってください。

・画面に何も表示されない場合や正常に表示されない場合は、「Q」キーを押しテスト画面を終了し、他の画面モードを選択してください。

3　キーボードの「Q」キーを押して画面モードテストを終了します。

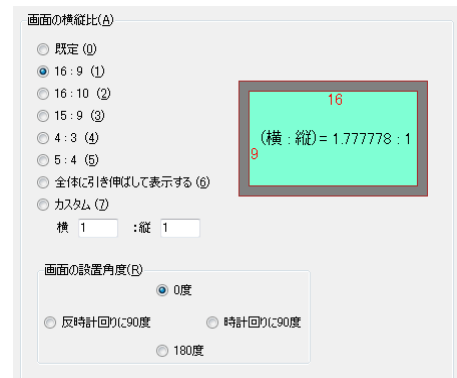
つづく

４　画面表示の設定を行います。

お使いの画面（ディスプレイ）装置等の横縦比と、設置角度を設定します。

・画面の横縦比を「既定」に設定した場合、画面モードの解像度を基準に設定されます。たとえば解像度が「800×600」の画面モードでは横縦比が４：３となります。

・画面の横縦比を「全体に引き伸ばして表示する」に設定した場合、プレゼンテーションファイルで設定された横縦比にかかわらず、プレゼンテーションが画面いっぱいに引き伸ばされて表示されます。

・画面の横縦比を「カスタム」に設定した場合、その下のボックスに任意の横縦比（1:10～10:1 の間）を設定することができます。

※プレゼンテーション時に画面がガクつく場合やぎこちない場合は、画面モードの解像度を低くすることにより改善する場合があります。

●フレームレートの設定

・**最大フレームレートは通常、「最大」を選択してください。**ただし、性能の低いパソコンでプレゼンテーションを行う場合、「最大」では画面がぎこちなくなる場合があります。その場合、最大フレームレートを1/4や1/20に設定することによってぎこちなさが改善する可能性があります。

・**「フレームスキップを使用しない」は通常チェックしないでください。**ただし、プレゼンテーション時、所々で画面がガクつくような場合、チェックすることによって改善する可能性があります。その際、テロップの移動速度が遅くなる場合があります。その場合は最大フレームレートを下げてください。

※プレゼンテーションがぎこちなくなったり、ガクつく場合は、フレームレートの設定を変更することよりも低い解像度の画面モードを選択することによって改善する可能性があります。

●画質の設定

・**画質レベルは通常「中」を選択してください。**低い解像度の画面モードでより高画質を求める場合は「高」を、画面のガクつきを抑えたい場合は「低」を使用してください。高い解像度の画面モードでは効果はあまりありません。

●プレゼンテーション中断時設定

・プレゼンテーション中に他のアプリケーションによってプレゼンテーションが中断されたり、キーボードの「Alt」+「Tab」同時押しなどによってアプリケーション切り替えなどが行われた場合、プレゼンテーションを自動的に再開するかどうかを設定します。「中断時、再開を試行する」をチェックした場合、プレゼンテーション中断時に自動的に再開します。ただし、最大20回まで再開を試行しますが、中断回数がそれ以上に達した場合、プレゼンテーションを終了し、メイン画面に戻ります。

●動画再生の設定（Windows Vista 以降の OS のみ設定可能）

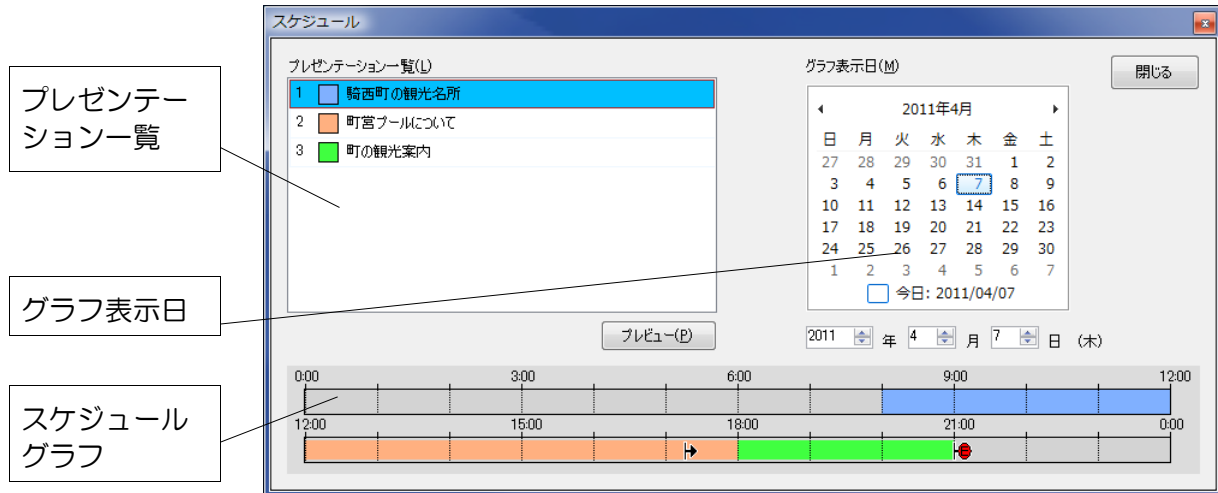
- **「動画再生に EVR を使用する」は通常チェックしてください。**動画の再生に EVR（Enhanced video renderer）を使用するかどうかを設定します。この設定により、動画再生時の負荷を抑えることができる場合があります（コーデックが DXVA2 に対応している場合のみ）。動画再生が正常に行われない場合は、チェックを外すことにより正常に再生できる可能性があります。
- 「再生開始時、画面表示を停止しない」をチェックすることにより、動画再生開始時に画面表示を一時的に停止する動作を解除することができます。ただし、表示するパソコンの性能や環境によっては動画再生時に画面がガクつく場合があります。この項目は、「動画再生に EVR を使用する」がチェックされているときのみ選択できます。

※「標準設定に戻す」ボタンをクリックすることにより、「画面モード」「画面の縦横比」以外の設定を標準状態に設定することができます。

スケジュールを確認する

NomoadSchedule（P97参照）で作成したスケジュール済みプレゼンテーションファイルをNomoad で読み込んだ場合、スケジュールの確認画面でスケジュールの確認を行うことができます。

スケジュール確認画面は、メインウインドウの「スケジュール確認」ボタンをクリックします。

スケジュール確認(C)

・グラフ表示日でスケジュールを表示したい日付を選択するとスケジュールグラフにその日のスケジュールが表示されます。グラフの色はプレゼンテーション一覧で表示されているプレゼンテーションに対応しています。

・グラフ上のアイコンの意味は次のとおりです。

現在時刻（グラフ表示日が本日となっているときのみ）

自動終了時刻（自動終了が有効となっている場合）

・プレゼンテーション一覧にあるプレゼンテーションは、「プレビュー」ボタンをクリックすることによりプレビューを表示することができます。ただし、動画や音声は再生されません（スキップされます）。

プレビュー(P)

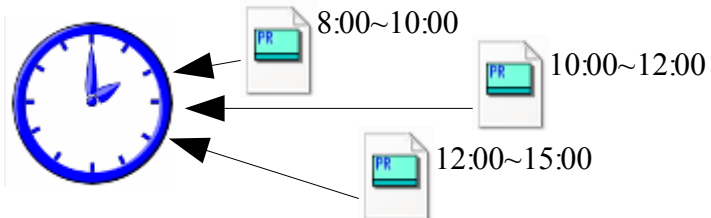
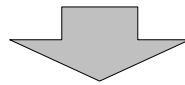
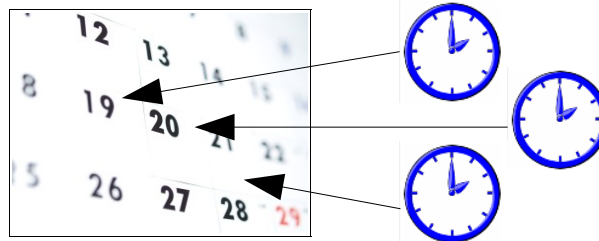
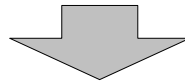
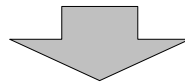
スケジュール作成（NomoadSchedule）

NomoadSchedule を使用してプレゼンテーションのスケジュールを作成する方法について説明します。

NomoadSchedule でスケジュールを作成する手順は次のようになります。

スケジュールの種類を選択します。

・同じ時間割を毎日繰り返す

・時間割を曜日ごとに設定・・・etc

プレゼンテーションファイルを読み込み、時間割を作成します。

時間割をスケジュール項目に割り振ります。

スケジュール済みプレゼンテーションファイルを新しく作成し、NomoadPR で読み込みます。

※スケジュールファイルを直接 NomoadPR で読み込むこともできます。（P120参照）

●スケジュールの種類について

NomoadSchedule では５種類のスケジュールを作成することができます。スケジュール作成時にこの中から１種類を選びます。

種類	説明
任意の期間に時間割を指定	時間割を作成し、期間を指定してスケジュールに割り振りたい場合に選択します。時間割は最大 12 個、スケジュール期間は最大 12 個まで設定できます。
同じ時間割を毎日繰り返す	時間割を１つだけ作成し、それを毎日表示し続けるようなスケジュールを作成したい場合に選択します。
時間割を曜日ごとに設定	曜日ごとに時間割を割り振る場合に選択します。期間を指定できるスケジュールも追加できます。時間割は最大 19 個、追加スケジュール期間は最大 12 個まで設定できます。
時間割を月ごとに設定	月ごとに時間割を割り振る場合に選択します。期間を指定できるスケジュールも追加できます。時間割は最大 24 個、追加スケジュール期間は最大 12 個まで設定できます。
時間割を月の日ごとに設定	月の日付ごとに時間割を割り振る場合に選択します。期間を指定できるスケジュールも追加できます。時間割は最大 43 個、追加スケジュール期間は最大 12 個まで設定できます。

NomoadSchedule では期間が設定されたスケジュール項目ごとに時間割を割り当てますが、「期間を任意に指定できるスケジュール項目」を**任意期間項目**と呼び、「既に期間が決まっているスケジュール項目」は**固定期間項目**と呼びます。

・「任意の期間に時間割を指定」を選択した場合、任意期間項目は１２個設定できます。固定期間はありません。

・「同じ時間割を毎日繰り返す」を選択した場合、任意期間項目はありません。固定期間は「毎日」の１個のみ存在します。

・「時間割を曜日ごとに設定」を選択した場合、任意期間は１２個設定できます。固定期間は「日曜日」～「土曜日」の７個存在します。

・「時間割を月ごとに設定」を選択した場合、任意期間は１２個設定できます。固定期間は「１月」～「１２月」の１２個存在します。

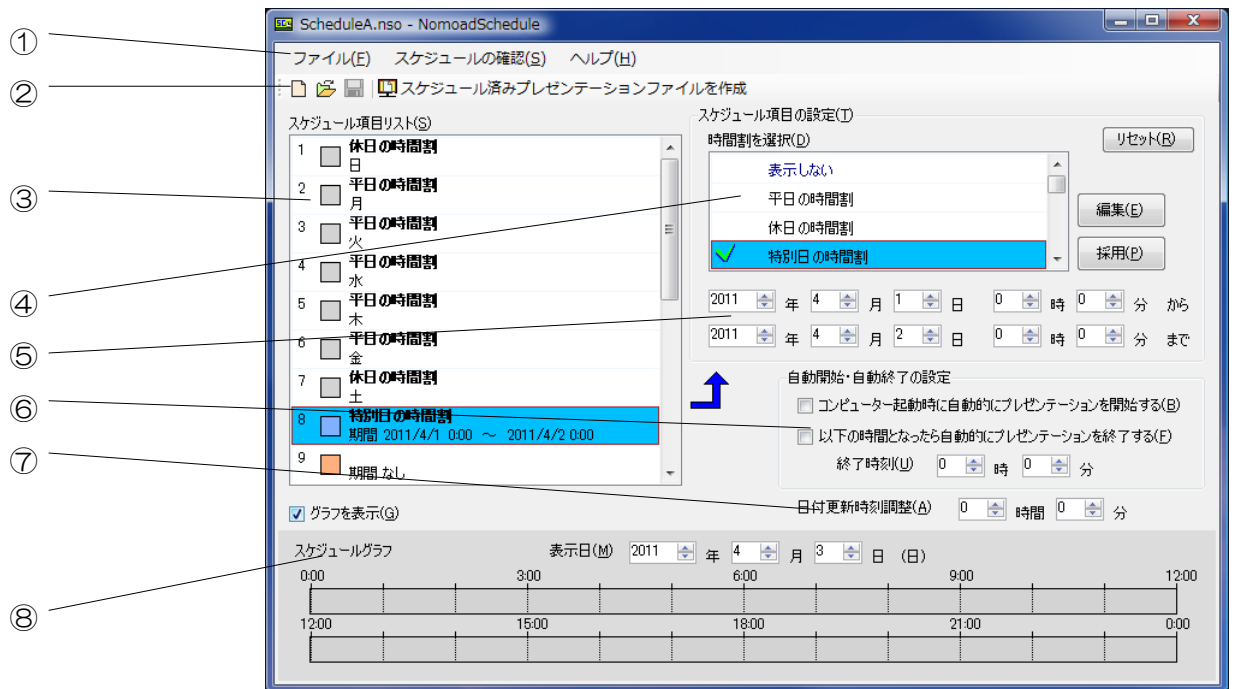
・「時間割を月の日ごとに設定」を選択した場合、任意期間は１２個設定できます。固定期間は「１日」～「３１日」の３１個存在します。

●スケジュール作成に関する注意事項

NomoadSchedule で保存したスケジュールファイルを他のユーザーやパソコンで編集したい場合や、NomoadPR で直接スケジュールファイルを読み込みたい場合は、スケジュール作成に関して注意すべき点があります。P119「他のパソコンで使用可能なスケジュールファイルを作成する」を参照してください。

NomoadSchedule の起動

NomoadSchedule を起動するには、Windows タスクバーの「スタート」メニューから、「全てのプログラム」→「Nomoad」→「NomoadSchedule」をクリックします。

メイン画面の説明

①･･･メニュー　②･･･ツールバー　③･･･スケジュール項目リスト　④･･･時間割リスト
⑤･･･スケジュール期間　⑥･･･自動開始・終了設定　⑦･･･日付更新時刻調整
⑧･･･スケジュールグラフ

①メニュー

メニューは、NomoadSchedule の機能を利用するときに使用します。

メニューの内容について説明します。

メニュー内容		説明	参照ページ
ファイル	新規作成	新しくスケジュールを作成します。	P102
	開く	スケジュールファイルを読み込みます。	P107
	上書き保存	作成中のスケジュールをスケジュールファイルに保存します。	P107
	名前をつけて保存	作成中のスケジュールを別のスケジュールファイルに名前をつけて保存します。	P107

つづく

メニュー内容		説明	参照ページ
	スケジュール済みプレゼンテーションファイルを作成	スケジュールされたプレゼンテーションファイルを作成します。	P106
	最近使ったファイル	最近使ったスケジュールファイルを読み込みます。	P107
	アプリケーションを終了	NomoadSchedule を終了します。	-
スケジュールの確認		スケジュール確認画面を表示します。	P105
ヘルプ	ヘルプ	ヘルプを表示します。	-
	バージョン情報	バージョン情報を表示します。	-

②ツールバー

ツールバーは、NomoadSchedule の機能を利用するときに使用します。

ツールバーの内容について説明します。

アイコン	内容	説明	参照ページ
	新規作成	新しくスケジュールを作成します。	P102
	開く	スケジュールファイルを読み込みます。	P107
	上書き保存	作成中のスケジュールをスケジュールファイルに保存します。	P107
	スケジュール済みプレゼンテーションファイルを作成	スケジュールされたプレゼンテーションファイルを作成します。	P106

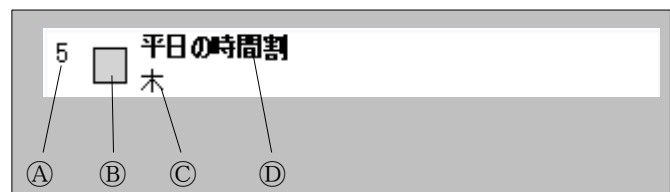
③スケジュール項目リスト

スケジュールの期間やそれに割り振られている時間割を表示します。スケジュール項目を選択し、時間割を指定します。任意期間の場合は期間も設定します。

Ⓐスケジュール項目番号･･･スケジュールの優先順をあらわします。番号が大きいほど優先度は高くなります。

Ⓑスケジュール項目の色･･･スケジュール項目の色を表します。スケジュールグラフで表示される色に対応しています。灰色は固定期間のスケジュール項目です。

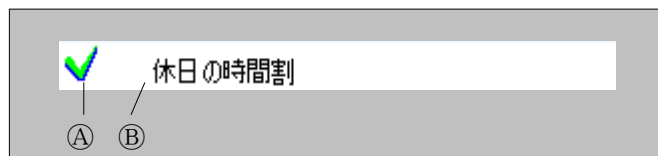
Ⓒスケジュール期間･･･スケジュールの期間をあらわします。任意期間項目の場合はその期間も表示されます。

Ⓓ指定された時間割･･･スケジュール項目に割り当てられた時間割の名前が表示されます。

※任意期間項目はマウスでドラッグアンドドロップすることにより項目を移動することができます。また、キーボードの「Ctrl」キーを押しながらドラッグアンドドロップすることによって項目をを他の項目にコピーすることができます。コピー先の項目は警告なしに上書きされます。

④時間割リスト

時間割のリストを表示します。時間割を選択し、「編集」ボタンをクリックすると、時間割を編集できます（「表示しない」以外）。「採用」ボタンをクリックすると、選択されているスケジュール項目に時間割を割り当てます。

Ⓐ採用マーク･･･選択されているスケジュール項目に割り当てられている時間割であることを示します。

Ⓑ時間割の名前･･･時間割の名前をあらわします。

※キーボードの「Ctrl」キーを押しながらドラッグアンドドロップすることによって時間割を他の時間割にコピーすることができます。コピー先の時間割は警告なしに上書きされます。

⑤スケジュール期間

選択されているスケジュール項目の期間を分単位で指定します。スケジュール期間は選択されているスケジュール項目が任意期間の場合のときのみ設定できます。

⑥自動開始・終了設定

プレゼンテーションの自動開始・自動終了に関する設定を行います。これらは全てのスケジュールで共通の設定となり、スケジュール項目ごとに設定することはできません。

⑦日付更新時刻調整

プレゼンテーション時における、一日のうちで日付を更新するタイミングを調整することができます。0時間0分に設定した場合、毎日0時0分に日付が更新されます。例えば-3時間0分に設定した場合、毎日前日の21時0分に日付が更新されます。更新された日時に応じたプレゼンテーションが行われます。

これは、たとえば夜間営業の店舗などで、営業時間が0時0分をまたぐ場合などに有効です。

※日付更新時刻調整はスケジュール新規作成時に「時間割を曜日ごとに設定」「時間割を月ごとに設定」「時間割を月の日ごとに設定」を選択した場合のみに設定できます。

⑧スケジュールグラフ

スケジュール項目の任意期間を確認することができます。スケジュールグラフを表示するには「グラフを表示」をチェックします。

※スケジュールグラフはスケジュール新規作成時に「同じ時間割を毎日繰り返す」を選択した場合は表示されません。

スケジュールを作成する

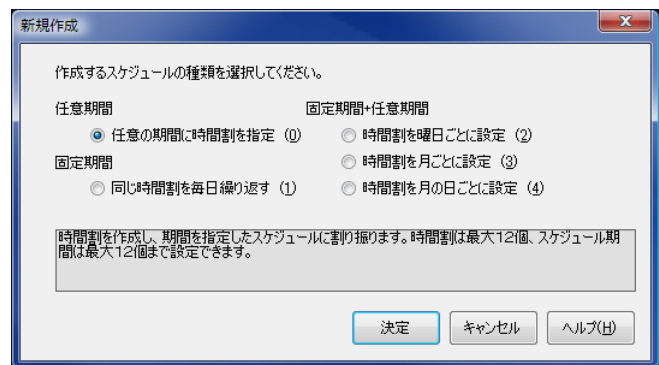
スケジュールを作成し、スケジュール済みプレゼンテーションファイルを作成する方法を手順に従って説明します。

※他のユーザーやパソコンでスケジュールを編集したい場合や、NomoadPRで直接スケジュールファイルを読み込みたい場合はP119「他のパソコンで使用可能なスケジュールファイルを作成する」を参照してください。

新規作成を行う

スケジュールを新規に作成します。

１　メニューから、「ファイル」→「新規作成」をクリックします。

「新規作成」ウインドウが表示されます。

２　作成するスケジュールの種類を選択します。

・時間割を作成し、期間を指定してスケジュールに割り振りたい場合は、「任意の期間に時間割を指定」を選択します。

・時間割を１つだけ作成し、それを毎日表示し続けるようなスケジュールを作成したい場合は、「同じ時間割を毎日繰り返す」を選択します。

・曜日ごとに時間割を割り振る場合は、「時間割を曜日ごとに設定」を選択します。

・月ごとに時間割を割り振る場合は、「時間割を月ごとに設定」を選択します。

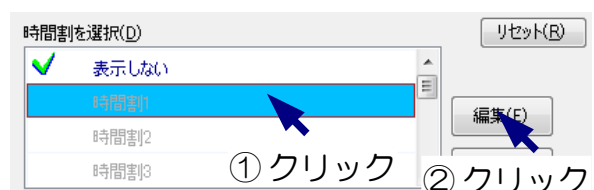
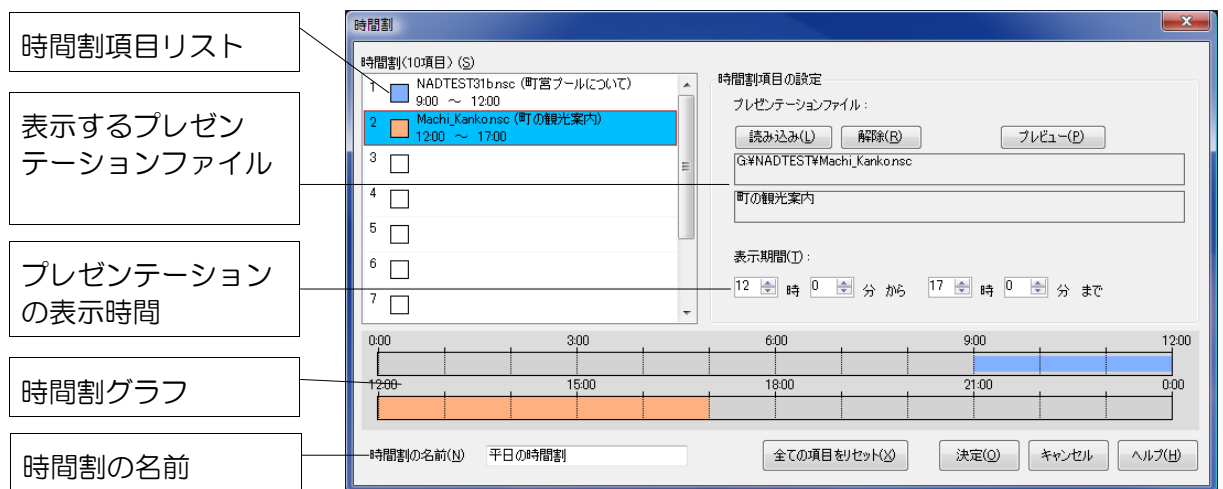
・月の日付ごとに時間割を割り振る場合は、「時間割を月の日ごとに設定」を選択します。

３　「決定」ボタンをクリックします。

時間割を編集する

時間割を編集する方法を説明します。

メイン画面の時間割リストから編集したい時間割を選択し、「編集」ボタンをクリックします。

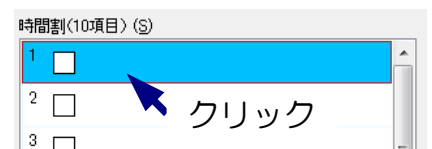
「時間割」ウインドウが表示されます。

●時間割ウインドウの説明

・時間割項目は最大 30 個まで設定できます。

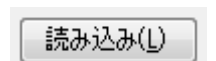
・時間割項目リストは番号が大きいほど優先順位は高くなります。すなわち、時間割項目との間で表示時間が重なった場合、項目番号の大きい時間割項目のプレゼンテーションが優先して表示されます。

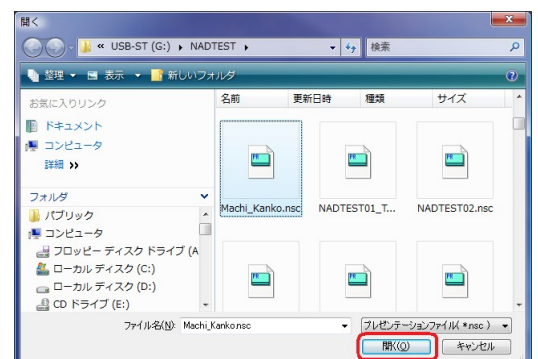
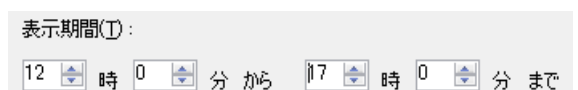
・時間割項目リストはマウスでドラッグアンドドロップすることにより項目を移動することができます。また、キーボードの「Ctrl」キーを押しながらドラッグアンドドロップすることによって項目をを他の項目にコピーすることができます。コピー先の項目は警告なしに上書きされます。

●時間割にプレゼンテーションファイルを設定する

1　**時間割項目リストから編集したい項目を選択します。**

選択した時間割項目が編集できるようになります。

2　**「時間割項目」の中の「読み込み」ボタンをクリックします。**

「開く」ウインドウが表示されます。

3　**プレゼンテーションファイルを指定し、「開く」をクリックします。**

※開いたプレゼンテーションは「解除」ボタンをクリックすることにより解除することができます。

4　**プレゼンテーションの表示期間を設定します。**

5　**複数の項目にプレゼンテーションを設定する場合、必要に応じて１～４を繰り返します。**

●時間割の名前を変更する

「時間割の名前」を変更します。

●時間割項目に設定したプレゼンテーションの内容を確認する

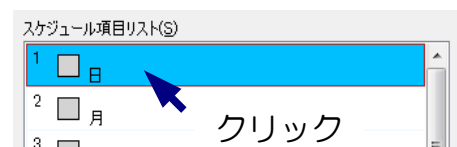
「プレビュー」ボタンをクリックするとプレビュー画面が表示されます。
ただし、動画や音声は再生されません（スキップされます）。

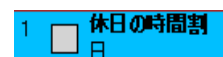
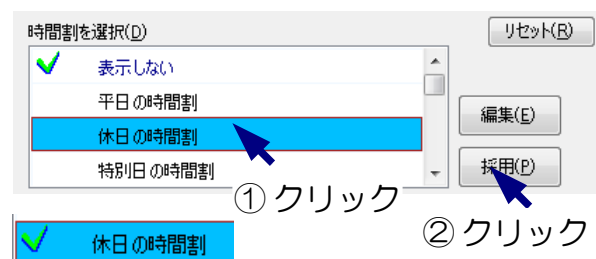
※時間割リストを全てリセットする場合は、「全ての項目をリセット」ボタンをクリックします。
（警告なしでリセットされます）

時間割の編集が終了したら、「決定」ボタンを押し、メイン画面に戻ります。

スケジュール項目に時間割を割り当てる

編集した時間割をスケジュール項目に割り当てる方法を説明します。

1　スケジュール項目リストから時間割を割り当てたいスケジュール項目を選択します。

2　時間割項目リストから割り当てたい時間割を選択し、「採用」ボタンをクリックします（または時間割をダブルクリックします）。

時間割にチェックマークが入り、スケジュール項目に時間割の名前が表示されます。

3　選択されたスケジュール項目が任意期間のスケジュール項目の場合、項目の期間を設定します。

設定した期間はスケジュールグラフで確認できます。

自動開始・自動終了の設定を行う

プレゼンテーションの自動開始・自動終了に関する設定を行います。これらは全てのスケジュールで共通の設定となり、スケジュール項目ごとに設定することはできません。

自動開始・自動終了の設定
コンピューター起動時に自動的にプレゼンテーションを開始する(B)
以下の時間となったら自動的にプレゼンテーションを終了する(F)
終了時刻(U) 0 時 0 分

・「コンピューター起動時に自動的にプレゼンテーションを開始する」

→コンピューター起動時にプレゼンテーションを自動的に開始するかどうかを指定します。

・「以下の時間となったら自動的にプレゼンテーションを終了する」

→指定した時刻に自動的にプレゼンテーションを終了するかどうかを指定します。終了時、コンピューターをシャットダウンすることも可能です。

※自動開始・自動終了を行うには NomoadPR での設定が必要です。（P90「プレゼンテーションの自動開始・自動終了を設定する」を参照）

日付更新時刻調整の設定を行う

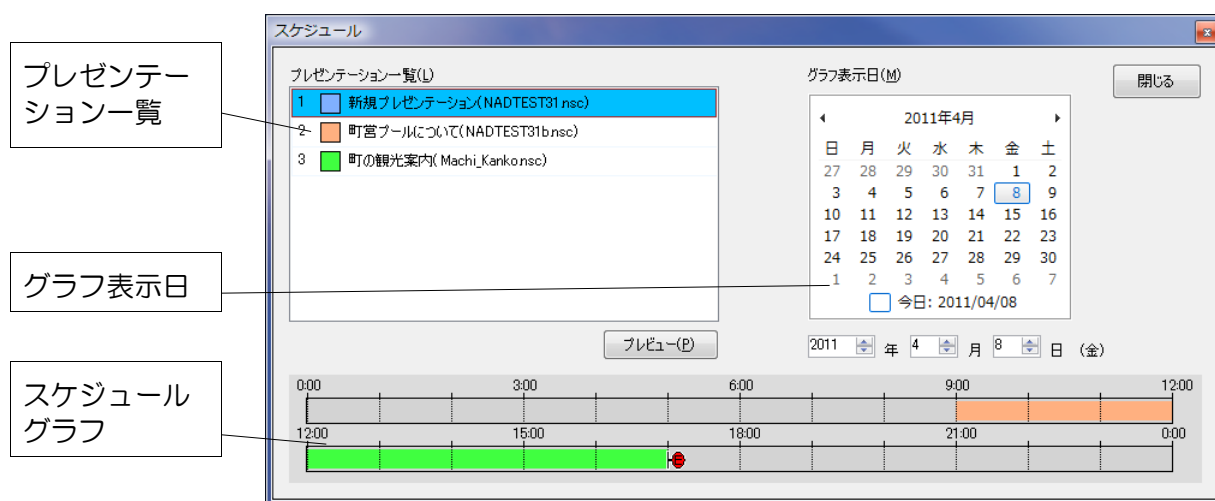
プレゼンテーション時における、一日のうちで日付を更新するタイミングを調整することができます。０時間０分に設定した場合、毎日０時０分に日付が更新されます。例えば-３時間０分に設定した場合、毎日前日の２１時０分に日付が更新されます。更新された日時に応じたプレゼンテーションが行われます。

これは、たとえば夜間営業の店舗などで、営業時間が０時０分をまたぐ場合などに有効です。

※日付更新時刻調整はスケジュール新規作成時に「時間割を曜日ごとに設定」「時間割を月ごとに設定」「時間割を月の日ごとに設定」を選択した場合のみに設定できます。

スケジュールを確認する

作成中のスケジュールをグラフで確認することができます。

メニューから、「スケジュールの確認」をクリックすると、「スケジュール」ウインドウが表示されます。

・グラフ表示日でスケジュールを表示したい日付を選択するとスケジュールグラフにその日のスケジュールが表示されます。グラフの色はプレゼンテーション一覧で表示されているプレゼンテーションに対応しています。

つづく

・グラフ上のアイコンの意味は次のとおりです。

自動終了時刻（自動終了が有効となっている場合）

・プレゼンテーション一覧にあるプレゼンテーションは、「プレビュー」ボタンをクリックすることによりプレビューを表示することができます。ただし、動画や音声は再生されません（スキップされます）。

「スケジュール」ウインドウが表示されている間もメインウインドウで作業を続行できます。「スケジュール」ウインドウを閉じるには「閉じる」ボタンをクリックしてください。

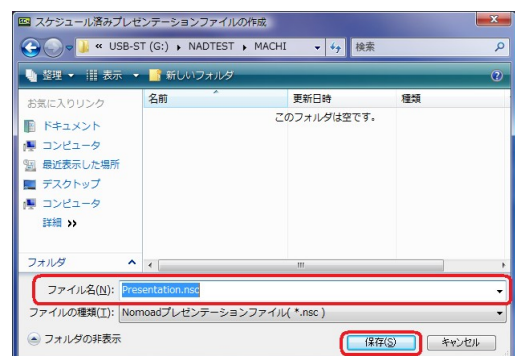
スケジュール済みプレゼンテーションファイルを作成する

スケジュールを作成したら、スケジュール済みプレゼンテーションファイルを作成します。

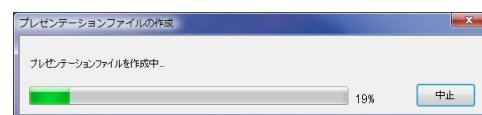
作成したプレゼンテーションファイルを用いてNomoadPRでスケジュールに従ったプレゼンテーションを行うことができます。

1　メニューから、「ファイル」→「スケジュール済みプレゼンテーションファイルを作成」をクリックします。

「スケジュール済みプレゼンテーションファイルの作成」ウインドウが表示されます。

2　プレゼンテーションのファイル名と、ファイルを保存する場所を指定し、「保存」ボタンをクリックします。

3　「ファイル作成の確認」が表示されるので、「OK」ボタンをクリックします。

４　プレゼンテーションファイルの作成が開始され、作成状況が表示されます。

・「中止」ボタンをクリックすることにより
　ファイルの作成を中止することができます。

５　ファイルの作成が完了したら、「閉じる」ボタンをクリックします。

作成したプレゼンテーションファイルはNomoadPRで読み込み、プレゼンテーションを行うことができます。

スケジュールを保存する

編集途中のスケジュールを保存するには、メニューから、「ファイル」→「保存」をクリックします。

※別のファイル名を指定して保存したい場合は、メニューから「ファイル」→「名前をつけて保存」をクリックします。

※スケジュールファイルを他のパソコンで編集したい場合、P 119「他のパソコンで使用可能なスケジュールファイルを作成する」を参照してください。

※保存したスケジュールファイルをNomoadPRに直接読み込んでプレゼンテーションを行うことができます。ただし、条件がありますので、P120「NomoadPRでスケジュールファイルを読み込む」を参照してください。

スケジュールを開く

保存されたスケジュールファイルを読み込み、作業を再開するには、メニューから「ファイル」→「開く」をクリックします。

※最近使用したスケジュールファイルについては、メニューから「ファイル」→「最近使ったファイル」から選択することができます。

※ライト版では通常版で作成されたスケジュールファイルを読み込むことはできません。

補足解説

Nomoad を使用する上での補足説明をします。

表示パソコンの起動時に自動ログインする方法

パソコンの起動時に Windows に自動的にログインする方法を説明します。

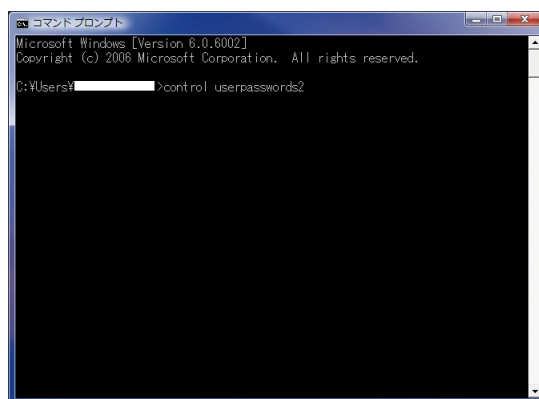
NomoadPR でプレゼンテーションの自動開始を行いたい場合、この設定によってパソコン起動時のパスワード入力を省略することができます。すなわち、表示パソコンの電源を入れるだけで自動的にプレゼンテーションを開始すること可能になります。

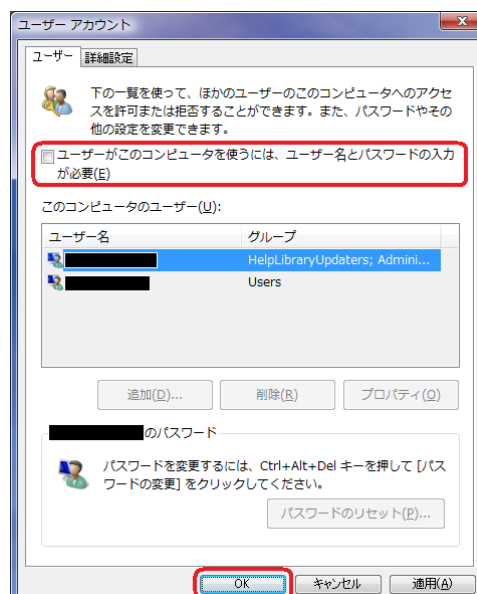
NomoadPR で自動開始を有効にする方法は P90「プレゼンテーションの自動開始・自動終了を設定する」を参照してください。

※以下の設定を変更するには管理者権限を持つユーザーアカウントでログインしている必要があります。

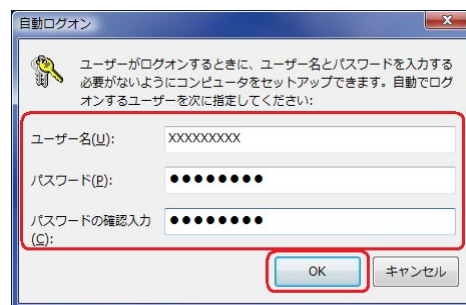
1　Windows タスクバーの「スタート」メニューから、「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。

2　キーボードで「control userpasswords2」と入力し、「Enter」キーを押します。

Windows Vista または Windows 7 を使用している場合、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示される場合があります。この場合、「続行」をクリックします。

「ユーザーアカウント」ウインドウが表示されます。

3　「ユーザーがコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードの入力が必要」をクリックし、チェックマークをはずします。

4　「OK」ボタンをクリックします。

「自動ログイン」ウインドウが表示されます。

５　自動ログインするユーザー名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。

６　「コマンドプロンプト」を閉じます。

自動ログインを解除する場合は、上記「ユーザーアカウント」ウインドウの「ユーザーがコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードの入力が必要」をチェックします。

表示パソコンを電源ボタンでシャットダウンする方法

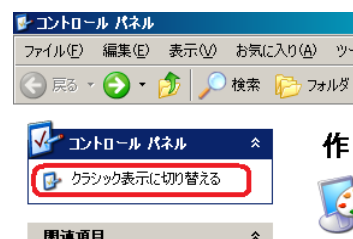
プレゼンテーション中のパソコンを電源ボタンでシャットダウンするための設定方法を説明します。

※設定を変更するには管理者権限を持つユーザーアカウントでログインしている必要があります。

●Windows XP を使用している場合

1　Windows タスクバーの「スタート」メニューから、「コントロールパネル」をクリックします。

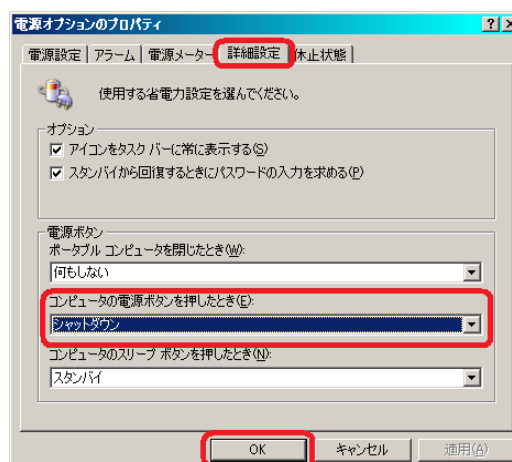
コントロールパネルが開きます。

2　コントロールパネルがクラシック表示でない場合、コントロールパネル左上の「クラシック表示に切り替える」をクリックします。

3　「電源オプション」を開きます。

電源オプション

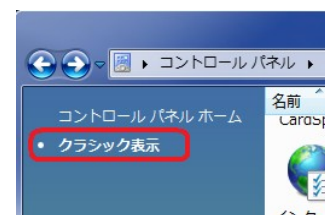
4　「詳細設定」タグをクリックします。

5　「コンピューターの電源ボタンを押したとき」を「シャットダウン」に設定します。

6　「OK」ボタンをクリックします。

●Windows Vista を使用している場合

1　Windows タスクバーの「スタート」メニューから、「コントロールパネル」をクリックします。

コントロールパネルが開きます。

2　コントロールパネルがクラシック表示でない場合、コントロールパネル左上の「クラシック表示」をクリックします。

3　「電源オプション」を開きます。

4　「電源ボタンの動作の選択」をクリックします。

5　「電源ボタンを押したときの動作」を「シャットダウン」に変更します。

6　「変更の保存」ボタンをクリックします。

●Windows 7 を使用している場合

1　Windows タスクバーの「スタート」メニューから、「コントロールパネル」をクリックします。

コントロールパネルが開きます。

2　コントロールパネル右上の「表示方法」を「大きいアイコン」に変更します。

3　「電源オプション」を開きます。

つづく

４　「電源ボタンの動作を選択する」をクリックします。

５　「電源ボタンを押したときの動作」を「シャットダウン」に変更します。

６　「変更の保存」ボタンをクリックします。

表示パソコンでの Windows Update の設定方法

インターネットへ接続しているパソコンでプレゼンテーションを行う場合、プレゼンテーション中に Windows Update によってパソコンが自動的に再起動するのを防止する必要があります。

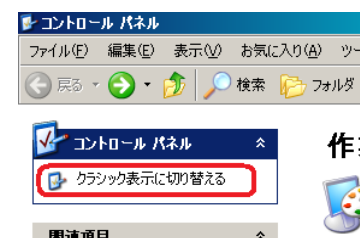
ここでは Windows Update の設定方法について説明します。

重要： インターネットへ接続している場合、Windows Update の設定後は、定期的に手動で Windows Update を実行し更新プログラムのインストールを行ってください。

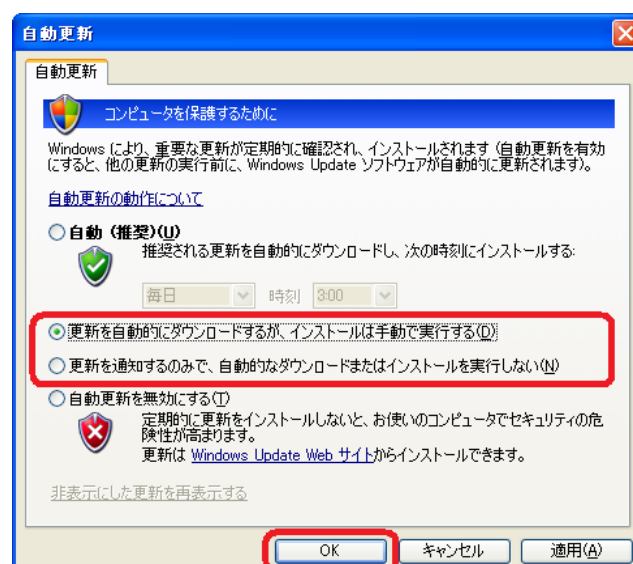
●Windows XP を使用している場合

1　Windows タスクバーの「スタート」メニューから、「コントロールパネル」をクリックします。

コントロールパネルが開きます。

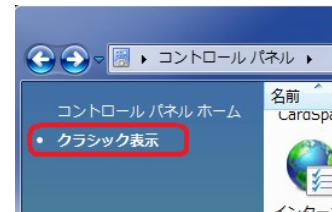
2　コントロールパネルがクラシック表示でない場合、コントロールパネル左上の「クラシック表示に切り替える」をクリックします。

3　「自動更新」を開きます。

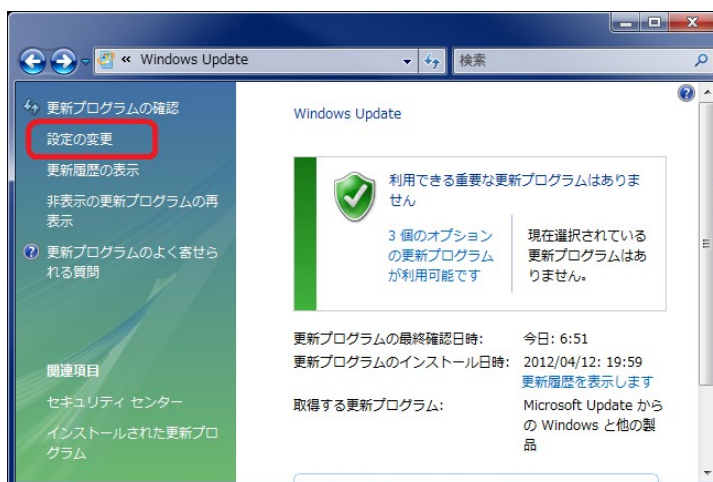
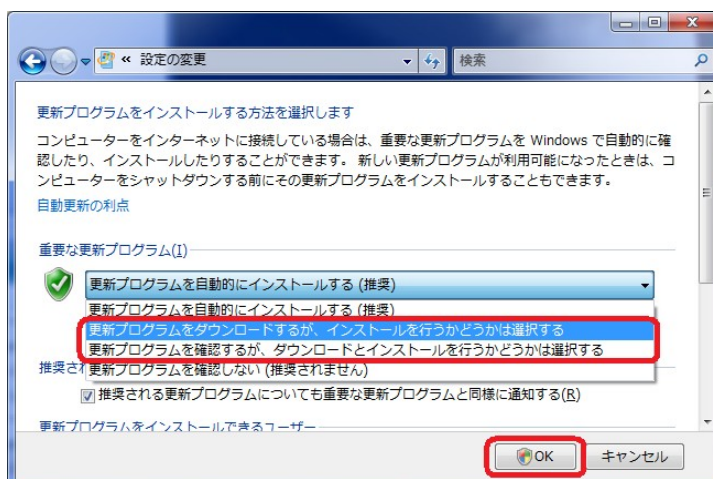
4　「更新を自動的にダウンロードするが、インストールは手動で実行する」または「更新を通知するのみで、自動的なダウンロードまたはインストールは実行しない」を選択します。

5　「OK」ボタンをクリックします。

●Windows Vista を使用している場合

1　Windows タスクバーの「スタート」メニューから、「コントロールパネル」をクリックします。

コントロールパネルが開きます。

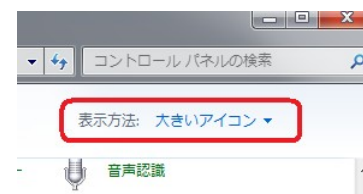
2　コントロールパネルがクラシック表示でない場合、コントロールパネル左上の「クラシック表示」をクリックします。

3　「Windows Update」を開きます。

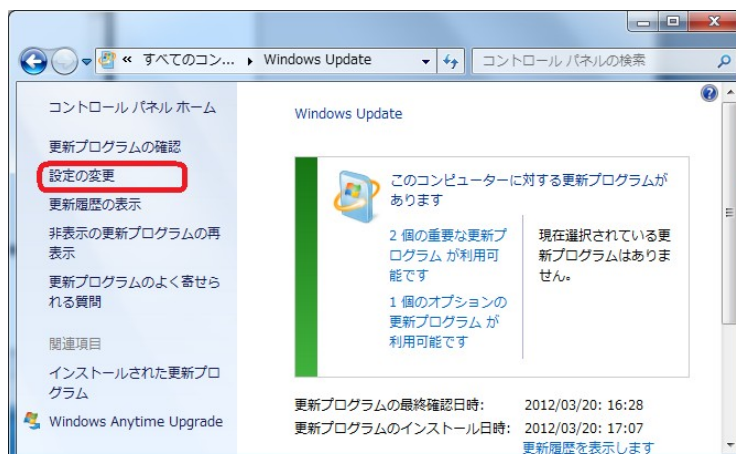
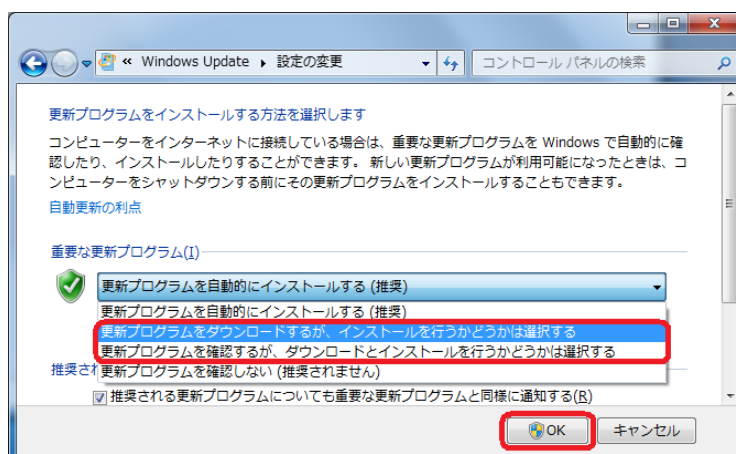
4　「設定の変更」をクリックします。

5　「重要な更新プログラム」のリストから、「更新プログラムをダウンロードするが、インストールを行うかどうかは選択する」または「更新プログラムを確認するが、ダウンロードとインストールを行うかどうかは選択する」を選択します。

6　「OK」ボタンをクリックします。

●Windows 7 を使用している場合

1　Windows タスクバーの「スタート」メニューから、「コントロールパネル」をクリックします。

コントロールパネルが開きます。

2　コントロールパネル右上の「表示方法」を「大きいアイコン」に変更します。

3　「Windows Update」を開きます。

4　「設定の変更」をクリックします。

5　「更新プログラムをダウンロードするが、インストールを行うかどうかは選択する」または、「更新プログラムを確認するが、ダウンロードとインストールを行うかどうかは選択する」を選択します。

6　「OK」ボタンをクリックします。

表示パソコンの連続稼動についての注意点

NomoadPR を使用して表示パソコンを数日以上にわたって連続稼動する場合、以下の点に注意する必要があります。

・長時間の稼動によるソフトウェアやハードウェアの誤動作を防止するため、数日間に 1 回の割合で表示パソコンを再起動する必要があります。タスクトレイに常駐する NomoadWatch には NomoadPR の稼動時間を監視し、パソコンを自動的に再起動する機能が含まれています。（後述）

・インターネットへ接続されている場合、Windows Update が自動実行され、パソコンが自動的に再起動する場合があります。これを回避するには、P113「表示パソコンでの Windows Update の設定方法」を参照して Windows Update で更新プログラムを自動的にインストールしないように設定を行う必要があります。

＜NomoadWatch による NomoadPR 監視機能について＞

タスクトレイに常駐する NomoadWatch は下記の機能を持っています。

・NomoadPR が正常に動作しているかどうかを監視し、動作が停止している場合は、自動的に NomoadPR を再起動し、プレゼンテーションを再開します。

・NomoadPR の連続動作時間を監視し、動作時間が一定期間経過した場合、指定時刻にパソコンまたは NomoadPR の再起動を行い、プレゼンテーションを続行します。

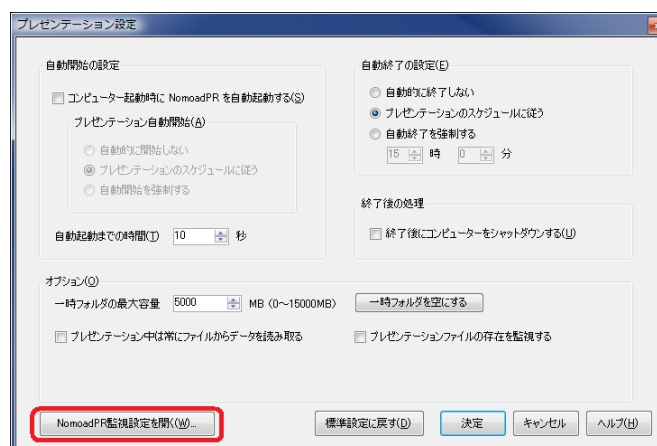
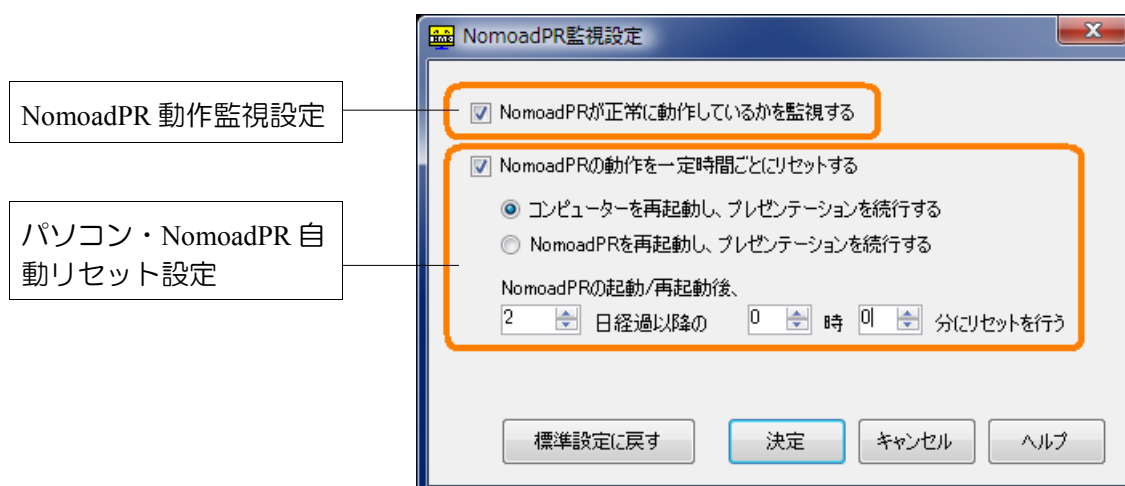
NomoadWatch の NomoadPR 監視設定を行いたい場合、次の手順で「NomoadPR 監視設定」ウインドウを開きます。

（Windows のタスクトレイから設定を行う場合）

Windows のタスクトレイから右の図のアイコンを右クリックし、「NomoadPR 監視設定...」をクリックします。

（アイコンが存在しない場合、パソコンを再起動すれば表示されます）

（NomoadPR の「プレゼンテーション設定」から設定を行う場合）

NomoadPR のメインウインドウから「プレゼンテーション設定」ボタンをクリックし、「プレゼンテーション設定」ウインドウの「NomoadPR 監視設定を開く...」ボタンをクリックします。

●NomoadPR 動作監視設定

「NomoadPR が正常に動作しているかを監視する」を選択すると、NomoadPR でプレゼンテーションを行う際、NomoadPR が正常に動作しているかを監視します。

何らかの理由でプレゼンテーションが停止してしまった場合、数分後、NomoadPR を自動的に再起動し、プレゼンテーションを再開します。

●パソコン・NomoadPR 自動リセット設定

「NomoadPR の動作を一定時間ごとにリセットする」を選択すると、NomoadPR でプレゼンテーションを行っている間、NomoadPR の稼働時間を計測します。

NomoadPR が起動してから指定した日数を経過しかつ指定した時刻に達したときに、パソコンまたは NomoadPR を再起動し、プレゼンテーションを再開します。

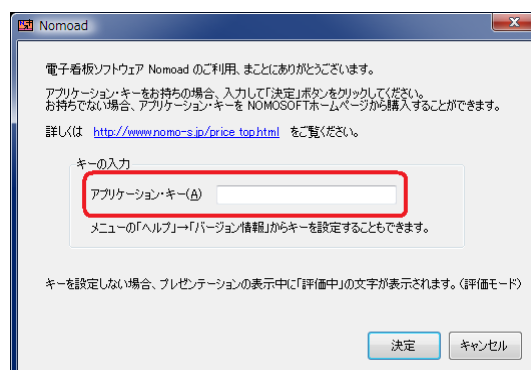
※「コンピューターを再起動し、プレゼンテーションを続行する」を選択した場合、パソコンの再起動後、Windows のログオンが自動的に行われるように Windows の設定を行ってください。（P108「表示パソコンの起動時に自動ログインする方法」を参照してください）

重要：　NomoadPR を使用してプレゼンテーションを数日以上にわたって連続稼動する場合、起動しているソフトウェアやハードウェアに起因する NomoadPR の停止を回避するため、「NomoadPR の動作を一定時間ごとにリセットする」と、「コンピューターを再起動し、プレゼンテーションを続行する」を選択してください。リセットまでの日数は０～５の間に設定することをお奨めします。

アプリケーションキーを設定・変更する

製品版の Nomoad では動作にアプリケーション・キーが必要です。Nomoad にアプリケーション・キーを設定する方法を説明します。

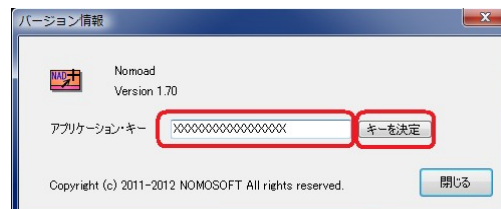
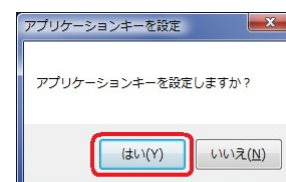
●Nomoad の初回起動時（アプリケーション・キーが未設定の場合のみ）

パソコンに Nomoad をインストールした後、起動時に、アプリケーション・キー入力画面が表示されます。アプリケーション・キーを入力して、「決定」ボタンを押してください。

●アプリケーション・キーを設定・変更する

アプリケーション・キーを設定・変更する場合の手順を説明します。

1. **Nomoad または NomoadPR、NomoadSchedule のメイン画面から、メニューの「ヘルプ」→「バージョン情報」をクリックします。**

   「バージョン情報」画面が表示されます。

2. **「アプリケーション・キー」へ新しいアプリケーション・キーを入力し、「キーを決定」ボタンをクリックします。**

3. **「アプリケーションキーの設定」ウインドウが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。**

他のパソコンで使用可能なスケジュールファイルを作成する

NomoadSchedule で保存したスケジュールファイル（プレゼンテーションファイルではありません）を他のユーザーやパソコンで編集したい場合や、スケジュールファイルを他のパソコンで NomoadPR で直接読み込んでプレゼンテーションを行いたい場合、次の条件を満たすスケジュールファイルを作成する必要があります。

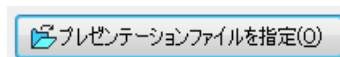
●スケジュールに組み込むプレゼンテーションファイルと同じフォルダにスケジュールファイルを保存する。そのためにはスケジュール作成前にプレゼンテーションファイルを一つのフォルダにまとめておきます。

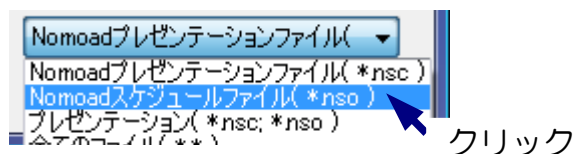
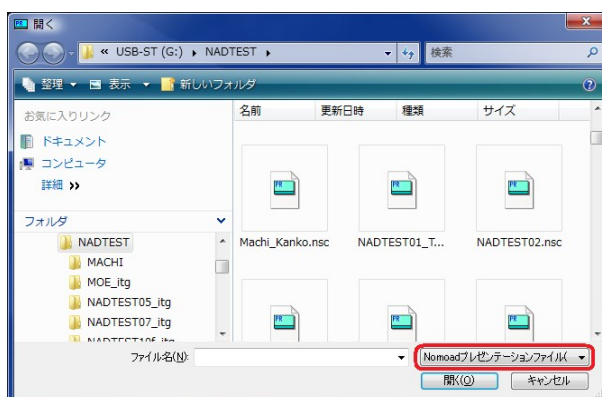
●他のパソコンにスケジュールファイルをコピーする際は、スケジュールに組み込んだプレゼンテーションファイルも一緒にコピーする。

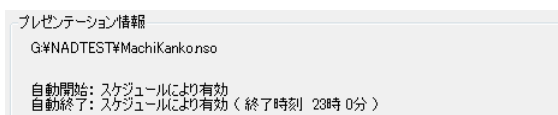
スケジュールファイルを NomoadPR で直接読み込む方法については、P120「NomoadPR でスケジュールファイルを読み込む」を参照してください。

NomoadPR でスケジュールファイルを読み込む

NomoadPR では、NomoadSchedule で作成したスケジュールファイルを読み込むことができます。**ただし、（P119「他のパソコンで使用可能なスケジュールファイルを作成する」）での条件をクリアしているスケジュールファイルのみを対象としています。**

1　メイン画面の「プレゼンテーションファイルを指定」ボタンをクリックします。

「開く」ウインドウが表示されます。

2　ファイルの種類を「Nomoad スケジュールファイル」に指定します。

3　プレゼンテーションを行うスケジュールファイルを選択し、「開く」ボタンをクリックします。

指定したスケジュールファイルが読み込まれ、プレゼンテーション情報表示が更新されます。

ネットワーク（LAN）内での運用方法

ネットワーク（LAN）内でのプレゼンテーション運用方法、さらに必要な設定について説明します。

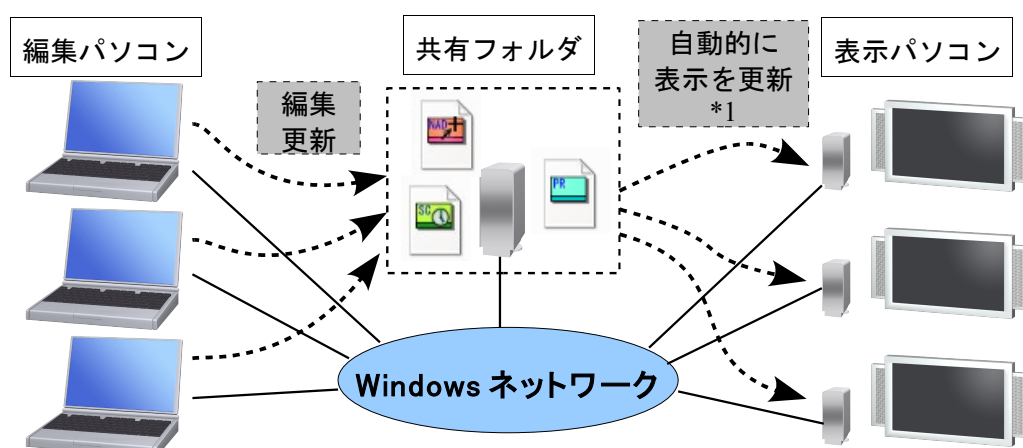
注意： ライト版ではプレゼンテーション中のデータを更新することはできません。

ネットワーク内でのプレゼンテーション運用方法

Nomoad では Windows ネットワーク上の共有フォルダを利用した次のような運用が可能です。

●ネットワーク上の共有フォルダにプレゼンテーションファイルまたはスケジュールファイル（と使用するプレゼンテーションファイル）を保存すれば、ネットワークに接続された複数の表示パソコンから共有フォルダ内のプレゼンテーションを表示することができます。

●ネットワーク上の共有フォルダにプロジェクトファイルを保存することにより、ネットワークに接続された複数の編集パソコンから Nomoad を使用してそのプロジェクトファイルを互いに編集しあうことができます。さらに、Nomoad を使用してネットワーク上の共有フォルダに置かれたプレゼンテーションファイルを上書きすることにより更新することができます（ライト版では不可）。表示パソコンで表示しているプレゼンテーションファイルが更新された場合、NomoadPR により即時に表示パソコンに読み込まれ、表示が更新されます。

●ネットワーク上の共有フォルダにスケジュールファイル（と使用するプレゼンテーションファイル）を保存することにより、ネットワークに接続された複数の編集パソコンから NomoadSchedule を使用してスケジュールファイルを互いに編集しあうことができます。表示パソコンで使用中のスケジュールファイルが更新された場合（ライト版では更新不可）、更新されたスケジュールファイルは NomoadPR により即時に表示パソコンに読み込まれ、反映されます。

*1 ライト版では表示中のデータを更新できません。

※同時にプレゼンテーションを表示する表示パソコンは５台以内とすることを推奨します。

※同じプロジェクトファイルを複数の編集パソコンから同時に編集することはできません。

※編集パソコンと表示パソコンがネットワーク上の共有フォルダの中身を読み込んだり書き込んだりできるような状態であることを確認してください。そうでない場合は、共有フォルダへの読み書き権限を設定する必要があります。ネットワーク管理者にご相談ください。

表示パソコンの設定

表示パソコンでネットワーク上の共有フォルダに置かれているプレゼンテーションファイルを読み込む場合、表示パソコンではあらかじめ次のような設定を行う必要があります。

NomoadPR の「プレゼンテーション設定ウインドウ」で次の設定を行います。

「プレゼンテーション設定ウインドウ」についてはP92「オプションの設定を行う」を参照してください。

オプション

プレゼンテーション中は常にファイルからデータを読み取る

● **「プレゼンテーション中は常にファイルからデータを読み取る」の選択を解除します。**

選択を解除しない場合、プレゼンテーション中にネットワークとの接続が切断されたとき、その後接続が回復しても他のパソコンからのプレゼンテーションの更新ができなくなることがあります。その場合、ファイルが保存されているサーバーを再起動してください。

Nomoad プロジェクトファイルの設定

ネットワーク上の共有フォルダにプロジェクトファイルを保存し、複数のパソコンやユーザーから互いに編集しあう場合、プロジェクトファイルし対し、次のような設定を行う必要があります。

Nomoad での「プレゼンテーションの設定ウインドウ」で次の設定を行います。

「プレゼンテーションの設定ウインドウ」やそれぞれの内容についてはについてはP30「プレゼンテーションの設定を行う」を参照してください。

※ライト版では「プレゼンテーションファイル作成の高速化」の設定を行うことはできません。

1 **「プロジェクトファイル共有モード」を選択します。（必須）**

複数のパソコンやユーザーから編集を行う場合に必要です。

2 **「リソースをファイルに含めない」を選択します。（任意）**

プレゼンテーションファイルを上書き（更新）する場合、ファイルの作成時間が大幅に短縮されます。

3 **「ファイル作成時、テキストのレンダリングを行わない」を選択します。（任意）**

プレゼンテーションファイルの作成時間が大幅に短縮されます。ただし、プレゼンテーション内で表示するテキストで使用される文字フォントが全ての表示パソコンにインストールされている必要があります（フォントがインストールされていない表示パソコンでは代替のフォントで文字が描画されます）。

Nomoad スケジュールファイルの作成時の注意点

ネットワーク上の共有フォルダ内にスケジュールファイルを作成するときは、スケジュール内で使用するプレゼンテーションファイルと同じ場所（フォルダ）に保存してください。

スケジュールで使用するプレゼンテーションファイルと違う場所に保存した場合、表示パソコンでスケジュールファイルを読み込む際にエラーが発生します。

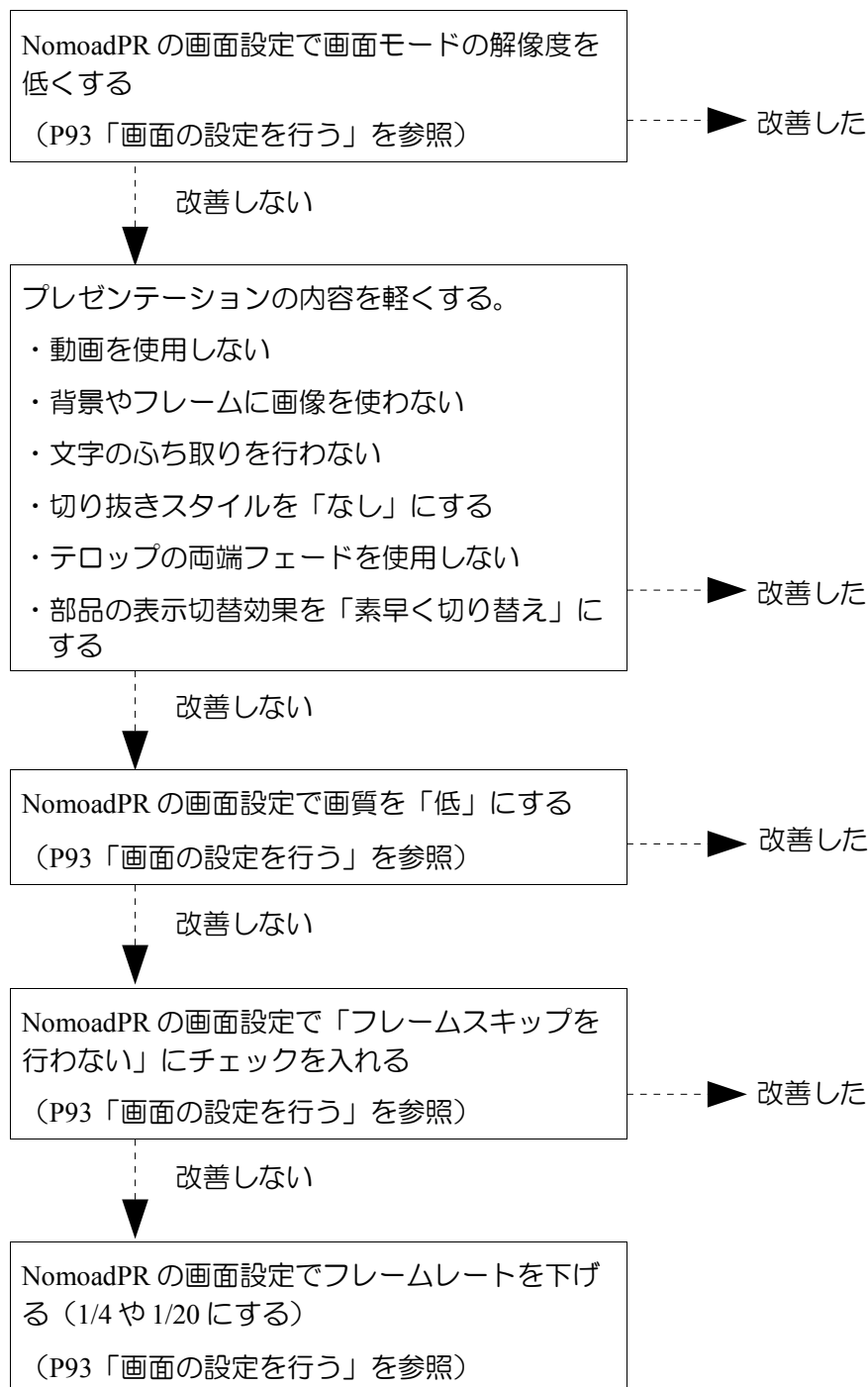
表示パソコンで共有フォルダを使用する場合の注意点

ネットワーク上の共有フォルダ内のプレゼンテーションを使用する場合、NomoadPR を使用するユーザー名（表示パソコンの Windows ログオンユーザー名）で共有フォルダにアクセスできる必要があります。その他のユーザー名で共有フォルダにアクセスした場合、ファイルを正しく読み込めない場合があります。そのような場合はネットワーク管理者へご相談ください。

また、ネットワーク上の共有フォルダ内のプレゼンテーションを自動開始する場合、パソコンの起動後、パソコンがネットワークに接続完了するまで、一定時間待機する必要があります。
NomoadPR 起動時にパソコンがネットワークに接続していない場合、自動的にプレゼンテーションを開始することができない場合があります。

この現象を回避するため、プレゼンテーションを自動開始する表示パソコンでは NomoadPR のプレゼンテーション設定の「自動起動までの時間」を長めに設定してください（３０秒以上）。設定方法は P90「プレゼンテーションの自動開始・自動終了を設定する」を参照してください。

プレゼンテーション時の画面がぎこちない場合の対処方法

表示パソコンの性能やプレゼンテーション内容によってはプレゼンテーション時の画面表示がぎこちなくなる場合があります。その場合は以下の手順を行うことによって改善できる場合があります。

商標について

●Microsoft、 Windows、 Windows Vista、 PowerPoint、 Windows Media、 DirectX、 DirectShow は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。●Adobe、 Flash は Adobe Systems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。●Intel、 Atom、 Pentium、 Celeron、 Core は Intel Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。●AMD、 Athron、 Radeon、 ATI は Advanced Micro Devices, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。●NVIDIA、 GeForce、 ION は NVIDIA Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。●その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

電子看板プレゼンテーションソフト Nomoad Version1.70　取扱説明書

第１版　2012 年９月 14 日